

目 次

目 次	1
I. 2015（平成27）年度の主な活動	3
*2015（平成27）年度入館者一覧	4
II. 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III. 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1) 〈京の歴史〉ゾーン	7
2) 〈京のまつり〉ゾーン	9
3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン	14
4) 3階展示室	27
5) ぶんぱく京都講座	29
III-2 特別展示	30
1) 特別展	30
*2015（平成27）年度特別展一覧	38
*2015（平成27）年度特別展関連イベント一覧	38
2) 京都府所蔵資料巡回展への協力	40
III-3 映 画	41
1) 常設上映	41
2) 特別企画・共催事業	42
3) 映像ギャラリー常設展示	45
III-4 その他	45
IV. 調査研究活動	46
IV-1 学芸員の活動	46
1) 研 究	46
2) 出講・委嘱	46
3) 業 績	46
V. 普及活動	49
V-1 出版物	49
1) 研究紀要『朱雀』	49
2) 年 報	49
3) 展覧会図録	49

V-2	音楽会	50
V-3	学習普及外部連携室	51
	1) ボランティア	51
	2) 「ぶんぱく子ども教室」事業	51
	3) 団体見学案内	52
	4) 生き方探求チャレンジ体験	52
V-4	博物館実習	53
V-5	資料・情報公開	53
	1) 資料閲覧室	53
	2) ホームページによる広報とコンテンツの提供	53
V-6	外部連携活動	54
	1) 他館との連携	54
	2) 京都府内の学校との連携事業	54
	3) 地域との連携	54
V-7	京都文化博物館友の会	56
	1) 会 員	56
	2) 事業概要	57
VI.	ギャラリー事業	58
VI-1	5・6階展示室	58
	1) 京都文化財団展示室運営委員会	58
	2) 美術・工芸作家の利用	58
	3) 生涯学習的発表期間の利用	59
	4) 一般の利用	61
VI-2	別館ホール	61
VII.	管理・運営	63
VII-1	組織と職員	63
	1) 組 織	63
	2) 京都文化財団	63
	3) 京都文化博物館	64
VII-2	施 設	65
	1) 本館関係	65
	2) 別館関係	65
VII-3	館内店舗	68
	1) ろうじ店舗	68
	2) 別館店舗	68
	3) 博和会・ろうじ行事	68
VIII.	2015（平成27）年度のあゆみ	69

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2015(平成27)年度の 主な活動

2015年度は琳派400年記念の年に当たり多くの取組が行われたが、さらに2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、世界に京都文化を強く発信していくため「京都文化力プロジェクト2016-2020」が京都府・京都市・京都商工会議所を中心に取り組まれることが決まり、2020年に向けて京都が一丸となって京都文化を盛り上げていくスタートの年となった。また、2016年の世界考古学会議に続き2019年に国際博物館会議の京都開催の決定、文化庁等の京都への移転決定など、文化を中心として京都が国内外からひととき注目を集める重要な数年間が始まったといえる。京都文化博物館としても、2018年の開館30周年と併せて、京都府の文化振興の拠点施設として、これらの動きに積極的に加わり役割を果たしていきたいと考えている。

琳派400年記念としては、京都を中心に活躍する日本画と工芸の現代作家200人が琳派をキーワードに制作した新作による特別展「京に生きる琳派の美」を開催した。これは京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館及び当館で組織する連携組織「京都ミュージアムズ・フォー」の取組として統一テーマ「琳派」を掲げて各館が順次開催した展覧会の一つである。こうした取組が実現したことは、今後の4館連携の推進に向けて特筆される。

特別展については、前年度の「光の賛歌・印象派展」の大成功を受けて、「レオナルド・ダ・ヴィンチと『アンギアーリの戦い』展」で再び多くの人に入場していただくよう全力を挙げて取り組んだ。「光の賛歌・印象派展」が春の開催であったのと異なり、8月22日から11月23日までという猛暑や台風などが予想される開催期間を安全に事故等がないように終えることが大きな目標となった。この展覧会は、ダ・ヴィンチがミケランジェロと競作しフィレンツェ・ヴェッキオ宮殿に描いたとされる壁画「アンギアーリの戦い」に関連する「タヴォラ・ドーリア」(ドーリア家の板絵)を中心に構成された。壁画自体は現存せず模写等によって僅かに伝わる美術史の謎といわれる。「タヴォラ・ドーリア」はその下絵とも、良質な模写ともいわれ、イタリアの「国宝」とされてきたが、1930年代にイタリアから流出し、以来数十年に渡って展覧会で展示されることはなかった。その後本展覧会の企画に当たった東京富士美術館が所蔵するに至り、2012年にイタリア政府に寄贈を行い、世界的に大きな話題となった絵画である。展覧会では、同じく未完に終わったミケランジェロによる壁画の下絵を模写したといわれる「カッシナの戦い」を「タヴォラ・ドーリア」と並べて展示するなど、ルネサンス期の最大のライバルといわれる二大巨匠の対決を再現した展示やダ・ヴィンチ直筆の素描は大きな話題を呼ぶとともに、美術史的にも貴重なものとなった。会期中、当館にはダ・ヴィンチ研究の世界的権威であるマーチン・ケンプ氏、「カッシナの戦い」の所蔵者レスター伯爵をはじめ、国内外から多くの賓客に訪問いただいた。また展覧会は京都市・フィレンツェ市姉妹都市提携50周年記念事業や京都府・トスカナ州経済交流記念事業に位置付けられた。入場者は約22万人と前年の「光の賛歌・印象派展」には及ばなかったが、同展に次ぐ歴代2位の入場者数となり、なにより大きな事故もなく3か月間の展覧会を成功裡に終えることができ、改めて関係者のご尽力、ご協力に感謝申し上げたい。



「京に生きる琳派の美」会場風景



「レオナルド・ダ・ヴィンチと『アンギアーリの戦い』展」会場風景

以上の展覧会にとどまらず、当館のアイデンティティーとして最も力を注いでいくべき京都の歴史や文化に関連する展示についても、多様な切り口から充実できた一年であった。「大関ヶ原展」「小川千鶴展」「大丹後展」「実相院門跡展」「東寺百合文書展」「洛陽三十三所展」「和魂漢才展」「文博界隈の歴史と文化」など多くの展示により京都の歴史・文化の諸相を紹介することができたものと考えている。このうち「大関ヶ原展」では、折からの刀剣ブームで名刀を一目見ようと多くの若い女性、いわゆる「刀剣女子」が押し寄せたのは予想外であった。また「大丹後展」は丹後地域の豊かな歴史・文化を感じさせる展示に同地方出身者が多数入場され、郷土愛の強さを垣間見た。

展覧会事業に加えて、フィルムシアターにおける映画事業についても、通常の京都ゆかりの映画の上映に加えて、京都ヒストリカ国際映画祭、京都国際子ども映画祭を引き続き開催するとともに、工芸の祭典「21世紀鷹峯フォーラム」に連携して「京のわざ、日本のわざーフィルムで見る京の伝統工芸」と題して京都府が制作した伝統工芸作家の創作現場などを記録した映画を上映した。また、今年度新たに欧州連合加盟国の映画を上映する「EUフィルムデイズ」を東京以外では初めて当館で開催した。このように、できる限り多様な映画を上映できるよう努めているが、当館が映画の殿堂を目指す基盤は、あくまで京都府所蔵の京都に関係する日本映画のフィルムであり、コレクションの充実を切に願うものである。

こうした展覧会や映画事業の状況に見られるように、当館の存在感は確実に増してきていると思われる。今後も2020年度までに実施される事業を中心に、京都府及び関係機関と連携しながら、良質で発信力の高い展示等を多くの皆様に楽しんでいただけるよう邁進していきたい。

*2015(平成27)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2015.4	2,317	3,315	5,632 【15,470】	8,364	8,970	17,334	10,681	12,285	22,966	6,795	6,761	12,380	25,936	48,902
5	2,479	3,660	6,139 【14,119】	5,950	8,368	14,318	8,429	12,028	20,457	6,494	1,986	11,868	20,348	40,805
6	1,707	2,717	4,424 【23,577】	30,057	5,189	35,246	31,764	7,906	39,670	2,424	5,363	4,360	12,147	51,817
7	563	8,529	9,092 【28,042】	30,834	6,157	36,991	31,397	14,686	46,083	7,078	3,648	13,532	24,258	70,341
8	0	13,510	13,510 【16,316】	7,608	4,168	11,776	7,608	17,678	25,286	690	871	10,013	11,574	36,860
9	2,031	2,586	4,617 【26,112】	39,509	11,515	51,024	41,540	14,101	55,641	8,641	2,464	51,149	62,254	117,895
10	2,142	3,337	5,479 【28,520】	55,795	15,716	71,511	57,937	19,053	76,990	6,036	19,470	11,940	37,446	114,436
11	1,895	5,075	6,970 【30,906】	62,075	23,095	85,170	63,970	28,170	92,140	1,555	11,762	18,354	31,671	123,811
12	3,182	4,124	7,306 【9,949】	1,664	1,791	3,455	4,846	5,915	10,761	5,621	4,654	6,095	16,370	27,131
2016.1	3,695	5,594	9,289 【15,790】	4,475	8,968	13,443	8,170	14,562	22,732	1,570	4,697	1,080	7,347	30,079
2	3,162	3,371	6,533 【9,339】	3,607	14,887	18,494	6,769	18,258	25,027	2,072	5,514	22,092	29,678	54,705
3	2,736	6,833	9,569 【16,677】	3,832	5,375	9,207	6,568	12,208	18,776	2,165	3,355	31,022	36,542	55,318
年度計	25,909	62,651	88,560 【234,547】	253,770	114,199	367,969	279,679	176,850	456,529	51,141	70,545	193,885	315,571	772,100
1日平均 (総310日) (特253日)	84	202	286	1,003	451	1,454	902	570	1,473					1,613

【 】内は特別展からの入場者数を含む

Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館蔵資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館蔵資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集、利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2015年度末での管理資料は52,875点、寄託資料が1,011点、一時保管資料が49点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分野	作者	資料名	点数	
日本画	由里本景子	「裁縫する女たち」ほか	6	
日本画	佐々木弘	「耀秋」ほか	2	
日本画	浮田一恵	「祐宮像」(明治天皇幼像)	1	
日本画	鳥尾頭精	「樹の景・1994」	1	
洋画	中村善種	「道の中にある井戸」ほか	3	
洋画	大熊 峻	「龍安寺石庭」ほか	2	
日本画		「鴨川納涼図屏風」	1	
人形		黒漆地牡丹唐草抱沢渦紋散蒔絵女乗物雛道具	1	
金工	加藤忠雄	「心華」ほか	5	
漆芸	三木表悦	「深山彩漆絵箱」ほか	2	
陶芸	村田陶苑	「神農」ほか	36	
日本画	小川千麿	「柳緑花紅」	1	
日本画	小川千麿	「一帆順風」ほか	2	
日本画	今尾景年	「エンジェル 今尾景年鞆生地」ほか	4	
日本画		「盧溝曉月」ほか	35	

小計 163点

2) 寄 託

種別	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	分野	件点数	小計
館蔵資料	日本画	7件 8点	古文書	21件 22点	典籍	20件 233点	絵図	17件 19点	複製模本	1件 1点	89件 843点
	貴重遺物	14件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴史	3件 49点	
管理資料	日本画	7件 22点	陶器	1件 89点	民俗	3件 221点	武器	1件 4点	染織	2件 675点	14件 1011点

Ⅱ - 2 資料の利用

1) 貸 与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土 軒瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯出土 軒瓦	2	吹田市博物館	常設展示
考古	東三条殿模型および附属品	1	齊宮歴史博物館	特別展「よみがえる齊宮」
考古	元治の大火 焼瓦	1	京都外国語大学国際文化資料館	企画展「第6回京の匠 社寺建築の防災」
美術	梅原龍三郎「富士山之図」	1	鉄斎美術館 兵庫県立美術館	特別展「生誕180年記念 富岡鉄斎 近代への架け橋」
映像	パンフレット ゴジラ	1	立命館大学国際平和ミュージアム	特別展「戦後を語る70のカタチ」
映像	少年写真ニュース 1954年10月8日発行	1	立命館大学国際平和ミュージアム	特別展「戦後を語る70のカタチ」
映像	ポスター 若い人	1	立命館大学国際平和ミュージアム	特別展「戦後を語る70のカタチ」
映像	プレスシート 家族	1	立命館大学国際平和ミュージアム	特別展「戦後を語る70のカタチ」
考古	石作・小塩窯出土資料	47	古代学協会	調査
考古	明倫尋常小学校 明治27年頃 模型	1	京都市学校歴史博物館	企画展「番組小学校の軌跡」
考古	平安京左京三条三坊十一町出土大甕	2	備前市埋蔵文化財管理センター	企画展「渡る大甕」(但し、利用延長)
図書	神坂雪佳『百々世草』	3	京都市美術館	特別展「琳派降臨—近世・近代・現代の『琳派コード』を巡って」

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画	池大雅「梅花月図」	1	森美術館	平成27年度特別展「シンプルなかたち」
日本画	小野竹喬「鴨川夜景」ほか	12	小倉百人一首殿堂「時雨殿」	企画展「京都の日本画とかな書による百人一首屏風展～日比野光鳳と上村淳之監修～」
日本画	幸野椋嶺「山桜に群鳥図」ほか	2	京都市学校歴史博物館	企画展示「日本画開拓の時代—明治を生きた京の画家—」
日本画	三輪晁勢「木屋町の家」ほか	2	堂本印象美術館	特別企画展「三輪晁勢—色彩の歓喜—」
日本画	今尾経景年「安宅閑図」	1	井原市立田中美術館	「平家物語を描く—近代によみがえった古典—」(仮)
日本画	秋野不矩「初冬」ほか	3	蘭島閣美術館	平成27年度春季特別展「秋野不矩」(仮)
日本画	野々村良樹「緑映」ほか	3	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	小松均「赤富士」	1	美術館「えき」KYOTO	「近現代日本画にみる世界遺産 富士山名品展」
日本画	堂本印象「時の秘鍵」	1	堂本印象美術館	企画展「没後40年 堂本印象名品展Ⅱ」
日本画	伝山山応挙「幽霊図」ほか	4	東京芸術大学美術館	平成27年度特別展「うらめしや〜、冥途のみやげ」展
日本画	猪熊佳子「森の雫」ほか	3	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	来野あぢさ「更紗を」ほか	3	堂本印象美術館	企画展「京都現代作家展 アトモスフィア 来野あぢさ」展
日本画	岩澤重夫「堰」	1	岩澤有徑	日田市複合文化施設落成・開館記念「岩澤重夫展」(仮) 京都会場
日本画	木下章「光悦寺の萩」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	木下章「光悦寺の萩」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
洋画	向井潤吉「奥多摩春景」ほか	23	南丹市日吉町郷土資料館	平成27年度秋季企画展「向井潤吉〜ふるさとの風景〜」
日本画	猪原大華「若い松」	1	公益財団法人タカヤ文化財団 華鶴大塚美術館	「—自然と語らう—猪原大華展」
日本画	川島睦郎「秋叢」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	神坂雪佳「鼓」	1	京都市美術館	琳派400年記念『琳派降臨—近世・近代・現代の『琳派コード』を巡って』
日本画	三谷十糸子「ひなかざり」ほか	3	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	辰巳寛「一カ茶屋二階より」	1	奈良県立万葉文化館	「辰巳寛 日本画展 伝統の美 辰巳寛が描く女歌の流れ」
日本画	池大雅筆「草書芝草詩」	1	大阪市立美術館	特別展「王羲之から空海へ—日中書法の名筆 漢字とかなの競演」展
日本画	堂本元次「苑」ほか	28	京都府立堂本印象美術館	特別企画展「堂本元次展 創作の喜び」
日本画	森田りえ子「朝の月」	1	相国寺承天閣美術館	鹿苑寺(金閣寺)方丈杉戸絵・客殿天井画奉納10周年記念「森田りえ子展」

2) その他

特別撮影・利用・特別観覧

館蔵資料：撮影・利用 56件 特別観覧 14件／管理資料：撮影・利用 4件 5点 特別観覧 8件 24点

寄託資料—時持ち出し・貸与

寄託資料—時持ち出し・貸与					
	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館蔵資料	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究
	美術	善女龍王像	1	龍谷ミュージアム	展示
管理資料	民俗	緋威小札大鎧ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼
	民俗	天水引ほか	63	四条町大船鉾保存会	祭礼

Ⅲ 展示活動

Ⅲ - 1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンだけでは十分に語りきれないテーマやこぼれ落ちている内容などについての企画展示が、従来の「特別陳列コーナー」を一新し、且つ展示面積の大幅な拡張の上に、実施されることとなった。

企画展示は、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーン、そして展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料(国宝や重要文化財含む)であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化をできるだけ総合的に紹介できるように試みられている。

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの政治的・文化的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成される。

狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史ゾーン〉展示資料一覧】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	<**>
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立総合資料館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立総合資料館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立総合資料館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立総合資料館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	<**>	
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局	
	15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局	
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局	
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立総合資料館	
	18	古写真 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館	
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立総合資料館	
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立総合資料館	
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館	
	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立総合資料館	
	23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター	
	24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	<**>	
	25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター	
		京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はぎとり標本	1点
平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	<**>	
	28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	<**>	
	29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	<**>	
平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	<**>	
	31	土器 雲林院跡出土	37点	<**>	
	32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	<**>	
	33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	<**>	
中世都市民の生活	34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	<**>	
	35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	<**>	
	36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	<**>	
	37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	<**>	
	38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	<**>	
	39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<**>	
近世町人のなりわい	40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<**>	
	41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	<**>	
	42	京童	1冊	<**>	
	43	都名所図会	1冊	<**>	
	44	つぼつぼ	9点	<**>	
	45	でんぼ	1組	個人	
	46	伏見人形 布袋	1点	<**>	
	47	伏見人形 饅頭喰い	2点	<*>	
	48	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	<**>	
		49	柄鏡	1点	<*>

所蔵欄 <>印の資料は京都府立総合資料館蔵(当館管理)、<**>印の資料は当館蔵

2) 〈京のまつり〉ゾーン

① 祇園祭—鶏鉾の名宝—

会 期：2015年4月11日(土)～6月21日(日)

前期展示：4月11日(土)～5月10日(日)

後期展示：5月13日(水)～6月21日(日)

概 要：鶏鉾には、中世ヨーロッパで製作されたタペストリーが見送として伝来し、重要文化財に指定されていることが知られているが、そのほかにも、海外からもたらされた希少な絨毯などを懸装品としたものがいくつも伝えられている。胴懸には17世紀の前半にペルシャで製作されたと思われる「中東瑞鳥蓮花葉文様ヘラット絨毯」が用いられており、その両脇を「虎と梅樹に鶯の図」と「玉取り獅子の図」という、意匠の異なる唐渡りの絨毯が彩る。また鶏鉾には、「日輪に番い鳳凰に梅と牡丹の図」と「月

に鳳凰と兔に牡丹草花の図」の二枚を継ぎ合わせた朝鮮毛綴の後懸も伝来している。こうした舶来の品々に加えて、日本の芸術家たちが腕を振るった作品も鶏鉾を飾ってきた。下水引「唐宮廷楼閣人物図刺繍」は、江戸時代後期に活躍した四条派の絵師松村呉春が下絵を手がけたとされるもので、また二番水引「緋羅紗地蝶文様刺繍」は呉春の弟景文が下絵を描いた品と伝わる。また鶏鉾を出す鶏鉾町には、文禄五年(1596)の年記をもつ「鶏鉾町定法度」が伝えられている。本展覧会ではこうした多彩な品々を展示公開した。

出品資料数：21点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—鶏鉾の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	胴懸 ・玉取獅子図(右) ・中東瑞鳥蓮花葉文様(中) ・虎と梅樹に鶯の図(左)	室町～江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	前期
2	胴懸 ・玉取獅子図(右) ・紅地雲龍図綴織(中) ・虎と梅樹の図(左)	江戸時代前期	1枚	重要有形民俗文化財	前期
3	後懸 ・日輪に番い鳳凰に梅と牡丹の図(左) ・月に鳳凰と兔に牡丹唐花の図(右)	室町～江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	前期
4	胴懸 御朱印船角倉船図	昭和55年(1980)	1枚	重要有形民俗文化財	後期
5	天水引 金地日輪瑞雲麒麟図刺繍	江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	後期
6	下水引 唐宮廷楼閣人物図刺繍	安永3年(1774)	4枚	重要有形民俗文化財	後期
7	二番水引 緋羅紗地蝶文様刺繍 三番水引 紫紺地四季草花図綴織	文政8年(1825)	2枚	重要有形民俗文化財	後期
8	鉾頭	江戸時代	1点	重要有形民俗文化財	前期
9	角飾 雲龍文様木彫漆箔	文政8年(1825)	4点	重要有形民俗文化財	前期
10	角飾金具 成物尽文様八珍果文様	文政8年(1825)	8点	重要有形民俗文化財	後期
11	見送裾金具 牡丹唐草文様鍍金金具	文化13年(1816)	10点	重要有形民俗文化財	後期
12	角飾房	文政8年(1825)	4本	重要有形民俗文化財	前期
13	見送飾房	文化13年(1816)	5本	重要有形民俗文化財	後期
14	稚児衣裳 ・白紗地菊藤尾長鳥文様金襴狩衣 ・白紗地菊藤尾長鳥文様金襴当帯 ・金地菊唐草文錦袴 ・赤綾地蜀江牡丹龍丸文様振袖 ・檜扇袖飾	現代	一式	重要有形民俗文化財	前期 (一部は後期 展示)
15	天冠	江戸時代	1頭	重要有形民俗文化財	前期
16	羯鼓	現代	1台	重要有形民俗文化財	前期
17	御軸「祇園牛頭天王」	江戸時代	1幅		後期
18	「鶏鉾町定法度」	文禄5年(1596)ほか	1巻	京都市指定	前期
19	「鶏鉾之記並飾付之写」	文政4年(1821)	1冊	京都市指定	後期
20	「鶏鉾鉾飾物道具改正日記」	文政5年(1822)	1冊	京都市指定	後期
21	「鶏鉾飾付写」	天保3年(1832)	1冊	京都市指定	前期

② 祇園祭—山鉦巡行の歴史と文化—

会 期：2015年6月27日(土)～8月23日(日)

概 要：「祇園祭・山鉦巡行の歴史と文化を紹介」

祇園祭は古来さまざまなかたちで記録に残されてきた。例えば安永9年(1780)に秋里籬島によって著された『都名所図会』には、祇園祭の山鉦巡行の様相が、竹原春朝斎の描いた挿絵入りで紹介されており、長刀鉦の巡行や見物人の様子など、往時の賑わいを彷彿とさせる。また、祇園祭の概要や登場する山鉦など

について挿絵入りで紹介した宝暦7年(1757)刊行の『祇園御霊会細記』には、当時巡行に登場していた34基の山鉦が一つずつ挿絵で紹介されており、往時の様相を知る貴重な資料となっている。この展示では、祇園祭における山鉦の歴史や文化について、江戸時代の古記録なども展示しながら、その魅力を紹介した。

出品資料数：11点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—山鉦巡行の歴史と文化—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	所蔵
1	鶏鉦 前懸 中東連花葉文様 ヘラット絨毯	江戸時代後期	1枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人鶏鉦保存会
2	鶏鉦 後懸 メダリオン中東連花葉文様 インド模織絨毯	江戸時代前期	1枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人鶏鉦保存会
3	鶏鉦 胴懸 大斜め格子額草花文様 インド絨毯	江戸時代後期	2枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人鶏鉦保存会
4	『祇園御霊会細記』	宝暦7年(1757)	全2冊		京都府立総合資料館
5	『都名所図会』	安永9年(1780)	全6冊		京都府立総合資料館
6	『諸国年中行事大成』	文化3年(1806)	全7冊		京都府立総合資料館
7	『宝永花洛細見図』六	昭和9年(1934)復刻	1冊		京都府立総合資料館
8	菊水鉦巡行模型	昭和46年(1971)	一式		京都府立総合資料館
9	月鉦模型	明治時代	1台		京都文化博物館
10	長刀鉦模型	昭和時代	1台		京都文化博物館
11	長刀鉦鉦頭模型	昭和時代	1台		京都文化博物館

No.1「鶏鉦 前懸 中東連花葉文様 ヘラット絨毯」は7月28日(火)から8月23日(日)まで展示

No.2「鶏鉦 後懸 メダリオン中東連花葉文様 インド模織絨毯」は6月27日(土)から7月26日(日)まで展示

No.3「鶏鉦 胴懸 大斜め格子額草花文様 インド絨毯」は会期中で同作品の入れ替えを行なった

③ 祇園祭—鯉山の名宝—

会 期：2015年8月29日(土)～11月8日(日)

前期展示：8月29日(土)～9月27日(日)

後期展示：9月30日(水)～11月8日(日)

概 要：鯉山は、16世紀に今のベルギーで織られたタペストリーを、懸装品として仕立て直されたものが伝来している山で、ホメロスによる古代ギリシャの長編叙事詩『イーリアス』から、トロイの王プリアモスとその妃のヘカベが、ギリシャの神であるアポロンの像を崇拝する姿を描いたものが伝来する。鯉山では、このタペストリーを9つに裁断し、それぞれ見送

と2枚の胴懸、そしてその上部を飾る2枚の水引とし、また残る4つの部分をひとつにした前懸にそれぞれ仕立て直している。前懸中央の裾の部分には、反転した「B」の文字が2か所にあしらわれているのが認められるが、これはこのタペストリーが製作された場所である「ブラバン・ブリュッセル」(現在のベルギー・ブリュッセル)をあらわすイニシャルで、同地は16世紀のヨーロッパにおける毛織織の一大生産地であった。現在では極めて希少なこのタペストリーは、遠く日本の京都で祇園祭の

懸装品として大切に伝えられてきた。
 また鯉山は、鯉が激流の滝を昇って昇天し龍となる「登竜門」の逸話を意匠とした山で、波間を泳ぐ躍動感あふれる姿の巨大な鯉の木彫が搭載されている。左甚五郎の作とも伝える鯉の姿には、人びとの立身出世への願いが込

められており、その意匠が具現化されている。
 本展覧会では、希少なヨーロッパ製のタペストリーや迫力ある木彫大鯉等を展示した。

出品資料数：22点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—鯉山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	前懸『イーリアス』トロイア戦争物語タペストリー	16世紀	1枚	重要文化財	後期
2	胴懸『イーリアス』トロイア戦争物語タペストリー 中央：侍女 左右：波濤に飛龍文様	16世紀～17世紀	1枚	重要文化財	後期
3	胴懸『イーリアス』トロイア戦争物語タペストリー 中央：アポロン像 右：登龍文様 左：双龍文様	16世紀～17世紀	1枚	重要文化財	後期
4	見送『イーリアス』トロイア戦争物語タペストリー プリアモス祈願の図	16世紀	1枚	重要文化財	後期
5	花文様刺繍		2枚	重要有形民俗文化財	後期
6	水引 鳥花束文様毛綴 『イーリアス』トロイア戦争物語タペストリー	16世紀	1枚	重要文化財	後期
7	水引 海神図毛綴 『イーリアス』トロイア戦争物語タペストリー	16世紀	1枚	重要文化財	後期
8	水引 牡丹唐草文様金襴		1枚	重要有形民俗文化財	後期
9	前懸 焦茶地雲龍草花文様縹珍		1枚	重要有形民俗文化財	前期
10	後懸 木綿和更紗	明治5年(1872)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
11	胴懸 円紋に花入り斜め格子文様 インド更紗掛物	明治5年(1872)	2枚	重要有形民俗文化財	前期
12	水引 紺地牡丹唐草文様金襴		2枚	重要有形民俗文化財	前期
13	木彫大鯉・波	江戸時代	1体	重要有形民俗文化財	前期
14	見送 紺地雲龍文錦	明治5年(1872)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
15	見送金具 雲鶴文様	明治33年(1900)	2点	重要有形民俗文化財	後期
16	角飾金具 浜千鳥文様		8点	重要有形民俗文化財	通期
17	角飾金具 果実文様	明治33年(1900)	8点	重要有形民俗文化財	前期
18	角飾房	明治32年(1899)頃	8本	重要有形民俗文化財	通期
19	釣燈籠		一对	重要有形民俗文化財	後期
20	鯉鈕鈴		一对	重要有形民俗文化財	前期
21	額「八坂神社」		1枚	重要有形民俗文化財	後期
22	狛犬	明治5年(1872)	一对	重要有形民俗文化財	前期



「祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—」会場風景



「祇園祭—鯉山の名宝—」会場風景

④ 祇園祭—木賊山の名宝—

会 期：2015年11月14日(土)～2016年1月24日(日)

前期展示：11月14日(土)～12月20日(日)

後期展示：12月23日(水)～1月24日(日)

概 要：「謡曲『木賊』の意匠をあらわした、

秋の風情を持つ山」

木賊山は、世阿弥の作といわれる謡曲「木賊」を題材とした意匠をもつ山である。「木賊」は、信濃国で木賊を刈る翁が、生き別れになった子を慕って舞を舞うという物語で、親子の再会が主題となっている。木賊山には、別れた子を思いながら木賊を刈る老翁の姿が、御神体人形として搭載されている。鎌を持つ御神体の周囲には、青々と棒状に起立した木賊の様子が表現されており、祇園祭に登場する山鉾の中でも特徴ある情景を演出している。木賊山を飾る品々には特徴的なものがあり、胴懸には杜甫の詩「飲中八仙歌」を題材とした「松

蔭仙人図」などが描かれた綴織が用いられるほか、前懸の「金地綴錦唐人市場交易図」や見送の「牡丹鳳凰雲文綴織」は緻細な表現が見事な懸装品。そして、山の周囲を飾る水引には、蝦蟇仙人や寿老人、西王母などの姿を中心にした絵が刺繍であしらわれ、豪華さを際立たせている。また、木賊に兎と波文様を鍍金であらわした見送房掛金具や、軍扇の形に木賊と兎の文様をかたどった角飾金具などは、木賊山ならではの造形美を誇る。この展覧会では、京都が最も美しく彩られる秋にちなんで、秋の季語である「木賊刈る」を彷彿とさせる物語の「木賊」に取材した、木賊山の名宝を紹介した。

出品資料数：26点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—木賊山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	御神体衣裳	平成3年(1991)	一式	重要有形民俗文化財	後期
2	中啓 木賊に月図	元禄7年(1694)	1本	重要有形民俗文化財	後期
3	鎌 木彫朱漆柄		1本	重要有形民俗文化財	後期
4	月飾	平成6年(1994)	1点	重要有形民俗文化財	前期
5	金幣 木製黒漆塗唐草文鍍金金具 朱房付		1対	重要有形民俗文化財	前期
6	欄縁 木製黒漆塗・雲龍蝙蝠文鍍金金具付	天保2年(1831)	3本	重要有形民俗文化財	後期
7	見送房掛金具 木瓜文鍍金		2点	重要有形民俗文化財	前期
8	見送房掛金具 木賊に兎と波文鍍金		4点	重要有形民俗文化財	前期
9	角金具 八ツ藤丸文鍍金金具	昭和60年(1985)	4点	重要有形民俗文化財	後期
10	角金具 軍扇木賊に兎文鍍金金具	昭和60年(1985)	8点	重要有形民俗文化財	後期
11	轆先金具	昭和60年(1985)	丸型12 角型4	重要有形民俗文化財	前期
12	角飾房 浅葱色丸打紐		7本	重要有形民俗文化財	後期
13	水引 日輪鳳凰文綴織	大正3年(1914)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
14	水引 寿老人図刺繍	大正3年(1914)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
15	水引 蝦蟇鉄拐夢応図刺繍	大正3年(1914)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
16	水引 西王母黄初年図刺繍	大正3年(1914)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
17	水引 中東幾何文様イギリス織絨毯	江戸～明治時代	1枚	重要有形民俗文化財	後期
18	水引 斜葉格子に薔薇文様イギリス輪奈織反物絨毯	江戸時代後期	1枚	重要有形民俗文化財	後期
19	胴懸 緑地草花ゴブラン織	江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	後期
20	胴懸 松蔭仙人図 綴織	江戸時代後期	1枚	重要有形民俗文化財	前期
21	前懸 金地綴錦唐人市場交易図	江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	前期
22	見送 牡丹鳳凰雲文綴織	江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	前期
23	見送 仙人間香図綴織	江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	後期
24	後懸 紺地金糸雲龍文刺繍		1枚	重要有形民俗文化財	前期
25	燈籠 青銅地黒漆塗		1対		後期
26	千宗左筆「木賊山」	昭和46年(1971)	1枚		前期

⑤ 祇園祭—山伏山の名宝—

会 期：2016年1月30日(土)～4月10日(日)

前期展示：1月30日(土)～3月6日(日)

後期展示：3月9日(水)～4月10日(日)

概 要：「効験ある山伏を題材にし、

都びとの祈りの姿を体現する山」

祇園祭の山鉾には、歴史物語を題材とした意匠が多く見られるが、山伏が修行のため峯入りをする様子の御神体人形を搭載し、その名を本体に冠したのが山伏山。山伏山の御神体は、平安時代の修験僧である浄蔵貴所だとされている。平将門調伏や父の三善清行の蘇生など、さまざまな霊験譚を有する浄蔵の姿は、人びとに祈祷の効験を期待させてきた。山伏山には、数々の壮麗な装飾品が伝え残されている。中でも山伏山の周囲を飾る水引「養蚕機

織図」の綴織は、江戸時代後期の作品と伝えられ、蚕を飼って繭を取り、そこから絹糸を紡いで、そして機を織って絹織物を仕立て上げるまでの工程が、人びとの生き生きとした姿と共に織り出されており、山伏山を彩る希少な懸装品のひとつとなっている。そのほかにも、山伏山を出す山伏山町には、懸装品や飾金具など実に多くの装飾品があり、それらは宵山の会所飾りにも披露されて人びとの目を楽しませている。この展覧会では、山伏山が所蔵する名宝を選びすぐって公開し、その魅力に迫ると共に、祇園祭の歴史や文化の奥深さについて紹介した。

出品資料数：25点

担当者：橋本 章

【「祇園祭—山伏山の名宝—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	見送 双龍額飛龍波濤図 綴織	江戸時代前期	1枚	重要有形民俗文化財	後期
2	胴懸 花卉胡蝶文様綴織	江戸時代後期	1枚	重要有形民俗文化財	前期
3	胴懸 赤蜀江型丸龍文様／上部・浅黄地牡丹唐草	江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	後期
4	前懸 雲龍波濤図 刺繍	江戸時代	1枚	重要有形民俗文化財	前期
5	後懸 中国故事人物図 刺繍／上部 小花散し文様イギリス捺染	江戸時代後期	1枚	重要有形民俗文化財	前期
6	水引(東・西・後) 養蚕機織図 綴織／二番水引(東・西) 緋羅紗地草花文様 刺繍	江戸時代後期	3枚	重要有形民俗文化財	前期
7	水引(前) 龍麒麟図 刺繍	江戸時代後期	1枚	重要有形民俗文化財	前期
8	御神体衣裳 紅地雲龍文様錦小袖	江戸時代後期	1領	重要有形民俗文化財	前期
9	御神体衣裳 白地雲輪宝文様金紗表着	明治時代	1領	重要有形民俗文化財	後期
10	御神体衣裳 紺地雲鶴文様 紹金水衣	江戸時代後期	1領	重要有形民俗文化財	後期
11	御神体衣裳 薄萌葱地段雪輪文様 金欄小袖	江戸時代後期	1領	重要有形民俗文化財	後期
12	御神体佩刀	江戸時代	3振	重要有形民俗文化財	後期
13	御神体持物 頭巾・法螺・結袈裟・念珠・中啓・木製漆塗斧	明治時代ほか	6点	重要有形民俗文化財	後期
14	欄縁 飛鶴飾金具付	明治25(1892)	2本	重要有形民俗文化財	後期
15	祇園守 菊唐草文金具付	江戸時代	1点	重要有形民俗文化財	後期
16	角飾房掛金具(葡萄に栗鼠・松に飛鶴・紅葉に鹿・桜に山鳥)		8点	重要有形民俗文化財	前期
17	前懸飾房掛金具 三ツ蝙蝠文様		2点	重要有形民俗文化財	前期
18	胴懸飾房掛金具 二葉葵文様		8点	重要有形民俗文化財	前期
19	見送飾金具 菊唐草文様	明治時代	2点	重要有形民俗文化財	前期
20	見送裾金具 雨龍文様	天保12(1841)	8点	重要有形民俗文化財	前期
21	轆先金具		16点	重要有形民俗文化財	後期
22	金銅製釣燈籠	文化11(1814)	1対		後期
23	三十六歌仙色紙貼交屏風	江戸時代	六曲一双		後期
24	祇園牛頭天王神号	文政3(1820)	1幅		前期
25	くじ箱		2点		前期

3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン

Ⅲ-1 総合展示 ▶ 3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン

① 増誉大僧正900年遠忌記念 聖護院門跡の名宝―門跡と山伏の歴史―

会 期：2015年3月21日(土・祝)～5月10日(日)
 前期展示：3月21日(土)～4月12日(日)
 後期展示：4月14日(火)～5月10日(日)

概 要：聖護院は、門跡寺院にして修験道の本山であった。2014年秋、聖護院で増誉大僧正の900年遠忌大法要が厳修されたことを記念して、龍谷ミュージアムと京都文化博物館の二館で展覧会を同時開催した。京都文化博物館では、「門跡と山伏の歴史」と題して、①寺門派門跡、②門主と家臣、③入峯、④修験の本山という四つの視角から、特に重要な古文書・古絵図や山伏の道具類を紹介した。

主 催：京都府、京都文化博物館、龍谷大学 龍谷ミュージアム、読売新聞社
 共 催：本山修験宗総本山 聖護院門跡
 出品資料数：38件

担当者：長村祥知

【関連行事】

- 〔1〕記念講演会「聖護院と修験の美術」
 日時：4月25日(土) 午前10時30分～正午
 場所：本館3階フィルムシアター
 講師：龍谷大学龍谷ミュージアム副館長・学芸員 石川知彦氏
 参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
 参加者数：45名
- 〔2〕ギャラリートーク
 日時：4月10日(金)、4月24日(金)
 午後6時～(30分程度)
 場所：本館2階総合展示室内
 担当：長村祥知
 参加者数：それぞれ 15名、5名

※出品資料一覧は2014年度年報に掲載

Ⅲ-1 総合展示 ▶ 3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン

② 紅板締―庶民の生活を彩った染織―

会 期：2015年4月24日(金)～7月12日(日)
 第1期：4月24日(金)～5月14日(木)
 第2期：5月15日(金)～7月12日(日)

概 要：紅板締は、江戸時代後期から明治時代にかけて盛んに行われた染色技法の一つであり、京都は紅板締の主たる生産地であったが、今ではほとんどその存在すら知られていない。京

都府では、平成25年(2013)に、光華女子短期大学名誉教授の野上俊子氏から、紅板締の下着や型板、裂など貴重な資料の寄贈があったため、これらを中心として紅板締にまつわる京都府所蔵の資料29件60点を紹介した。

出品資料数：29件
 担当者：林 智子

【「紅板締―庶民の生活を彩った染織―」展 出品資料一覧】

番号	作品名	年代		展示期間
1	締粹	江戸時代後期～明治時代	「紅宇」高野家伝来	第1・2期
2	雪輪竹文様下着	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
3	蝶花破小垣文様下着	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
4	折鶴亀文様下着	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
5	竹文様下着	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
6	傘桜花麻葉文様下着	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
7	菊鶴楓波文様下着	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
8	楓流水文様着物	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期

9	葵菱襷文様小袖	江戸時代後期	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
10	鶴文様着物	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
11	桜花橘文様下着	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
12	縞文様振袖	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
13	熨斗桜花文様下着	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
14	桜楓扇文様長襦袢	大正時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
15	麻葉文様長襦袢	大正時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
16	型板(麻葉文様ほか)	江戸時代後期～昭和時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
17	板締裂仏供米袋	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
18	菊花文板締懐中小物入れ	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
19	雪輪草花文様裂	安政7年(1860)銘	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
20	蝙蝠雲文様裂	江戸時代後期	平成25年度野上敏子氏寄贈	第1・2期
21	花蝶鳳凰文字文様裂	19～20世紀	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
22	押絵細工額	明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
23	草花文様振袖	大正時代	吉川観方コレクション	第2期
24	草花文様下着	大正時代	吉川観方コレクション	第2期
25	紅板締裂(麻葉繫文様ほか)	江戸時代後期～明治時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
26	端縫衣裳(菊花破立涌文様裂ほか)	明治～大正時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
27	端縫衣裳(桜短冊文様裂ほか)	明治～大正時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
28	端縫衣裳(蝶文様裂ほか)	明治～大正時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期
29	帯(草花文様ほか)	明治～大正時代	平成25年度野上敏子氏寄贈	第2期

Ⅲ-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

③ 細川家 永青文庫コレクション8 ―近代絵画―

会 期：2015年7月17日(金)～9月13日(日)

前期展示：7月17日(金)～8月16日(日)

後期展示：8月18日(火)～9月13日(日)

概 要：永青文庫の設立者である十六代細川護立(1883～1970)は、日本近代絵画の優れた蒐集家として知られている。護立は白樺派の画家・美術史家である児島喜久雄とともに大観の肖像を描く会、「二十五日会」を企画し、安井曾太郎、梅原龍三郎、安田靉彦、小林古径らを招いて開催した。本展では、東京・永青文庫の所蔵品の中から、近代絵画コレクションの優品を

紹介するとともに、この「二十五日会」関連資料を展示した。

出品資料数：29件

担当者：植田彩芳子

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：7月31日(金)、8月28日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：植田彩芳子

参加者数：それぞれ 10名、8名

【「細川家 永青文庫コレクション8」展 出品資料一覧】

番号	作品名	作者名	制作年	材質・技法	員数
1	龍胆図扇	横山大観	昭和9年	紙本金地着色	1本
2	山魚図扇	横山大観		紙本墨画	1本
3	山水漁舟図扇	横山大観		紙本墨画	1本
4	松図扇	下村観山		紙本金地着色	1本
5	月光樹影図扇	下村観山		紙本墨画	1本
6	撫子図扇	下村観山		紙本金地着色	1本
7	老松図扇	平福百穂		紙本金地着色	1本
8	孔雀	小林古径		紙本着色	2曲1隻

9	鶉図	小林古径		絹本着色	1幅
10	西遊記	今村紫紅	大正2年	絹本着色	3幅
11	雲山簫寺	竹内栖鳳		絹本墨画	1幅
12	松竹梅	竹内栖鳳	大正5年	絹本着色	3幅
13	林泉郡鶴図	西村五雲		紙本着色	6曲1双
14	寒山拾得	横山大観・下村観山	明治44年頃	絹本墨画淡彩	1幅
15	女	下村観山	大正4年	絹本着色	1幅
16	観音	横山大観		絹本着色	3幅
17	勅題・旭光照波	横山大観	大正11年	絹本着色	1幅
18	勅題・山色新	横山大観	昭和3年	絹本着色	1幅
19	勅題・池辺鶴	横山大観	昭和10年	絹本着色	1幅
20	写生会配置図、写真		昭和16～18年	紙本墨画、写真	1巻
21	写生会風景スケッチ			紙本墨画	1枚
22	大観先生デッサン コンテ	梅原龍三郎	昭和17年	紙、コンテ	1面
23	大観先生デッサン 鉛筆	梅原龍三郎	昭和17年	紙、鉛筆	1面
24	大観先生 油彩	梅原龍三郎	昭和17年	カンヴァス、油彩	1面
25	大観先生	安井曾太郎	昭和17年	紙、鉛筆・岩絵具ほか	1面
26	大観先生デッサン	児島喜久雄	昭和17年	紙、鉛筆	1面
27	大観先生デッサン	小林古径	昭和17年	紙、鉛筆	1面
28	大観先生デッサン	安田鞞彦	昭和18年	紙、鉛筆・水墨	7枚
29	大観先生デッサン	安田鞞彦		紙、鉛筆	1面

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

④ ユネスコ記憶遺産登録候補 東寺百合文書

会 期：2015年7月17日(金)～9月13日(日)

前期展示：7月17日(金)～8月13日(木)

後期展示：8月18日(火)～9月13日(日)

概 要：東寺百合文書は、天皇や将軍といった当時の為政者や、市井に暮らす庶民まで中世を生きる人々の姿を雄弁に語る。本展覧会ではこの文書群の中から、歴代足利将軍の直筆にこだわり展示を行った。室町幕府が京都に登場し、どのように文書を機能させてきたか。また室町幕府にとって東寺はどのような寺院だったのか。将軍の直筆文書を通して紹介した。

出品資料数：60件

担当者：西山 剛

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：7月31日(金)、8月28日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：西山 剛

参加者数：それぞれ 10名、8名

【「東寺百合文書」展 出品資料一覧】

番号	指定	名称	員数	成立年代	整理番号
1	国宝	足利尊氏御内書	一幅	暦応2年10月27日	せ函/足利将軍家下文/1/
2	国宝	足利直義裁許状	一幅	貞和2年閏9月27日	せ函/足利将軍家下文/2/
3	国宝	足利直義裁許状	一幅	貞和5年閏6月27日	せ函/足利将軍家下文/3/
4	国宝	足利尊氏御判御教書	一通	観応元年7月28日	せ函/足利将軍家下文/4/
5	国宝	足利尊氏御判御教書	一通	観応元年7月28日	せ函/足利将軍家下文/5/
6	重要文化財	足利義詮自筆御内書	一通	観応元年11月18日	観智院/7/
7	国宝	足利義詮御判御教書	一通	観応2年10月25日	せ函/足利将軍家下文/6/
8	国宝	足利義詮御判御教書	一通	正平6年11月16日	せ函/足利将軍家下文/7/

9	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	観応3年3月22日	ホ函/28/1,ホ函/28/2/
10	国宝	足利義詮御判御教書	一幅	観応3年3月26日	セ函/足利將軍家下文/8/
11	国宝	足利義詮御判御教書	一通	観応3年6月10日	セ函/足利將軍家下文/9/
12	国宝	足利義詮御判御教書	一通	観応3年8月8日	セ函/足利將軍家下文/10/
13	国宝	足利義詮御判御教書	一通	観応3年8月21日	セ函/足利將軍家下文/11/
14	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	観応3年8月27日	セ函/足利將軍家下文/12/1/
15	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	観応3年8月27日	セ函/足利將軍家下文/12/2/
16	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	観応3年9月18日	セ函/足利將軍家下文/13/1/
17	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	観応3年9月18日	セ函/足利將軍家下文/13/2/
18	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	観応3年9月18日	セ函/足利將軍家下文/13/3/
19	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	観応3年9月18日	セ函/足利將軍家下文/13/4/
20	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	文和2年10月8日	セ函/足利將軍家下文/20/1/
21	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	文和2年12月8日	セ函/足利將軍家下文/20/2/
22	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	文和2年12月8日	セ函/足利將軍家下文/20/3/
23	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	文和3年5月21日	セ函/足利將軍家下文/20/4/
24	国宝	足利義詮御判御教書	一通	文和3年5月21日	セ函/足利將軍家下文/14/
25	国宝	足利義詮御判御教書	一通	文和3年10月13日	ヒ函/51/
26	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	文和3年10月13日	甲号外/26/1/
27	国宝	足利尊氏御判御教書	一通	文和3年10月21日	セ函/足利將軍家下文/15/
28	国宝	足利尊氏御判御教書	一通	文和3年10月21日	セ函/足利將軍家下文/16/
29	国宝	足利尊氏御判御教書	一通	文和3年12月27日	セ函/足利將軍家下文/17/
30	国宝	足利尊氏御判御教書	一通	文和4年7月18日	セ函/足利將軍家下文/18/
31	国宝	足利尊氏御判御教書	一通	文和4年12月3日	セ函/足利將軍家下文/19/
32	国宝	足利義詮御判御教書	一卷のうち一通	延文2年3月26日	セ函/足利將軍家下文/20/5/
33	国宝	足利義詮御判御教書	一通	延文2年3月26日	ヤ函/27/
34	国宝	足利義詮御判御教書	一通	延文2年8月21日	セ函/足利將軍家下文/21/
35	国宝	足利義詮御判御教書	一通	康安元年11月17日	マ函/54/
36	国宝	足利義詮御判御教書	一通	貞治元年12月20日	ア函/18/1/
37	国宝	足利義詮御判御教書	一通	貞治2年8月12日	セ函/足利將軍家下文/22/
38	国宝	足利義詮御判御教書	一通	貞治6年9月10日	甲号外/17/1/
39	国宝	足利義満御判御教書	一通	永徳元年12月12日	セ函/武家御教書並達/52/
40	国宝	足利義満御判御教書案	一冊	永徳元年12月12日	追加之部/22/32/
41	国宝	室町幕府御教書	一卷のうち一通	至徳元年3月20日	甲号外/26/2/
42	国宝	足利義満備後国因島地頭職寄進状	一幅	至徳4年間5月12日	セ函/足利將軍家下文/23/
43	国宝	足利義満下知状	一通	康応元年4月25日	甲号外/17/2/
44	国宝	足利義満御判御教書	一通	明德元年閏3月6日	マ函/74/
45	国宝	足利義満御判御教書	一通	応永6年10月28日	ヒ函/65/
46	国宝	足利義満自筆仏舎利奉請状	一幅	応永13年9月10日	キ函/37/
47	国宝	足利義持御判御教書	一通	応永15年10月5日	ホ函/41/2/
48	国宝	足利義持御判御教書	一通	応永15年11月25日	セ函/足利將軍家下文/25/
49	国宝	足利義持御判御教書	一通	応永17年12月3日	甲号外/26/4/
50	国宝	足利義持御判御教書	一幅	応永17年12月24日	マ函/82/
51	国宝	足利義持自筆御内書	一通	(応永20年)5月13日	ホ函/76/
52	国宝	足利義持御判御教書	一卷のうち一通	応永17年12月3日	甲号外/26/4/
53	国宝	足利義持御判御教書	一幅	応永31年3月12日	ヒ函/68/
54	国宝	足利義政御判御教書	一幅	長祿4年3月26日	イ函/29/
55	国宝	山城国上久世庄百姓等連署起請文	一通	寛正3年11月9日	リ函/184/
56	国宝	山城国下久世庄百姓等連署起請文	一通	寛正3年11月11日	工函/95/
57	国宝	足利義政自筆御判御教書	一通	応仁元年6月25日	マ函/94/
58	国宝	足利義晴御判御教書	一通	大永7年11月18日	甲号外/24/
59	国宝	室町幕府奉行人連署奉書	一卷のうち一通	天文14年8月12日	甲号外/26/3/
60	国宝	三好長慶禁制	一通	天文21年12月日	ヤ函/195/

⑤ 再興十周年記念 洛陽三十三所—観音霊場の再興—

会 期：2015年9月18日(金)～11月23日(月・祝)
 前期展示：9月18日(金)～10月18日(日)
 後期展示：10月21日(水)～11月23日(月・祝)

概 要：平安時代以降、西国三十三所等の観音菩薩巡礼が盛んとなり、京都(洛陽)においても三十三の観音を対象とする巡礼が行なわれるようになった。応仁の乱や明治維新による衰退もあったが、平成17年(2005)に平成洛陽三十三所観音霊場会が結成され、再興されることとなった。再興から十年を迎える2015年、「霊場の再興」に注目して、洛陽三十三所の多角的な魅力を伝える展覧会を開催した。

協 力：平成洛陽三十三所観音霊場会

出品資料数：25件

担当者：長村祥知

【関連行事】

〔1〕開白記念法要

日時：9月18日(金) 午前11:00～

場所：本館2階総合展示室内

〔2〕ギャラリートーク

日時：10月2日(金)、11月6日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：長村祥知

参加者数：それぞれ15名、20名

〔3〕再興十周年記念シンポジウム

日時：11月10日(火) 午後2時～4時30分

場所：本館5階

参加者数：56名

◆講演会1「洛陽三十三所観音の歴史」

講師：細川武稔氏(平成洛陽三十三所観音

霊場会 研究員/六角堂頂法寺)

◆講演会2「楊貴妃観音の〈誕生〉」

講師：西谷功氏(泉涌寺心照殿学芸員)

◆座談会「再興十周年を振り返って」

講師：伊藤史郎師(椿寺地蔵院)・上村法玄師(東

向観音寺)・橋本周現師(金戒光明寺)・松浦俊

昭師(壬生寺中院)

司会：長村祥知(当館学芸員)

【「洛陽三十三所」展 出品資料一覧】

番号	指定	名称	作者等	時代	所蔵	員数	展示期間
1	京都府 指定文化財	清水寺再興勸進状	願阿上人筆	室町時代 文明11年(1479)	清水寺	1巻	通期
2		清水寺再興奉加帳		室町時代	清水寺	1巻	通期
3		清水寺参詣曼荼羅		室町時代	清水寺	1幅	前期
4		清水寺境内図屏風	狩野信道画	江戸時代	清水寺	6曲1隻	通期
5		金山天王寺縁起絵巻		桃山時代	廬山寺	1巻	通期 (巻き替え)
6		後柏原天皇繪旨		室町時代 永正15年(1518)	廬山寺	1通 (1巻のうち)	前期
7		楊柳観音像		朝鮮・高麗時代	廬山寺	1幅	前期
8		十一仏図		室町時代	廬山寺	1幅	後期
9		靈元法皇像		江戸時代	泉涌寺	1幅	通期
10		補陀海山円通宝閣額残 闕		鎌倉時代 建治2年(1276年)	泉涌寺	1面	後期
11		泉涌寺再興日記		江戸時代	泉涌寺	1冊	後期
12		泉涌寺殿堂并什物色目		江戸時代 天保15年(1844)	泉涌寺	1冊	後期
13		長恨歌絵巻		江戸時代	新善光寺	1巻	後期
14		吉田寺寺号額		江戸時代 文化4年(1807)	金戒光明寺	1面	通期
15		吉田寺観音縁起写		江戸時代 (原本:大永3年<1523>)	金戒光明寺	1巻	通期
16		紫雲山黒谷略記		江戸時代	金戒光明寺	1冊	通期
17		浄鏡	中河信義作	江戸時代 万治2年(1659)	金戒光明寺	1面	通期
18		千手観音持物		江戸時代	金戒光明寺	2柄	通期

19		北野御託宣并記文縁起		室町時代	東向観音寺	1帖	後期
20		北野御託宣并記文縁起 (江戸写本)	菅原為徳筆	江戸時代 文化9年(1812)	東向観音寺	1帖	後期
21		束帯天神像		室町時代	東向観音寺	1幅	後期
22		束帯天神像(江戸模本)	狩野永納画	江戸時代	東向観音寺	1幅	後期
23		妙法蓮華経 観世音菩薩普門品		江戸時代 正徳元年(1711)	東向観音寺	1帖	後期
24		城興寺古伽藍図		江戸時代	城興寺	1幅	前期
25		薬院社神鏡		室町時代 応永15年(1408)	城興寺	1面	通期

⑥ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝5

会 期：2015年9月19日(土)～11月15日(日)

前期展示：9月19日(土)～10月18日(日)

後期展示：10月21日(水)～11月15日(日)

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では、「天皇と摂関の群像―歴代日記と肖像画―」をテーマに、遠祖である藤原鎌足や近衛家当

主・天皇の肖像画と、『御堂関白記』『後二条殿記』等の日記、『春日権現霊験記絵巻』等を展示して、近衛家に伝わった王朝文化の世界を紹介した。

協 力：公益財団法人陽明文庫

出品資料数：30件

担当者：長村祥知

【「陽明文庫の名宝5」展 出品資料一覧】

番号	指定等	資料名	筆者等	制作期	員数	会期
1	国宝	御堂関白記 自筆本 長和元年上巻	藤原道長筆	平安時代 長和元年(1012)	1巻	前期
2	国宝	御堂関白記 古写本 長和元年巻		平安時代	1巻	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘四年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘4年(1007)	1巻	後期
4	国宝	御堂御記抄 長和四年十月二十八日条		平安時代	1巻	後期
5		春日権現霊験記絵巻 巻第六	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
6		春日権現霊験記絵巻 巻第十二	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
7	重要文化財	延喜天曆御記抄		鎌倉時代	1巻	前期
8	重要文化財	九曆記抄		鎌倉時代	1巻	後期
9	国宝	後二条殿記 自筆本 寛治七年二月廿二日別記	藤原師通筆	平安時代 寛治7年(1093)	1巻	後期
10	国宝	後二条殿記 古写本 寛治四年秋冬巻		平安時代	1巻	前期
11	重要文化財	知足院関白記(殿曆) 康和元年・二年帖	近衛基平筆	鎌倉時代 文永4年(1267)	1帖	前期
12	重要文化財	知足院関白記(殿曆) 康和三年帖	近衛基平筆	鎌倉時代 文永4年(1267)	1帖	前期
13	重要文化財	知足院関白記(殿曆) 長治二年帖		鎌倉時代 13世紀	1帖	後期
14	重要文化財	知足院関白記(殿曆) 嘉承二年帖		鎌倉時代 13世紀	1帖	後期
15	重要文化財	猪熊関白記 自筆本 正治元年春巻	近衛家実筆	鎌倉時代 正治元年(1199)	1巻	前期
16	重要文化財	猪熊関白記 自筆本 建仁三年秋巻	近衛家実筆	鎌倉時代 建仁3年(1203)	1巻	後期

17	重要文化財	藤原忠通書状(為房記)	藤原忠通筆	平安時代 12世紀	1幅	前期
18	重要文化財	藤原忠通書状(僧事云々)	藤原忠通筆	平安時代 12世紀	1幅	後期
19	重要文化財	後深草天皇宸翰御消息	後深草天皇筆	鎌倉時代 永仁5年(1297)	1幅	前期
20	重要文化財	花園天皇宸翰御消息	花園天皇筆	鎌倉時代 14世紀	1幅	後期
21		天子御影		安土桃山時代 16世紀	1巻	通期 (巻き替え)
22		摂関御影		安土桃山時代 16世紀	2巻	前期・後期
23	重要文化財	春日鹿曼荼羅図		鎌倉時代 13世紀	1幅	前期
24		春日鹿曼荼羅図 剥落模写		昭和時代	1幅	後期
25		藤原鎌足像		室町時代 15-16世紀	1幅	通期
26		柿本人麻呂像	近衛信尹画賛	安土桃山時代—江戸時代 16-17世紀	1幅	通期
27		柿本人麻呂像	後水尾天皇賛 聖護院道晃法親王画	江戸時代 17世紀	1幅	通期
28		近衛基熙像	近衛基熙賛 丹波頼庸画	江戸時代 宝永3年(1706)	1幅	通期
29		紫宸殿賢聖障子図	狩野常信画	江戸時代 宝永6年(1709)	3幅	通期
30		近衛家熙像	九峰自端賛 寛深画	江戸時代 18世紀	1幅	通期

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

⑦ 公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター設立35周年記念
和魂漢才—京都・東アジア「交流」の考古学—

会 期：2015年11月28日(土)～2016年1月11日(月・祝)
概 要：本展覧会では、同センターの設立35周年を記念して、京都の歴史に光を当てながら、国内外とりわけ東アジアとの、人やものの交流を考古資料から描き出した。人、ものの交流が刺激となり、変化しながら現在の私たちの文化につながっていく様子、ならびに各時代の特徴ある「交流」の実態をご覧いただき、京都府の考古学調査をリードしてきた同センターの長年の成果を展示した。

出品資料数：153件

担当者：村野正景

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：2015年11月28日(土)、12月2日(水)、
12月9日(水)、1月6日(水)
午後2時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：京都府埋蔵文化財調査研究センター担当者

参加者数：それぞれ 17名、10名、16名、15名

【「和魂漢才」展 出品資料一覧】

番号	資料名	出土地	遺跡名	時代	遺物管理団体	指定
1	巫女埴輪	京丹波町	塩谷5号墳	古墳	京丹波町	○
2	木製案	京丹後市	古殿遺跡	古墳	センター	
3	『源氏物語』青表紙本	—	—	室町	古代学協会	◎
4	石器	長岡京市	伊賀寺遺跡	縄文	センター	
5	石槍	亀岡市	鹿谷遺跡	縄文	亀岡市	
6	石包丁	亀岡市	太田遺跡	弥生	亀岡市	
7	大陸系磨製石器	京丹後市	芦原遺跡	弥生	久美浜町芦原区	
8	縄文土器	大山崎町	下植野南遺跡	縄文	センター	
9	弥生土器	長岡京市	雲宮遺跡	弥生	センター	
10	石棒	京田辺市	薪遺跡	縄文	センター	
11	翡翠大珠	精華町	棕ノ木遺跡	縄文	センター	
12	石冠	長岡京市	友岡遺跡	縄文	センター	
13	土偶	福知山市	三河宮の下遺跡	縄文	丹後郷土資料館	
14	袈裟褌文銅鐸	京都市	梅ヶ畑銅鐸	弥生	京都府	○
15	銅鐸鋳型	向日市	鶏冠井出土	弥生	向日市	

16	銅鐸※	—	—	—	山城郷土資料館	
17	銅剣形石剣	舞鶴市	志高遺跡	弥生	舞鶴市	
18	磨製石剣	亀岡市	時塚遺跡	弥生	センター	
19	磨製石鏃	亀岡市	太田遺跡	弥生	亀岡市	
20	磨製石矛	亀岡市	太田遺跡	弥生	亀岡市	
21	磨製石剣	久御山町	市田斉当坊遺跡	弥生	久御山町	
22	打製石器	京都市	東土川遺跡	弥生	センター	
23	磨製石器	京都市	東土川遺跡	弥生	センター	
24	銅剣	長岡京市	神足遺跡	弥生	長岡京市	
25	銅鏃	宮津市	桑原口遺跡	弥生	宮津市	
26	銅釧	城陽市	芝ヶ原古墳	古墳	城陽市	◎
27	石製腕飾類	南丹市	園部垣内古墳	古墳	南丹市	◎
28	鏃形石製品	南丹市	園部垣内古墳	古墳	南丹市	◎
29	三角縁神獣鏡	南丹市	園部垣内古墳	古墳	南丹市	◎
30	蕨手装飾付鉄剣	八幡市	ヒル塚古墳	古墳	八幡市	
31	蛇行剣	南丹市	城谷口2号墳	古墳	南丹市	
32	鉄鐸	南丹市	城谷口2号墳	古墳	南丹市	
33	方形板革綴短甲	木津川市	瓦谷1号墳	古墳	木津川市	
34	小札革綴冑	木津川市	瓦谷1号墳	古墳	木津川市	
35	鉄剣	京丹後市	奈良岡北1号墳	古墳	京都府	○
36	鉄鏃	京丹後市	奈良岡北1号墳	古墳	京都府	○
37	長方形革綴短甲	南丹市	今林6号墳	古墳	センター	
38	馬形埴輪	木津川市	上人ヶ平埴輪窯跡	古墳	木津川市	
39	f字形鏡板付轡	亀岡市	時塚1号墳	古墳	センター	
40	木製鞍	福知山市	石本遺跡	古墳	福知山市	
41	杏葉	福知山市	奉安塚古墳	古墳	京都府	○
42	胡ろく金具	綾部市	私市円山古墳	古墳	綾部市	○
43	胡ろく金具	八幡市	女谷・荒坂横穴群	古墳	八幡市	
44	双頭竜文鏡	南丹市	黒田古墳	古墳	南丹市	○
45	方格規矩鏡※	京丹後市	大田南5号墳	古墳	丹後郷土資料館	
46	三角縁神獣鏡※	木津川市	椿井大塚山古墳	古墳	山城郷土資料館	
47	六獣形鏡	木津川市	内田山B1号墳	古墳	センター	
48	竜虎鏡	福知山市	又クモ古墳	古墳	福知山市	
49	斜縁四神二獣鏡	京丹後市	千束古墳	古墳	センター	
50	八花鏡	八幡市	女谷・荒坂横穴群	平安	センター	
51	水草双鳥鏡	宮津市	エノケ経塚	平安	宮津市	
52	水草双鳥鏡	久御山町	市田斉当坊遺跡	平安	久御山町	
53	陶質土器	宇治市	宇治市街遺跡	古墳	宇治市	
54	須恵器	大山崎町	下植野南遺跡	古墳	山城郷土資料館	
55	特殊扁壺	京丹後市	今井古墳	古墳	センター	
56	革袋形提瓶	京丹後市	谷垣3号墳	古墳	丹後郷土資料館	
57	把手・脚付杯	京丹後市	崩谷2号墳	古墳	丹後郷土資料館	
58	軒丸瓦	木津川市	高麗寺	飛鳥	木津川市	
59	軒丸瓦	宇治市	隼上り瓦窯	飛鳥	宇治市	
60	軒丸瓦	京都市	檜原廃寺	飛鳥	京都市埋文研	
61	軒丸瓦	京丹後市	俵野廃寺	奈良	センター	
62	ひさご形土製品	八幡市	美濃山廃寺	奈良	センター	
63	覆鉢形土製品	八幡市	美濃山廃寺	奈良	センター	
64	軒丸瓦	八幡市	美濃山廃寺	奈良	センター	
65	彩釉山水陶器	木津川市	神雄寺跡	奈良	センター	
66	三彩陶器	木津川市	神雄寺跡	奈良	センター	
67	灯明皿	木津川市	神雄寺跡	奈良	センター	
68	「神雄寺」墨書土器	木津川市	神雄寺跡	奈良	センター	
69	銅製経筒	福知山市	大道寺経塚	鎌倉	京都府	○
70	竹製経筒	福知山市	大道寺経塚	鎌倉	京都府	○
71	経典	福知山市	大道寺経塚	鎌倉	京都府	○
72	銅製鏡	福知山市	大道寺経塚	鎌倉	京都府	○
73	軒丸瓦	木津川市	恭仁宮跡	奈良	山城郷土資料館	
74	軒平瓦	木津川市	恭仁宮跡	奈良	山城郷土資料館	
75	文字瓦	木津川市	恭仁宮跡	奈良	山城郷土資料館	

76	土師器	木津川市	上狛北遺跡	奈良	センター	
77	須恵器	木津川市	上狛北遺跡	奈良	センター	
78	陶枕	八幡市	内里八丁遺跡	奈良・平安	センター	
79	石製巡方	八幡市	内里八丁遺跡	奈良・平安	センター	
80	銅製巡方	八幡市	内里八丁遺跡	奈良・平安	センター	
81	石製丸鞆	京都市	長岡京跡	長岡京	センター	
82	皇朝十二銭	向日市	長岡宮跡	奈良・平安	センター	
83	るつぼ	木津川市	銭司遺跡	奈良	恭仁小学校	
84	軒丸瓦	向日市	長岡宮跡	長岡京	センター	
85	「斎宮」墨書土器	京都市	平安京斎宮邸跡	平安	京都市	
86	「斎雑所」墨書土器	京都市	平安京斎宮邸跡	平安	京都市	
87	白磁椀	京都市	平安京斎宮邸跡	平安	京都市	
88	灰釉陶器	京都市	平安京斎宮邸跡	平安	京都市	
89	緑釉陶器	京都市	平安京斎宮邸跡	平安	京都市	
90	青磁椀	京都市	平安京跡	平安	京都市埋文研	
91	合子	京都市	平安京跡	平安	京都市埋文研	
92	二彩小壺	京都市	長岡京跡	長岡京	センター	
93	緑釉唾壺	向日市	長岡宮跡	長岡京	センター	
94	緑釉陶器	亀岡市	篠窯跡群	平安	京都府	
95	緑釉軒丸瓦	京都市	平安宮豊楽殿跡	平安	京都市	◎
96	緑釉軒平瓦	京都市	平安宮豊楽殿跡	平安	京都市	◎
97	垂木先飾り金具	京都市	平安宮豊楽殿跡	平安	京都市	◎
98	銅製釘	京都市	平安宮豊楽殿跡	平安	京都市	◎
99	金銅小野毛人墓誌※	京都市	小野毛人墓	奈良	山城郷土資料館	
100	「讃岐国」木簡	木津川市	上狛北遺跡	奈良	センター	
101	「姉虫女」木簡	木津川市	上狛北遺跡	奈良	センター	
102	習書木簡	木津川市	上狛北遺跡	奈良	センター	
103	削屑	木津川市	上狛北遺跡	奈良	センター	
104	墨書土器	木津川市	上狛北遺跡	奈良	センター	
105	歌木簡	木津川市	神雄寺跡	奈良	センター	
106	木簡	木津川市	神雄寺跡	奈良	センター	
107	墨書土器	木津川市	神雄寺跡	奈良	センター	
108	和歌墨書土器	京都市	平安宮左兵衛府跡	奈良	京都市	
109	「いろは歌」墨書土器	京都市	平安京堀河院跡	奈良	京都市埋文研	
110	風字硯	大山崎町	百々遺跡	平安	センター	
111	青磁水注	京都市	平安京跡	平安	センター	
112	土師器皿	京都市	平安京跡	平安	京都府	
113	白磁椀	京都市	平安京跡	平安	センター	
114	白磁椀	京田辺市	門田遺跡	平安	センター	
115	白磁合子	大山崎町	松田遺跡	鎌倉	センター	
116	白磁壺	京都市	平安京跡	平安	センター	
117	白磁皿	精華町	棕ノ木遺跡	鎌倉	センター	
118	青磁椀	八幡市	内里八丁遺跡	平安	センター	
119	魚文青磁鉢	京都市	平安京聚楽第跡	室町	センター	
120	蓮弁文青磁椀	木津川市	前栢遺跡	鎌倉	木津川市	
121	雷文青磁椀	南丹市	八木城跡	室町	センター	
122	三彩盤	京都市	平安京跡	室町	センター	
123	青磁香炉	笠置町	笠置寺	鎌倉	センター	
124	古瀬戸香炉	京都市	平安京跡	室町	センター	
125	瓦質土器香炉	京田辺市	門田遺跡	室町	センター	
126	細蓮文青磁椀	京丹後市	シミズ谷城跡	室町	センター	
127	金箔飾り瓦	京都市	平安京跡	安土・桃山	センター	
128	金箔家紋瓦	京都市	平安京跡	安土・桃山	センター	
129	糸割符木簡	京都市	平安京跡	江戸	京都府	
130	銅製錘	京丹後市	シミズ谷城跡	室町	センター	
131	男子像	京都市	平安京跡	室町	センター	
132	腰刀	久御山町	佐山遺跡	鎌倉	久御山町	
133	漆絵漆器椀	宮津市	難波野遺跡	鎌倉	センター	
134	ベトナム陶器壺	京都市	平安京跡	安土・桃山	京都府	
135	青花磁器大皿	京都市	平安京跡	安土・桃山	センター	

136	華南三彩盤	京都市	平安京跡	安土・桃山	センター	
137	黄瀬戸銅鑼鉢	京都市	平安京跡	安土・桃山	センター	
138	美濃瀬戸天目茶椀	京都市	平安京跡	江戸	センター	
139	唐津天目茶椀	京都市	平安京跡	江戸	センター	
140	志野織部皿	京都市	平安京跡	江戸	センター	
141	絵唐津大皿	京都市	平安京跡	江戸	センター	
142	伊万里赤絵鉢	京都市	寺町旧域	江戸	センター	
143	伊万里染付鉢	京都市	寺町旧域	江戸	センター	
144	伊万里染付皿	京都市	寺町旧域	江戸	センター	
145	朝鮮王朝粉青沙器椀	京都市	平安京跡	江戸	センター	
146	朝鮮王朝白磁鉢	京都市	平安京跡	安土・桃山	センター	
147	高麗青磁片	舞鶴市	大川遺跡	室町	センター	
148	織部黒沓茶椀	京都市	平安京跡	江戸	センター	
149	絵唐津沓茶椀	京都市	平安京跡	江戸	センター	
150	青織部向付	京都市	平安京跡	江戸	京都府	
151	黒織部沓茶椀	京都市	平安京跡	江戸	京都府	
152	青織部向付	京都市	平安京跡	江戸	センター	
153	金箔瓦	京都市	平安京聚楽第跡	安土・桃山	京都府	◎

◎重要文化財 ○府指定文化財 ※レプリカ

センター：京都府埋蔵文化財調査研究センター 京都市埋文研：京都市埋蔵文化財研究所

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

⑧ 博学社連携のとりのくみ 文博界隈の歴史と文化

会 期：2016年1月16日(土)～2016年2月21日(日)
 概 要：京都文化博物館は、南を三条通、北を姉小路通に面して位置している。東海道の起点として賑わった三条通、文人墨客が行き来し、知識人層の交流の場であった姉小路通はいずれも、京都の中心的存在の一つとして、都市文化の重要な役割を担っている。本展覧会では、京都文化博物館界隈を対象に、当該地域にいかなる歴史的・文化的資源が存在するか、地域の方々のご協力させていただきながら、そ

の実像の一端をご紹介します。

出品資料数：26件

担当者：村野正景・西山 剛

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：2016年2月5日(金)、2月12日(金)

午後2時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：村野正景、西山 剛

参加者数：それぞれ 28名、16名

【「文博界隈の歴史と文化」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	所蔵者	展示期間
1	平安京高倉宮下層遺跡出土 土器・石器	縄文～弥生時代	京都文化博物館	通期
2	平安京高倉宮・曇華院跡出土 白磁・土師器・瓦	平安時代	京都文化博物館	通期
3	平安京高倉宮・曇華院跡出土 土師器・瓦・伏見人形・陶器・骨製品・銅製品・小判	室町～江戸時代	京都文化博物館	通期
4	御条目(町中の儀二付)	明暦元年(1655)	個人蔵	通期
5	宗門人別改帳	延享元年(1744)	個人蔵	通期
6	宗門人別改帳	延享2年(1745)	個人蔵	通期
7	宗門人別改帳	延享4年(1747)	個人蔵	通期
8	当町年寄役二付町儀控	宝暦9年(1759)	個人蔵	通期
9	仙洞新殿御幸行列	寛政2年(1790)	個人蔵	通期
10	僧正衣御装束一式	天保9年(1838)	個人蔵	通期
11	町用日記	文久2年(1862)	個人蔵	通期
12	上洛参内加茂行幸列記等	文久3年(1863)	個人蔵	通期
13	石清水行幸諸入用	文久3年(1863)	個人蔵	通期
14	公方様薨去御被為遊候二付御停止之御触書之控	慶応2年(1866)	個人蔵	通期

15	御装束類御地本帳	江戸時代	個人蔵	通期
16	組町書	江戸時代	個人蔵	通期
17	松下町町式目	江戸時代	井山家	通期
18	日本銀行京都支店建材サンプル	明治～昭和時代	京都文化博物館	通期
19	復刻版観光絵葉書とカメラ	明治～平成時代	福井朝日堂	通期
20	漆工芸 塗、蒔絵見本手板	昭和初期頃	西村吉象堂	通期
21	寿司委託加工店看板	昭和24年(1949)	柳家	通期
22	御化粧道具用包み紙	昭和35年(1960)・平成15年(2003)	長谷川松寿堂	通期
23	蒔絵砥石と日本カミソリ、料金表	昭和時代	KATO 理髪店	通期
24	三条大路を歩く人々 画：佐々木和子・三橋節子	昭和時代	京都文化博物館	通期
25	姉小路界限町式目 平成版	平成時代	姉小路界限を考える会	通期
26	表装用具	平成時代	岡墨光堂	通期

Ⅲ-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

⑨ 京都府コレクション 雛人形名品展

会 期：2016年2月26日(金)～4月3日(日)

概 要：京都府には質の高い雛人形のコレクションがあり、毎年上巳の節句の時期に展示を行っている。本年も、元禄雛から古今雛に至る、雛人形の様式変遷を語る貴重な資料を中心に、御殿雛、大礼雛などを展覧し、雛人形の文化の広がりを紹介した。また、雛人形とともに

飾られることの多かった天児、這子、犬筥といった人形や、雛人形を描いた絵画作品や公家の装束、子供の振袖といった関連資料も展覧した。

出品資料数：25件
担当者：林 智子

【「雛人形名品展」出品資料一覧】

番号	分類	作品名	作者	年代	展示期間
1	人形	天児	五世大木丸平	江戸時代後期	通期
2	人形	這子		江戸時代後期	通期
3	人形	元禄雛		江戸時代中期	通期
4	人形	有職雛		江戸時代後期	通期
5	人形	立雛		江戸時代後期	通期
6	人形	古今雛		文政6年(1823)	通期
7	人形	古今雛		江戸時代末期	通期
8	人形	御殿雛		大正時代	通期
9	人形	大礼雛		昭和2年(1927)	通期
10	人形	市松人形		明治時代～大正時代	通期
11	人形	御所人形 花車曳き ほか		江戸時代後期～明治時代	通期
12	人形	三折人形	大正時代	通期	
13	人形	衣裳人形 母と娘 ほか	江戸時代後期～明治時代	通期	
14	日本画	立雛	長沢芦鳳 山口素綯	江戸時代後期	前期
15	日本画	立雛		江戸時代後期	後期
16	風俗	犬筥	岡本正太郎 中田世津		通期
17	風俗	振々			通期
18	風俗	羽子板			通期
19	染織	桂 萌黄花菱亀甲地に牡丹丸文二倍織物		江戸時代後期	通期
20	染織	袴 紅精好地		江戸時代後期	通期
21	染織	狩衣 紫綾地花立涌に四つ竜胆窠文綾		江戸時代末期	通期
22	染織	石帯	江戸時代末期	通期	
23	人形	立雛	昭和45年(1970)	通期	
24	人形	御立雛	昭和52年(1977)	通期	
25	染織	振袖 釣花文様一つ身 ほか	明治時代～大正時代	通期	

⑩ 京都府蔵池大雅美術館コレクション 池大雅

会 期：2016年2月26日(金)～4月3日(日)

出品資料数：17件

概 要：池大雅は、江戸時代中期の京都に生きた文人画の巨匠の一人である。本展示では、池大雅美術館より寄贈され現在京都府が収蔵する池大雅の書画および関連資料のなかから、特に「高士訪隠図屏風」を中心に、大雅のすぐれた書画作品を展示した。

担当者：森 道彦

【「池大雅」展 出品資料一覧】

番号	作者	作品名	材質技法	形態・員数	制作期
1	杲堂元昶	与池野又次郎偈	紙本墨書	掛幅・1幅	享保14年(1729)
2	池大雅	独楽園記	紙本墨書	掛幅・1幅	享保19年(1734)
3	池大雅	考工記図解	紙本墨書墨画	帖装・1帖	延享2年(1745)
4	池大雅	高士訪隠図屏風	紙本墨画淡彩	掛幅・1幅	寛延3年(1750)
5	池大雅	壬生勸戒僧群詣図巻	紙本墨画	卷子・1巻	江戸時代中期
6	池大雅	衆集図	紙本墨画淡彩	掛幅・1幅	江戸時代中期
7		池大雅書簡 井上泰山宛	紙本墨書	掛幅・1幅	江戸時代中期
8		薬効能書	紙本墨書	掛幅・1幅	江戸時代中期
9	池大雅	家方 本書	紙本墨書	掛幅・1幅	江戸時代中期
10	池大雅	家方 本書	紙本墨書	掛幅・1幅	江戸時代中期
11	池大雅	慶子老舞踊図	紙本墨画	掛幅・1幅	江戸時代中期
12		池玉瀾宛祇園社寄付覚書	紙本墨書	掛幅・1幅	明和7年(1770)
13		池玉瀾書簡 万里小路(政房か)宛	紙本墨書	掛幅・1幅	安永5年(1776)
14	大典頭常	池大雅墓碑銘拓本	紙本墨摺拓本	掛幅・1幅	江戸時代 *碑は安永6年(1777)に建立
15		大雅堂名簿	紙本墨書	額装・1面	天明4年(1784)
16	福原五岳	寄懐大雅先生	紙本墨書	掛幅・1幅	江戸時代後期
17		拾遺都名所図会	紙本墨刷	冊子・5冊	天明7年(1787)

【特別陳列】生誕900年記念 歌聖 藤原俊成 冷泉家の至宝から

会 期：2015年12月1日(火)～12月13日(日)

【関連行事】

会 場：2階総合展示室「京の歴史」平安時代ケース

〔1〕記念講演会

概 要：冷泉家時雨亭文庫は、家学である和歌を始めとして、王朝文化を伝える貴重な資料を多数所蔵している。冷泉家の遠祖である藤原俊成(1114-1204)の生誕900年を記念して、俊成の肖像画と、歌人・公卿・能書家という彼の様々な側面を表す自筆資料あわせて全6件を紹介した。

冷泉為人氏「京都冷泉家和歌1000年—王朝文化の伝統一」

村井康彦氏「俊成にせまる」

日時：12月6日(日) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

参加者数：100名

共催：公益財団法人冷泉家時雨亭文庫

出品資料数：6件

担当者：長村祥知

【「歌聖 藤原俊成 冷泉家の至宝から」展 出品資料一覧】

番号	指定等	資料名	筆者等	時代	員数
1	国宝	古来風跡抄	藤原俊成筆	鎌倉時代 建久八年(1197)	2帖
2	重要文化財	公卿補任	藤原俊成筆	平安時代	1帖
3	重要文化財	周防内侍集	藤原俊成筆	平安時代	1帖
4	重要文化財	三位中将公衡卿詠	藤原俊成等筆	鎌倉時代	1帖
5	重要文化財	五条殿 おくりおきし	藤原俊成・伝西行筆	平安時代	1幅
6		俊成図	伝土佐(常盤)光長筆	鎌倉時代	1幅



「紅板締」会場風景



「洛陽三十三所」会場風景



「和魂漢才ー京都・アジア『交流』の考古学」会場風景



「文博界隈の歴史と文化」会場風景



「雛人形名品展」会場風景



「歌聖 藤原俊成 冷泉家の至宝から」会場風景

4) 3階展示室

III-1 総合展示 ▶ 4) 3階展示室

① 日本のふるさと 大丹後展

会 期：2015年12月5日(土)～2016年1月17日(日)
前期展示：2015年12月5日(土)～12月20日(日)
後期展示：2015年12月22日(火)
～2016年1月17日(日)

休館日：月曜日、12月28日～1月4日

会 場：3階展示室

入館料：一般500円(400円)／大学生400円(320円)／
高校生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料
金。

主 催：京都府、京都文化博物館、京都府立大学、京
丹後市、京都新聞

共 催：舞鶴市、宮津市、与謝野町、伊根町

協 力：公益財団法人丹後地域地場産業振興センター

後 援：京都府教育委員会、愛知県、愛知県教育委員会、
名古屋市、名古屋市教育委員会、公益財団法
人京都府埋蔵文化財調査研究センター、産経
新聞社京都総局、読売新聞京都総局、朝日新
聞京都総局、毎日新聞社京都支局、日本経済
新聞社京都支社、エフエム京都、NHK京都放
送局、KBS京都、京丹後コミュニティ放送FM
たんど、久美浜町有線放送農業協同組合、公
益社団法人京都府観光推進協議会、歴史街道推進協
議会、海の京都観光推進協議会、京都丹後鉄
道(WILLER TRAINS株式会社)、丹後織物工業
組合、京丹後市きもの交流会

担当者：村野正景、橋本 章

入場者：18,479名(1日平均577.5人)

【概 要】

丹後は、日本海を通じた中国大陸や朝鮮半島との交流
により栄えた「丹後王国」と呼べる地域でした。また丹
後は、日本最古の羽衣伝説や浦島伝説を代表とする豊
かな伝説・伝承が息づく地域として著名です。このよ
うな歴史と、さらに天橋立に代表されるような美しく
豊かな自然景観が残る丹後は、まさに「日本のふるさと」
と言っても過言ではありません。本展覧会では、「交流」、
「伝説」、「霊地」、「生産」の4つのテーマを設定して、
丹後の過去から現在までに生まれた数々の至宝を一挙
に公開するとともに、丹後の魅力をあわせて感じてい
ただく各種イベントを開催した。



「大丹後展」ちらし

【展覧会の構成】

第1部：交流、第2部：伝統、第3部：霊地、
第4部：生産

【出品作品数】 137件

うち重要文化財8件、京都府指定文化財15件、京都府
登録文化財4件、市指定文化財13件(京丹後市、舞鶴市、
兵庫県丹波市)

【関連行事】

〔1〕オープニングイベント丹後大物産展

日時：12月5日(土) 午前10時～午後4時

会場：当館別館中庭ウッドデッキ

〔2〕陶埴コンサート

日時：12月13日(日) 午後2時～3時30分

会場：当館6階和室

内容：サウンドアーチスト鈴木昭男さんによる
語りと陶埴コンサート

入場料：無料

参加者数：40名

〔3〕京都府立大学生による展示解説

日時：2015年12月6日(日)、12月13日(日)、
12月20日(日)、2016年1月10日(日)
いずれも午前11時～11時30分

参加者数：それぞれ 25名、30名、50名、45名

〔4〕京丹後市教育委員会文化財保護課職員による

ギャラリートーク

日時：2015年12月11日(金)、12月18日(金)、
12月25日(金)、2016年1月8日(金)、
1月15日(金)

いずれも午前11時～11時30分

参加者数：それぞれ22名、35名、38名、82名、
70名

〔5〕関連講演会

日時：2015年12月12日(土) 午後1時30分～5時

会場：京丹後市峰山総合福祉センター 2階
コミュニティホール

内容：シンポジウム「丹後展の見どころを探る」

- ①遺跡から探る交流の歴史 京都府立大学 菱田
哲郎氏 ②中世丹後の神仏と信仰 京都府立大
学 横内裕人氏 ③海と川が繋ぐ丹後の江戸時代
京都府立大学 藤本仁文氏 ④パネルディスカ
ッション「丹後展の見どころを探る」

入場料：無料

参加者数：200名

III-1 総合展示 ▶ 4) 3階展示室

② 琳派400年記念 創立70周年記念 京都工芸美術作家協会～KOGEI～美の創造展

会 期：2016年3月1日(火)～3月27日(日)

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：3階展示室

入館料：一般500円(400円)／大学生400円(320円)／
高校生以下は無料 ※ ()内は20名以上の団体料
金。

主 催：京都府、京都文化博物館、京都工芸美術作家
協会

後 援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都
支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、
日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、
KBS京都、FM京都、琳派400年記念祭委員会

担当者：洲鎌佐智子

入場者：15,093名(1日平均 629名)

【概 要】

京都を中心に活躍する工芸作家が会派を越えて結成す
る京都工芸美術作家協会の創立70周年記念展。また琳
派400年を記念して現在活躍する会員の新作229点を展
観した。京都の現代工芸の今とともに、染織、陶芸、
漆芸、金工、人形、ガラス、木竹、七宝など多岐にわた
る工芸美術の技の奥深さ、創作性の豊かさを紹介した
展覧会。

【関連行事】

〔1〕トークイベント

日時：2016年3月6日(日) 午前11時～正午



「京都工芸美術作家協会展」ちらし

場所：本館3階フィルムシアター

担当：洲鎌佐智子

参加者数：15名

〔2〕ギャラリートーク

日時：2016年3月6日(日) 午後2時～3時

場所：3階展示室内

担当：尾崎真人氏(京都市美術館学芸課長)

参加者数：32名

〔3〕作家によるパネルディスカッション

「京のものづくり」

日時：2016年3月13日(日) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

コーディネーター：永樂善五郎氏

パネラー：高阪嘉津幸、日下部雅生、村田好謙、
今井裕之、徳力竜生

参加者数：72名

〔4〕小品展

日時：2016年3月1日(火)～8日(火)

午前10時～午後6時

場所：京都伝統工芸館5階展示室

入場料：無料

5) ぶんぱく京都講座

III-1 総合展示 ▶ 5) ぶんぱく京都講座

◆ いずれも、場所：本館3階フィルムシアター(④のみ別館2階講義室) 参加費：500円

① 紅板締にみる女性のおしゃれ意識

日時：2015年6月13日(土) 午前10時30分～正午

講師：林 智子 参加者数：30名

概要：2階総合展示室で開催中の総合展示「紅板締—庶民の生活を彩った染織—」に関連した講座である。現代ではほとんどその存在を知られていない紅板締という染色技法について、伝存品や関連資料をとおして紹介するとともに、暗く地味な二枚重の着物の下着に鮮やかな紅板締の生地を用いた近代の庶民の女性たちの衣生活の意識について考察した。参加者からは、庶民の生活の中に広く用いられていた物やそれを制作していた技法が、このような短期間のうちに忘れられた存在になりうるといふ現象に驚いたという意見もあった。

② よくわかる「細川護立と日本近代絵画」入門

日時：2015年7月25日(土) 午前10時30分～正午

講師：植田 彩芳子 参加者数：22名

概要：永青文庫の設立者である十六代細川護立(1883～1970)は、同時代の美術家である日本画家・横山大観や洋画家の梅原龍三郎、安井曾太郎らと交流し、その芸術の庇護者として、すばらしい日本近代絵画コレクションを築き上げたことでも知られている。この講座では、偉大なる日本近代美術のパトロンである細川護立の活動を紹介するとともに、護立と横山大観、梅原龍三郎らの交流の様子などもわかりやすくお話した。

③ 洛陽三十三所観音の信仰と寺宝

日時：2015年11月21日(土) 午前10時30分～正午

講師：長村 祥知 参加者数：49名

概要：平安時代以降、観音がその身体を変化させて衆生を救済する三十三身の数字にちなんで、西国三十三所等の観音菩薩巡礼が盛んとなり、京都(洛陽)においても三十三の観音を対象とする巡礼が行なわれるようになった。応仁の乱や明治維新による衰退もあったが、平成17年(2005)に平成洛陽三十三所観音霊場会が結成され、再興されることとなった。洛陽三十三所の信仰と寺宝が、廃絶や衰退の危機の中でどのようにして現代に伝わったのかを考えた。

④ 考古・歴史資料からみた文博界隈の歴史

日時：2016年1月31日(日) 午後1時30分～3時

講師：村野 正景 参加者数：11名

概要：京都文化博物館が所在する地には、豊かな歴史が重ねられている。地下2メートルほどに存在する縄文時代の遺跡を始め、その後平安時代から近現代まで、人々の生活の様子を知ることができる資料が見つかっている。「文博界隈の歴史と文化展」開催に合わせ、文博界隈で出土した考古・歴史資料を実際に見たり触れたりしながら、当地の歴史を振り返った。また合わせて、現在、当館で実施している地域共働事業についても紹介した。

Ⅲ - 2 特別展示

1) 特別展

Ⅲ-2 特別展示 ▶ 1) 特別展

① 琳派400年記念 現代作家200人による日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美

会 期：2015年4月25日(土)～5月17日(日)
[22日/23日]
休館日：5月11日(月)
会 場：4階・3階展示室
入場料：一般：800円(600円)／大高生：500円(400円)
／中小生：300円(250円)
＊()内は前売券、及び20名以上の団体料金
主 催：京都府、京都文化博物館、京都日本画家協会、
京都工芸美術作家協会、京都新聞
後 援：NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都
協 賛：京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫、
ニューカラー写真印刷
担当者：洲鎌佐智子、林 智子
入場者数：18,491人(1日平均 841人)

【概 要】

日本文化に脈々と流れる「琳派」の精神が、今なお息づく京都。2015年、琳派400年を記念し京都日本画家協会と京都工芸美術作家協会の作家のうち約207名が「琳派」をキーワードに制作した新作を紹介した。巨匠から若手作家まで多彩な顔ぶれとなるこの展覧会は、京都の芸術家が創り出す美の競演を楽しむとともに、それぞれの作家の「琳派観」に思いを馳せていただける展覧会であり、琳派関連展としては他館に先がけての開催。

【出品作品数】日本画 100点 工芸 107点

【関連行事】

〔1〕出品作家によるギャラリートーク

日時：4月25日(土) 上村淳、北村恵美子、内藤英治、村山 明／4月26日(日) 青木秀明、岡田俊一、片山雅美、望月玉船／5月2日(土) 大野俊明、中尾英武、堀江春美、伊佐新雄、徳力竜生／5月3日(祝・日) 鍵谷節子、山口守、吉水絹代、村田好謙／5月9日(土) 大沼憲昭、奥村美佳、長谷川雅也、今井真正、向井弘子／5月10日(日) 河原源三、村岡幸信、伯耆正一、面屋庄甫
各日とも午後2時から2時40分頃
場所：4階、3階展示室
参加者数：それぞれ、205名、63名、95名、75名、96名、118名



「京に生きる 琳派の美」ちらし

〔2〕ワークショップ

① 日本画 たらし込みで琳派に挑戦！

日時：4月29日(水・祝) 午後1時～4時
場所：3階やすらぎコーナー
講師：上村淳、土手朋英、中出信昭、藤原敏行、渡辺章雄(日本画家協会)

参加者数：20名(定員20名：対象中学生～)

② 染めの布にわたしの琳派を表現しよう！

日時：5月5日(火・祝) 午後1時～4時
場所：当館3階やすらぎコーナー
講師：井隼慶人、内藤英治、兼先恵子

参加者数：22名(定員20名：対象小学4年～高校生)

② 徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展

会 期：2015年6月2日(火)～7月26日(日)

[48日/55日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1,400円(1,200円)／大高生1,000円(800円)／中小生600円(400円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、朝日放送、テレビ朝日、BS朝日、博報堂DYメディアパートナーズ

特別協力：公益財団法人徳川記念財団、大阪城天守閣、朝日新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、関ヶ原町、歴史街道推進協議会、メ〜テレ

協 賛：日清フーズ株式会社、株式会社ブシロード、株式会社三井住友銀行

協 力：株式会社コーエーテクモゲームス

担当者：橋本 章、長村祥知

入場者：72,237人(1日平均 1,504.9人)

【概 要】

慶長5年(1600)の天下分け目の関ヶ原合戦を制したのは、東軍を率いた徳川家康であった。2015年は、元和2年(1615)に亡くなった家康の没後400年目にあたり、この節目の年に、誰もが知っている関ヶ原合戦の全貌を明らかにする展覧会を開催した。関ヶ原合戦はどのようにして起こり、そして後の世にどのような影響を及ぼしたのか。本展覧会では、「すべての戦いには、人の思いがあった」をキャッチフレーズとして、合戦に関わった武将達の武具甲冑や当時の緊迫した空気を伝える数々の文書、そして絵画資料などから関ヶ原合戦の全体像に迫った。

【展覧会の構成と主な出品作品】

プロローグ 描かれた戦場

「関ヶ原合戦図屏風」江戸時代 鳥取・渡辺美術館蔵

「関ヶ原合戦図絵巻」江戸時代後期 東京国立博物館蔵

第1章 秀吉の死～再乱の予感～

朱塗黒糸威二枚胴具足兜 小具足付 安土桃山時代

山形・致道博物館蔵(山形県指定)／短刀 銘 吉光 名物 毛利藤四郎 鎌倉時代 東京国立博物館蔵

第2章 合戦前夜

徳川家康書状 慶長4年(1599)10月22日 山形・

米沢市上杉博物館蔵(国宝)／石田三成書状 慶長5



「大関ヶ原展」ちらし

年(1600)7月晦日 長野・真田宝物館蔵(長野県指定)／薙刀直し刀 骨喰藤四郎 鎌倉時代 京都・豊国神社蔵(重要文化財)

第3章 決戦! 関ヶ原

藤堂高虎像 寛文11年(1671) 三重・西蓮寺蔵 (重要文化財)／太刀 銘 国俊 名物 鳥養国俊 13世紀

愛知・徳川美術館蔵(重要美術品)／小早川秀秋像

江戸時代前期 京都 高台寺(重要文化財)／萌葱地葵

紋付小紋染羽織 安土桃山時代 東京都江戸東京博物館蔵(重要文化財)

第4章 戦後の世界、天下人への道のり

佐和山古図 文政11年(1828) 滋賀・彦根城博物館蔵(重要文化財)／徳川家康書状 慶長5年(1600)9

月23日 東京・永青文庫蔵(重要文化財)／豊国大明

神臨時御祭礼記録(残欠本) 桃山時代 京都・豊国

神社蔵(京都市指定)

第5章 徳川家康の素顔

唐物肩衝茶入 銘 初花 大名物 南宋～元時代 東京

・徳川記念財団蔵(重要文化財)／葵紋蒔絵刀架 安

土桃山時代 静岡・久能山東照宮蔵(重要文化財)

エピソード 家康の神格化

木造徳川家康坐像 江戸時代前期 京都・知恩院蔵
(重要文化財)

【出品作品数】186点

【関連行事】

〔1〕記念講演会「石田三成の世評と語られる
関ヶ原の戦い」

日時：7月4日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：橋本 章(当館学芸員)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：150名

〔2〕甲冑着用体験イベント

日時：6月14日(日)、6月28日(日)、7月12日(日)

各日とも午前10時～午後4時

場所：当館6階ミュージアムギャラリー

甲冑提供等：高津商会

参加者数：189名

〔3〕ゆるキャラ

「いしだみつにゃん、しまさこにゃん」来館

日時：7月11日(土) 午前10時30分、11時30分、
午後1時、3時(各20分)

場所：当館1階エントランス



「大関ヶ原展」講演会

〔4〕担当学芸員によるギャラリートーク

日時：6月5日(金)、7月3日(金)、7月10日(金)
午後6時～(30分程度)

場所：3階・4階展示室内

担当：橋本 章

参加者数：それぞれ 60名、70名、66名

III-2 特別展示 ▶ 1) 共催展等

③ レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

会 期：2015年8月22日(土)～11月23日(月・祝)
[68日/81日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1,300円(1,000円)／大高生800円(700円)
／中小生400円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞

共 催：京都市

特別後援：イタリア共和国大統領

後 援：外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動
・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、
フィレンツェ市、京都府教育委員会、京都市
教育委員会、京都商工会議所、(公社)京都府
観光連盟、(公社)京都市観光協会、歴史街道
推進協議会、KBS京都、エフエム京都

協 力：NHKエデュケイション、アリタリア-イタリ

ア航空、日本航空、アルテリア、ヤマトロジ
スティクス

企 画：東京富士美術館

担当者：森 道彦

入場者数：219,481人(1日平均 2709.6人)

【概要】

《タヴォラ・ドーリア》は、かつて16世紀フィレンツェのシニョリーア宮殿を飾っていたレオナルド・ダ・ヴィンチの伝説的な壁画《アンギアーリの戦い》の下絵、あるいは模写と考えられている作品である。レオナルドの画業と生涯を知る上で極めて重要な資料の一つだが、長らく行方不明とされてきた。本展では長く未公開であったこの「タヴォラ・ドーリア」を中心に、レオナルドの多岐にわたる活動や同時代イタリアの歴史的人物像を紹介しつつ、この失われた重要な壁画の謎に迫った。

【展覧会の構成】

- プロローグ レオナルドのフィレンツェ時代の作品
第1章 アンギアーリ前夜 ～ シニョリーア宮殿と「大評議会広間」
第2章 失われた傑作 ～ レオナルドの《アンギアーリの戦い》への手がかり
第3章 競演の舞台 ～ アンギアーリとカッシナ、ミケランジェロとの対決
第4章 視覚革命 ～ 《アンギアーリの戦い》によるバロック時代への遺産
特別コーナー 天才ダヴィンチのひみつ

【主な出品作品】

16世紀の画家《アンギアーリの戦い(タヴォラ・ドーリア)》ウフィツィ美術館/レオナルド・ダ・ヴィンチ《裸体の兵士と人物像の習作》トリノ国立図書館/アリストテレ・ダ・サンガッロ《カッシナの戦い》ホウカムホール/ピーテル・パウル・ルーベンス《軍旗争奪》ウィーン造形美術アカデミー絵画館

【出品数】42点

【関連行事】

〔1〕記念講演会

日時：8月22日(土) 午後1時～4時
場所：当館3階フィルムシアター
講師：グザヴィエ・サルモン氏(ルーブル美術館素描版画部長)マーティン・ケンプ氏(オックスフォード大学トリニティカレッジ名誉教授)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：140名

〔2〕音楽会「ルネッサンスの音楽」

日時：8月22日(土) 午後6時～7時30分
場所：当館別館ホール
演奏者：端山梨奈、Massimo Marchese、Manuel Starapoli

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：200名

〔3〕特別講演会「《タヴォラ・ドーリア》について考える」

日時：9月12日(土) 午前10時30分～正午
場所：当館3階フィルムシアター
講師：越川倫明氏(東京藝術大学教授・副学長)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：170名



「レオナルド・ダ・ヴィンチと『アンギアーリの戦い』展」ちらし

〔4〕音楽会「フェルナンダ・コスタ オペラコンサート」

日時：10月6日(火) 午後6時30分～午後8時
場所：当館別館ホール
演奏者：フェルナンダ・コスタ氏(ソプラノ)、森琢磨氏(バリトン)、北村麻也子氏(ピアノ)
参加費：2,000円
参加者数：170名

〔5〕ルネッサンス美術講演会

—高精細画面で見るウフィツィ美術館の名画—
日時：11月22日(日) 午前10時30分～正午
場所：当館3階フィルムシアター
講師：岡田温司氏 京都大学大学院人間・環境学研究科教授(西洋美術史・思想史)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：170名

④ 小川千甕展 縦横無尽に生きる～彼は、仏画師・洋画家・漫画家・日本画家だった。～

会 期：2015年12月8日(火)～2016年1月31日(日)

[54日/62日]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階展示室

入場料：一般1,000円(800円)／大高生700円(500円)
／中小生400円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都商工会議所、公益社団法人京都府観光連
盟、公益社団法人京都市観光協会、歴史街道
推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エ
フエム京都

協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャ
パン日本興亜

協 力：日本通運

担当者：植田彩芳子、森道彦

入場者数：12,354人(1日平均 294.1人)

【概 要】

小川千甕(1882-1971 本名・多三郎)とは、近代の画家。京都の書肆「柳枝軒」の家に生まれ、15歳で仏画師に師事するかたわら、浅井忠に洋画を学ぶ。同じ浅井門下の千種掃雲、芝千秋らと丙午画会に参加、新傾向の日本画を描いた。28歳で上京し、『ホトトギス』『太陽』誌等に挿絵や漫画を発表するようになる。大正2年にはヨーロッパを巡遊し、帰国後は洋画も描いたが、院展日本画部に続けて入選を果たした。昭和期には個展も多く開催し、昭和46年に90歳で没するまで、精力的な活動を続けた。本展は、個人コレクションを中心に、初期から晩年に至る千甕の代表作約130点、仏画、スケッチ、書簡などの資料類を展示、その芸術を紹介する初めての大規模回顧展であった。

【展覧会の構成】

第一章 京都での修業その壱—仏画と洋画

第二章 京都での修業その弐—日本画とデザイン

第三章 東京、そしてヨーロッパへ

第四章 縦横無尽の時代へ—日本画家・洋画家・漫画家として

第五章 昭和の「南画家」として

第六章 晩年輝く—縦横無尽・放縦遊戯の世界



「小川千甕展」ちらし

【主な出品作品】

「仏画〈孔雀明王像〉」個人蔵／「貴船風景」1907年、個人蔵／「子守」個人蔵／「西洋風俗大津絵」1914年、京都国立近代美術館蔵／「朝明の霞」1922年、個人蔵／「炬火乱舞」1930年、鞍馬寺蔵／「蜜柑山」1933年、個人蔵／「林中画人図屏風」1949年、個人蔵／「自画像」1969年、個人蔵

【出品数】139点

【関連行事】

〔1〕レクチャー「よくわかる小川千甕入門」

日時：12月12日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：植田彩芳子(当館学芸員)

参加者数：30名

〔2〕特別講演会「小川千甕の魅力」

日時：1月9日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：島田康寛氏(美術史家、前神戸市立小磯記念美術館長)

参加者数：55名

〔3〕担当学芸員によるギャラリートーク

日時：12月18日(金)、19日(土)、1月16日(土)、
22日(金)、23日(土)午後6時～(30分程度)

場所：4階展示室内

担当：植田彩芳子

参加者数：それぞれ 16名、25名、60名、25名、
62名



「小川千養展」会場風景

III-2 特別展示 ▶ 1) 共催展等

⑤ 実相院門跡展—幽境の名刹—

会 期：2016年2月20日(土)～4月17日(日)

[50/58日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階展示室

入場料：一般1,100円(900円)／大高生700円(500円)
／中小生400円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、京都市歴史資料館、
京都新聞

特別協力：実相院

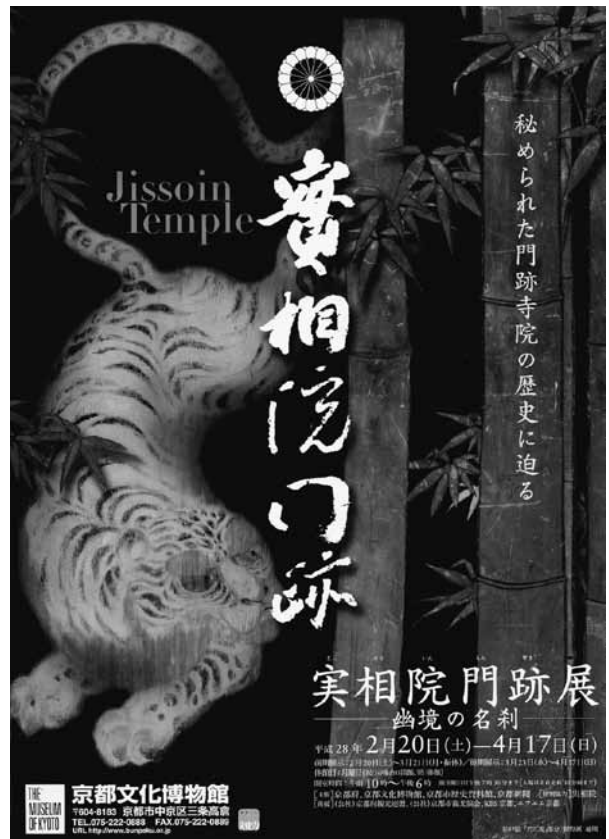
後 援：(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協
会、KBS京都、エフエム京都

担当者：長村祥知、西山 剛

入場者：18,747人(1日平均 374.9人)

【概 要】

京都洛北、岩倉の地に所在する実相院。そこは皇族や上級貴族出身の僧侶が長となる門跡寺院であった。多くの人々の信仰や尊敬を集めた実相院には、格式の高さがうかがえる数多くの資料や建造物が残されている。平成27年3月に京都市文化財に指定された「実相院文書」は、中世にさかのぼる門跡寺院の歴史を鮮やかに描き出し、文化活動が盛んであったことを物語る古典籍とあわせて、歴史資料として極めて高い価値を有する。また、近世中後期に活躍した狩野派の雄大な襖絵や杉戸絵、表情豊かに気品溢れる仏像は、四季折々に美しい姿を見せる庭園とともに、その荘厳な空間を構成している。本展覧会では、これらの資料を通して、秘められてきた門跡寺院の歴史に迫った。



「実相院門跡展」チラシ

【展覧会の構成と主な出品作品】

プロローグ 実相院門跡の草創

木造不動明王立像／実相院門跡相承次第

第一章 中世文書にみる実相院門跡

足利尊氏御判御教書(京都市指定文化財)／後光厳

天皇綸旨(京都市指定文化財)

第二章 実相院門跡の文化

後陽成天皇宸翰「仮名文字遣」(重要文化財)／三十六

歌仙画帖／大雲寺力者関係文書

第三章 障壁画の美

群鶴図襖／群仙図襖／狩野永敬画「花鳥図襖」／狩

野洞春画「南天に鶴図杉戸」

エピローグ 実相院門跡の黎明

岩倉具視一代図会(重要文化財)／実相院日記

【出品数】59件140点

【関連行事】

〔1〕連続講演会「門跡寺院・実相院を読み解く」

①「実相院の襖絵について」

日時：2月27日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：奥平俊六氏(大阪大学／日本絵画史)

参加者数：90名

②「文書のせかい―洗練された教養・風雅な生活―」

日時：3月12日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：廣田収氏(同志社大学／国文学)

参加者数：50名

③「実相院不動明王立像をめぐって」

日時：3月19日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：井上一稔氏(同志社大学／仏教美術史)

参加者数：55名

④「洛北岩倉と実相院門跡」

日時：3月26日(土) 午前10時30分～正午

場所：当館3階フィルムシアター

講師：宇野日出生氏(京都市歴史資料館／歴史学)

参加者数：65名

〔2〕担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2月26日(金)、3月11日(金)、3月25日(金)、

4月8日(金) 午後6時～(30分程度)

場所：4階展示室内

担当：長村祥知

参加者数：それぞれ 50名、45名、25名、24名

Ⅲ-2 特別展示 ▶ 1) 共催展等

⑥ 琳派400年記念 新鋭選抜展 ―琳派FOREVER―

会 期：2016年1月30日(土)～2月14日(日)

[14日／16日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：3階展示室

入場料：一般500円(400円)／大学生400円(320円)／

高校生以下無料

* ()内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都

支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、

日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、

KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京

都工芸美術作家協会、京都彫刻家協会

協 賛：パナソニック株式会社、香老舗 松栄堂

協 力：株式会社キョーリン、有限会社カノン

担当者：森 道彦、植田彩芳子、林 智子

入場者：19,939人(1日平均 1,424人)

【選考委員】

太田垣實(美術評論家)、佐藤敬二(京都精華大学教授)、



「琳派400年記念 新鋭選抜展」会場風景

高階絵里加(京都大学准教授)、平井章一(京都国立近代

美術館主任研究員)、山梨俊夫(国立国際美術館館長)

(五十音順)

【審査委員】

太田垣實(美術評論家)、佐藤敬二(京都精華大学教授)、

高階絵里加(京都大学准教授)、辻惟雄(MIHO MUSEUM館長)、平井章一(京都国立近代美術館主任研究員)、山梨俊夫(国立国際美術館館長)(五十音順)

【概要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介する展覧会であり、本年は特に2015年の「琳派400年記念祭」開催を受け、琳派の美意識をテーマとして作品制作を募集した。永年受け継がれ親しまれてきた「琳派」の芸術感覚を再認識しつつ、現代を生きる新進若手作家による再創造と新たなアートの発信を目指した。また特別出品として、京都を本拠地として活躍する芸術家、山本太郎氏による作品群《日月の庵》を公開した。

【出品作家】

荒川朋子、井浦崇+大島幸代、石井鈴、伊藤学美、今尾拓真、海野厚敬、大石早矢香、大野詩織、大前光輝、沖見かれん、笠井遥、北島文人、北村彩、佐野暁、勢藤明紗子、高木智子、高崎洋祐、瀧弘子、田中裕子、谷内春子、田村葵、堤加奈恵、天牛美矢子、唐仁原希、外山寛子、中原ちひろ、西太志、西久松友花、延山菜摘、端地美鈴、福田季生、松尾勇祐、松平莉奈、松谷歩、松本和子、皆川百合、宮崎遼、宮田彩加、宮本大地、むらたちひろ、八木佑介、山下萌、山下裕美子、山本茜、山本雄教、吉田美希子、渡邊佳織

【特別出品作家】

山本太郎《日月の庵》

1974年、熊本県生まれ。2000年、京都造形芸術大学卒業。神社仏閣とファーストフード店が至近距離で混在する京都にインスピレーションを受け、伝統と現代、異質な文化が同居する「ニッポン画」を提唱。日本の古典絵画と現代の風俗が融合した絵画を描き始める。ニッポン画は3つの柱で表される。それは「日本の今の状況を端的に表すこと」、「古典絵画の技法を使うこと」、「諧謔をもって描くこと」。その作風は現代の琳派とも評され、琳派400年記念祭の注目作家の1人。

【出品作品数】47点+特別出品1点

【関連行事】

〔1〕出品作家によるギャラリートーク

日時：1月30日(土) 正午～午後1時30分

場所：当館3階展示会場内

講師：展覧会出品作家中42名

参加者数：90名

〔2〕山本太郎氏によるアーティストトーク

日時：1月30日(土) 午後2時～午後2時30分

場所：当館別館ホール

講師：山本太郎氏

参加者数：50名



「新鋭選抜展」ちらし



「山本太郎(特別出品作家)《日月の庵》会場風景

【受賞作品】

最優秀賞 1点【賞状、副賞金50万円】

賞名	氏名	作品名
最優秀賞	中原ちひろ	飛び出して、成長のしくみ

優秀賞 1点【賞状、副賞金10万円】

賞名	氏名	作品名
優秀賞	山本 茜	風神雷神

メディア賞・国際賞 9点【賞状】

賞名	氏名	作品名
京都新聞賞	井浦 崇+大島幸代	Designing Nature:Tsuru
朝日新聞社賞	佐野 暁	名代うるし御膳
毎日新聞社賞	勢藤明紗子	コンポジション、菊蝶図にドイリー
読売新聞社賞	山下 萌	キラ琳ガーデン
産経新聞社賞	端地美鈴	cup and milk
日本経済新聞社京都支社賞	宮田彩加	混沌流水図
NHK京都放送局長賞	谷内春子	遊景
アンスティチュ・フランセ関西賞	伊藤学美	pine#15
ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川国際交流賞	沖見かれん	tower

*2015(平成27)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
京を描くー洛中洛外図の時代ー	2015.4.1(3.1)~4.12	11	13,161	1,196	共催
琳派400年記念 現代作家200人による日本画・工芸展 京に生きる琳派の美	2015.4.25~5.17	22	18,491	841	共催
徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	2015.6.2~7.26	48	72,237	1,505	共催
レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展~ 日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎~	2015.8.22~11.23	68	219,481	2,710	共催
小川千鶴(せんよう)展ー縦横無尽に生きる	2015.12.8~2016.1.31	54	12,354	294	共催
琳派400年記念 新鋭選抜展	2016.1.30~2.14	14	19,939	1,424	委託
実相院門跡展ー幽境の名刹ー	2016.2.20~3.31(4.17)	35	12,306	352	共催
計7件		253	367,969	1,454	

*2015(平成27)年度特別展関連イベント一覧

開催日時	展覧会名	関連行事	講師・所属等 その他
2015.4.25	琳派400年記念 現代作家200人による 日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美	ギャラリートーク	上村淳、北村恵美子、内藤英治、 村山明
4.26	琳派400年記念 現代作家200人による 日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美	ギャラリートーク	青木秀明、岡田俊一、片山雅美、 望月玉船
4.29	琳派400年記念 現代作家200人による 日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美	ワークショップ「日本画 たらし込みで琳派 に挑戦！」	上村淳、土手朋英、中出信昭、藤 原敏行、渡辺章雄(日本画家協会)
5.2	琳派400年記念 現代作家200人による 日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美	ギャラリートーク	大野俊明、中尾英武、堀江春美、 伊佐新雄、徳力竜生

5.3	琳派400年記念 現代作家200人による 日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美	ギャラリートーク	鍵谷節子、山口守、吉水絹代、村田好謙
5.5	琳派400年記念 現代作家200人による 日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美	ワークショップ「藍染めの布にわたしの琳派を表現しよう！」	井隼慶人、内藤英治、兼先恵子
5.9	琳派400年記念 現代作家200人による 日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美	ギャラリートーク	大沼憲昭、奥村美佳、長谷川雅也、今井真正、向井弘子
5.1	琳派400年記念 現代作家200人による 日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美	ギャラリートーク	河原源三、村岡幸信、伯耆正一、面屋庄甫
6.5	徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	ギャラリートーク	橋本章(当館学芸員)
6.14	徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	甲冑着用体験イベント	甲冑提供等：高津商会
6.28	徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	甲冑着用体験イベント	甲冑提供等：高津商会
7.3	徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	ギャラリートーク	橋本章(当館学芸員)
7.4	徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	記念講演会「石田三成の世評と語られる関ヶ原の戦い」	橋本章(当館学芸員)
7.10	徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	ギャラリートーク	橋本章(当館学芸員)
7.11	徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	ゆるキャラ「いしだみつにゃん、しまさこにゃん」来館	橋本章(当館学芸員)
7.12	徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展	甲冑着用体験イベント	甲冑提供等：高津商会
8.22	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～	記念講演会	グザヴィエ・サルモン氏(ルーヴル美術館素描版画部長)、マーティン・ケンプ氏(オックスフォード大学トリニティカレッジ名誉教授)
8.22	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～	音楽会「ルネッサンスの音楽」	端山梨奈氏(ソプラノ)、Massimo Marchese氏(リュート)、Manuel Staropoli氏(フルート)
9.12	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～	特別講演会「《タヴォラ・ドーリア》について考える」	越川倫明氏(東京藝術大学教授・副学長)
10.6	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～	「フェルナンダ・コスタ オペラコンサート」	フェルナンダ・コスタ氏(ソプラノ)、森 琢彦氏(バリトン)、北村麻也子氏(ピアノ)
11.22	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～	「ルネッサンス美術講演会 —高精細画面で見るウフィツィ美術館の名画—」	岡田温司氏 京都大学大学院人間・環境学研究科教授(西洋美術史・思想史)
12.12	小川千鶴展—縦横無尽に生きる	レクチャー「よくわかる小川千鶴入門」	植田彩芳子(当館学芸員)
12.18	小川千鶴展—縦横無尽に生きる	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
12.19	小川千鶴展—縦横無尽に生きる	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
2016. 1.9	小川千鶴展—縦横無尽に生きる	特別講演会「小川千鶴の魅力」	島田康寛氏(美術史家、前神戸市立小磯記念美術館長)
1.16	小川千鶴展—縦横無尽に生きる	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
1.22	小川千鶴展—縦横無尽に生きる	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
1.23	小川千鶴展—縦横無尽に生きる	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
1.30	琳派400年記念 新鋭選抜展—琳派FOREVER—	ギャラリートーク	
1.30	琳派400年記念 新鋭選抜展—琳派FOREVER—	山本太郎氏によるアーティストトーク	山本太郎氏(特別出品作家)
2.26	実相院門跡展 —幽境の名刹—	ギャラリートーク	長村祥知(当館学芸員)
2.27	実相院門跡展 —幽境の名刹—	連続講演会「門跡寺院・実相院を読み解く」 ①	奥平俊六氏(大阪大学／日本絵画史)
3.11	実相院門跡展 —幽境の名刹—	ギャラリートーク	長村祥知(当館学芸員)
3.12	実相院門跡展 —幽境の名刹—	連続講演会「門跡寺院・実相院を読み解く」 ②	廣田收氏(同志社大学／国文学)
3.19	実相院門跡展 —幽境の名刹—	連続講演会「門跡寺院・実相院を読み解く」 ③	井上一稔氏(同志社大学／仏教美術史)
3.25	実相院門跡展 —幽境の名刹—	ギャラリートーク	長村祥知(当館学芸員)
3.26	実相院門跡展 —幽境の名刹—	連続講演会「門跡寺院・実相院を読み解く」 ④	宇野日出生氏(京都市歴史資料館／歴史学)

2) 京都府所蔵資料巡回展への協力

本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」「こころの京都」等から構成した作品群を、貸与・展示するもので、当館は、(1)展

示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導などに協力している。

III-2 特別展示 ▶ 2) 京都府所蔵資料巡回展への協力

①「日本画 こころの京都」府内巡回展(1)

会 期：2015年8月26日(水)～9月24日(木)
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
会 場：与謝野町立江山文庫
入場料：一般200円、小・中学生100円
主 催：京都府、与謝野町、与謝野町教育委員会
担当者：植田彩芳子
出品数：13点
入場者数：488人

②「日本画 こころの京都」府内巡回展(2)

会 期：2015年11月3日(火・祝)～8日(日)
休館日：なし
会 場：長岡京市中央生涯学習センター
3階特別展示室
入場料：無料
主 催：京都府、長岡京市、長岡京市教育委員会、
長岡京ガラシャ祭実行委員会
担当者：植田彩芳子
出品数：14点
入場者数：1,015人

Ⅲ - 3 映画

1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2015.4.1~30	働くことと生きること	一人息子／土／海に生きる／西陣／どっこい生きてる／にあんちゃん／裸の島／生きる／女が階段を上る時／名もなく貧しく美しく／キューボラのある街	21	34	1,902
2015.4.5~19	パラソフィアシネマプログラム アジアを照らさないミラーボール、日本映画のアジア	アジア秘密警察(日本版)／アジア秘密警察(香港版)／ホノルル・東京・香港／ディアピョンヤン／サウダーチ／アジアはひとつ／あんによん由美香／中国の鳥人／地球で最後のふたり／極東のマンション／波とうを越える渡り鳥	13	23	1,363
2015.4.25	第9回ショートショートムービーフィルムフェスティバル	ヨーロッパ企画のメンバー監督作および一般応募作品の上映と、投票によるグランプリ選出	1	1	190
2015.5.1~30	生誕100年記念 映画監督市川崑の世界	炎上／鍵／ぼんち／日本橋／ころ／ビルマの壺琴／満員電車／野火／おとうと／黒い十人の女／私は二歳／東京オリンピック／太平洋ひとりぼっち／破戒	28	54	4,068
2015.5.7,9	パラソフィア 京都国際現代芸術祭シネマプログラム	The forgotten space／オー!マイキー特別編	2	2	248
2015.6.2~30	大関ヶ原展記念 戦国の世を生き抜く	出世太閤記／独眼竜正宗／雨月物語／七人の侍／蜘蛛巣城／大魔神／宮本武蔵／宮本武蔵 般若坂の決斗／宮本武蔵 二刀流開眼／宮本武蔵 一乗寺の決斗／宮本武蔵 巖流島の決斗／千利休 本覺坊遺文／隠し砦の三悪人／反逆児／忍びの者	25	50	4,051
2015.7.1~12	EUフィルムデーズ2015in京都	イーダ／マコンド／ロックス・イン・マイ・ポケット／ハンガリー大使人質事件／ちいさなバイオリニスト／蝶のシンメトリー／海へ行こう！／西という希望の地／サンタ／ある海辺の詩人／候補者／スザンヌ／連れ去られた子供たち／スガラムルディの魔女／我が内なる敵／ブルーベリーの味／コールガール／タンジェリン／裁判の行方	11	22	2,154
2015.7.16,17,23,24	祇園祭記念特別上映	祇園祭	4	8	634
2015.7.14~8.2	時代劇専門チャンネルが描く京都映画の歴史 『天才脚本家 梶原金八』と『チャンバラが消えた日』	右門一番手柄 南蛮幽霊／磯の源太 抱寝の長脇差(断片)／怪盗白頭巾(断片)／大菩薩峠(断片)／戦国群盗伝／人情紙風船／天才脚本家 梶原金八／その前夜／或る夜の殿様／王将／手をつなぐ子等	14	32	2,511
2015.8.6~9	第21回京都国際子ども映画祭	リッキー／短編プログラム／コンテスト／えんどう豆号のローラ／瀬戸内海賊物語	4	12	731
2015.8.4~9.3	戦後70年記念企画 戦争と映画－戦意高揚映画から反戦映画まで	日本のいちばん長い日／原爆の子／煙突屋ペロー／上海／戦ふ兵隊／土と兵隊／ハワイ・マレー沖海戦／加藤隼戦闘隊／きけわだつみの声／ひめゆりの塔／私は貝になりたい／肉弾／真空地帯	23	45	4,529
2015.9.4~6	日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール 依田義賢 人とシナリオ	浪華悲歌／祇園の姉妹／西鶴一代女／雨月物語／山椒大夫／近松物語／悪名／千利休 本覺坊遺文	3	9	649
2015.9.8~10.18	脚本家・依田義賢の世界	ある映画監督の生涯／浪華悲歌／祇園の姉妹／僕らの弟／残菊物語／元禄忠臣蔵(前篇)／元禄忠臣蔵(後篇)／歌麿をめぐる五人の女／夜の女たち／雨月物語／山椒大夫／近松物語／わたしの名は情婦／おぼろ駕籠／西鶴一代女／新平家物語／暴れん坊街道／異母兄弟／妖刀物語 花の吉原百人斬り／悪名／恋や恋なすな恋／武士道残酷物語	36	71	4,028
2015.10.20~30	時代劇映画とテレビ時代劇の良い関係	阿部一族／三匹の侍／新座頭市 破れ！唐人剣／燃えよ剣	8	16	730
2015.10.29	京まちなか映画祭協賛企画 歌えば楽しい時代劇 鴛鴦歌合戦	鴛鴦歌合戦	1	1	104
2015.10.31~11.8	第7回京都ヒストリカ国際映画祭	タイガーマウンテン／黄金杖秘聞／吸血セラピー／フェンサー／千年医師物語／森の石松／阿部一族／町奉行日記／御家人斬九郎／三匹が斬る！／必殺仕掛人／新・必殺仕置人／新座頭市 II／服部半蔵影の軍団／仮面の忍者赤影／素浪人 月影兵庫／ご存知！旗本退屈男／殿様風来坊 隠れ旅／艶姿初春 照姫七変化／大河の抱擁／NINJA THE MONSTER／ラスト・ナイツ	8	21	1,367
2015.11.10~29	食べる映画 映画での食の役割	生れてはみたけれど／隣の八重ちゃん／花籠の歌／破れ太鼓／麦秋／お茶漬の味／用心棒／砂の女／泥の河	18	35	1,982
2015.11.15	第5回日本学生映画祭 in 京都	京都国際学生映画祭、東京学生映画祭、TOHOシネマズ学生映画祭グランプリ作品の上映	1	1	35
2015.12.1~6	鷹峯フォーラム共催 京のわざ、日本のわざ フィルムで見る京の伝統工芸	截金／京時絵／京象嵌／櫛とかんざし／京くみひも／京扇子・京うちわ	6	12	213

2015.12.8～27	映画日本百景 北海道～青森篇	若い人／太陽の子／馬喰一代／白痴／女ひとり大地をゆく／蟹工船／挽歌／サムライの子／飢餓海峡	18	36	2,202
2016.1.5～31	追悼 映画女優 原節子	河内山宗俊／上海陸戦隊／ハワイ・マレー沖海戦／わが青春に悔なし／安城家の舞踏会／お嬢さん乾杯！／青い山脈／続・青い山脈／晩春／麦秋／めし／山の音	24	48	4,687
2015.2.2～28	映画のまち太秦90年 —その青春期の映画たち	坂本龍馬(断片)／御誂治郎吉格子／丹下左膳余話 百万両の壺／四十八人目の浪士／花火の街／浪華悲歌／有馬猫／花ちりぬ／鞍馬天狗 龍驤虎搏の巻／忠臣蔵(天の巻・地の巻)／江戸最後の日／無法松の一生	24	48	2,295
2015.3.1～6	胸像建立50周年記念特別上映 目玉の松ちゃん 尾上松之助の功績	弥次喜多善光寺詣り／渋川伴五郎／忠臣蔵(1910年版)／忠臣蔵(1926年版)／尾上松之助葬儀	6	12	326
2015.3.8～31	ぶんぱく青春映画祭ヨリ道ノススメ5 頼漢でいこう！ 昭和泰平の影 ハードボイルドな青春	天国と地獄／けんかえれじい／顔役／股旅／はなれ瞽女おりん／ツイゴイネルワイゼン／ヨコハマBJブルース／陽炎座／ア・ホームズ／ブラック・レイン／竜馬暗殺／竜馬を斬った男／夢二	21	42	3,322

2) 特別企画・共催事業

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

① 2015年度共催上映等の実績

◆PARASOPHIAシネマプログラム—アジアを照らさないミラーボール・日本映画のアジア

〔期間〕2015年4月5日(日)～19日(日)

〔共催〕京都現代芸術祭実行委員会

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕『ディア ピョンヤン』『サウダーヂ』『アジアはひとつ』『あんにょん由美香』等11作品の上映とアレクサンダー・ザルテン、松江哲明、梁英姫のトーク。

〔鑑賞者数〕1,363人(105人/1日)

◆第9回ショートショートムービーフィルムフェスティバル

〔期間〕2015年4月25日(土)

〔共催〕ヨーロッパ企画

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕ヨーロッパ企画のメンバー監督作および一般応募作品の上映と、投票によるグランプリ選出。

〔鑑賞者数〕190人(190人/1日)

◆PARASOPHIA参加作家映像作品セレクション

〔期間〕2015年5月7日(木)・9日(土)

〔共催〕京都現代芸術祭実行委員会

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕『The Forgotten Space』『オー！マイキー特別編』の上映。

〔鑑賞者数〕248人(124人/1日)

◆EUフィルムデーズ2015 in 京都

〔期間〕2015年7月1日(水)～12日(日)

〔共催〕欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕EU代表部が加盟各国から集めた映画作品、『イーダ』『マコンド』『タンジェリン』『裁判の行方』等18作品の上映。

〔鑑賞者数〕2,154人(196人/1日)

◆時代劇専門チャンネルが描く京都映画の歴史

〔期間〕2015年7月14日(火)～8月2日(日)

〔共催〕時代劇専門チャンネル

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕『天才脚本家 梶原金八』『チャンバラが消えた日』等11作品の上映と福本清三、宇喜田尚監督によるトーク。

〔鑑賞者数〕2,511人(179人/1日)

◆第21回京都国際子ども映画祭

〔期間〕2015年8月6日(木)～9日(日)

〔共催〕キンダーフィルムフェストきょうと

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『リッキー』『短編プログラム』『コンテスト』『えんどろ豆号のローラ』『瀬戸内海賊物語』等10作品の上映と今西祐子監督、松田まどかによるトーク。

〔鑑賞者数〕731人(183人/1日)

◆第7回京都ヒストリカ国際映画祭

[期間]2015年10月31日(土)～11月8日(日)
[主催]京都ヒストリカ国際映画祭映画祭実行委員会
(株式会社松竹撮影所、東映株式会社京都撮影所、
京都府、立命館大学、株式会社東映京都スタジオ、
当館)
[共催]KYOTO CMEX 2014
[会場]本館3階フィルムシアター
[内容]『タイガーマウンテン』『黄金杖秘聞』『フェン
サー』『大河の抱擁』『NINJA THE MONSTER』『ラスト
・ナイツ』等22作品の上映とDEAN FUJIOKA(俳優)、
紀里谷和明監督、犬童一心監督、大地丙太郎監督、
能村庸一(プロデューサー)、小嶋雄嗣(プロデュー
サー)、野崎八重子さん(記録)、品川隆二(俳優)、
森山浩一(プロデューサー)、飯星景子によるトーク。
[鑑賞者数]1,367人(171/1日)

◆第5回日本学生映画祭 in 京都

[期間]2015年11月15日(日)
[会場]本館3階フィルムシアター
[共催]大学コンソーシアム京都、京都国際学生映画祭

[内容]日本で開催される3大学生映画祭(京都国際
学生映画祭、東京学生映画祭、TOHOシネマズ学生
映画祭)のグランプリ作品等を上映。
[鑑賞者数]35人(35人/1日)

◆【鷹峯フォーラム】京のわざ、日本のわざ フィルムで 見る京の伝統工芸

[期間]2015年12月1日(火)～6日(日)
[共催]鷹峯フォーラム実行委員会
[会場]本館3階フィルムシアター
[内容]『載金』『京蒔絵』『京象嵌』『櫛とかんざし』等6
作品の上映。
[鑑賞者数]213人(36人/1日)

◆ぶんぱく青春映画祭ヨリ道ノススメ5 無頼漢でい こう！昭和泰平の影ハードボイルドな青春

[期間]2016年3月8日(火)～31日(木)
[会場]本館3階フィルムシアター
[内容]『股旅』『ヨコハマBJブルース』『陽炎座』『ア
・ホーマンス』『ブラック・レイン』等12作品の上映。[鑑
賞者数]3,322人(158人/1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け普及事業

◆第10回映画フィルム復元ワークショップ

[期間]2015年8月22日(土)～23日(日)
[共催]NPO映画保存協会、神戸映画資料館、大阪芸
術大学、プラネット映画資料図書館、IMAGICA ウ
ェスト
[協力]東京国立近代美術館フィルムセンター、コダ
ック株式会社、(株)IMAGICA、富士フィルム
株式会社、報映産業株式会社
[会場]京都国立近代美術館
[内容]映画フィルムの復元についての講座と実習を
行う。太田米男(大阪芸術大学教授)、とちぎあきら
(東京国立近代美術館フィルムセンター)、三浦和己
(東京国立近代美術館フィルムセンター)、田中範子
(神戸映画資料館)、羽鳥隆英(神戸映画保存ネット
ワーク)、柴田幹太(IMAGICAウェスト)、森脇清隆(当
館学芸員)による講演。
[参加者数]259人(130人/1日)

◆日本映像学会関西支部第37回夏期映画ゼミナール

[期間]2015年9月4日(金)～6日(日)
[共催]日本映像学会関西支部

[会場]本館3階フィルムシアター
[内容]『浪華悲歌』『祇園の姉妹』『西鶴一代女』『雨月
物語』『山椒大夫』等8作品の上映と依田義右(大阪芸
術大学名誉教授)、大津一郎(脚本家)、西岡琢也(脚
本家)、原一男(映画監督)、遠藤賢治(大阪芸術大学
教授)によるシンポジウム。
[参加者数]649人(216人/1日)

◆第8回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2015)

[期間]2015年10月25日(日)～27日(火)
[共催]京都フィルムメーカーズラボ実行委員会[京
都府、東映京都撮影所、松竹京都撮影所]
[特別協力]映像産業推進機構京都事務所、株式会社
ディレクターズ・ユニブ
[会場]東映京都撮影所、松竹撮影所、当館
[内容]世界各国から若手映画作家を招き、東映、松
竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する
合宿形式のワークショップ(公用語：英語)。web公
募の結果、50カ国、140名の応募。審査の結果、外
国人12名、日本人8名の若手作家20名が審査を通

過(アメリカ、イギリス、ガボン、タイ、チリ、デンマーク、ノルウェー、フィリピン、フランス、マレーシア、日本)。撮影所見学、殺陣講座を開催。
〔参加者数〕19名

◆京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

〔期間〕2015年10月28日(水)～30日(金)
〔共催〕京都フィルムメーカーズラボ実行委員会、東京国際映画祭実行委員会
〔会場〕本館3階フィルムシアター、大江能楽堂、旧武徳殿、NHK京都放送局
〔内容〕京都フィルムメーカーズラボ参加者、原田眞

人監督、デービッド・マクドナルド(Google社YouTube Spacesアジア太平洋統括部長)、アンソニー・ナイト(YouTuber)、岸野雄一(映画音楽)、井上ジェット(CGCGスタジオ)、辻本貴則監督、田中まこ(神戸フィルムオフィス代表)、ジェイコブ・ウォン氏(香港国際映画祭キュレーター)、オリビエ・ペール氏(アルテ・フランス・シネマCEO)、大森立嗣監督、ジーン・ホアン監督、マーク・ペランソン(ロカルノ映画祭プログラマー)、大寺眞輔(Indy Tokyo主宰)によるトーク。
〔参加者数〕542人(181人/1日)

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

③ 子ども向け普及事業

◆手作りアニメ製作ワークショップ

〔期間〕2016年3月27日(日)～28日(月)
〔主催〕キンダーフィルムフェストきょうと
〔会場〕別館2階講義室

〔内容〕手作りアニメ製作ワークショップ。切り絵アニメ、クレイアニメ等、手作りのコマ撮りアニメを体験するワークショップ。
〔参加者数〕37名

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

④ 大学生向け普及事業

◆インターンシップの受け入れ

平成27年度 前期 立命館大学(映像学部1名)

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等各50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2015年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2015.4.1～30	働くことと生きること
2015.5.1～31	生誕100年記念 映画監督市川崑の世界
2015.6.2～30	大関ヶ原展記念 戦国の世を生き抜く
2015.7.1～12	EUフィルムデーズ2015 in 京都
2015.7.14～8.2	・祇園祭記念特別上映 ・時代劇専門チャンネルが描く京都映画の歴史 『天才脚本家 梶原金八』と『チャンバラが消えた日』
2015.8.4～9.3	戦後70年記念企画 戦争と映画―戦意高揚映画から反戦映画まで
2015.9.4～10.18	・日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール 依田義賢 人とシナリオ ・脚本家 依田義賢の世界
2015.10.20～11.8	・時代劇映画とテレビ時代劇の良い関係 ・京まちなか映画祭協賛企画 歌えば楽しい時代劇 鴛鴦歌合戦 ・第7回京都ヒストリカ国際映画祭
2015.11.10～29	食べる映画 映画での食の役割
2015.12.1～27	映画日本百景 北海道～青森篇
2016.1.5～31	追悼 映画女優 原節子
2016.2.2～28	映画のまち太秦90年 その青春期の映画たち
2016.3.1～6	胸像建立50周年記念特別上映 目玉の松ちゃん 尾上松之助の功績
2016.3.8～31	ぶんばく青春映画祭 ヨリ道ノススメ5

Ⅲ - 4 その他

【総合展の小中高校生の入場料の無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の常設展入場料の無料化を始めた。2015年度は4,171名の子供が入場した。

【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、各特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。2015年度の夜間開館入場者は2,597名であった。

【クールスポット(総合展示室無料開放)の実施】

東日本大震災の影響により、夏の電力需給の逼迫が見込まれたため、京都府では府立の4つの文化施設(当館、堂本印象美術館、山城郷土資料館、丹後郷土資料館)を無料開放する取り組みを行った。当館では、7月8日から8月30日まで、2階総合展示室および3階フィルムシアターの総合展示を無料開放し、21,347名が利用した。

Ⅳ 調査研究活動

Ⅳ-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・幕末～明治期京都の文化サークル(1)
—三国幽眠を中心に
- 植田彩芳子・近代京都における絵画に関する総合的研究
- 西山 剛 ・中近世における町有文書と地域史
- 村野正景 ・当館所蔵考古資料の再整理 2
- 橋本 章 ・京の伝承文化に関する研究②

- 森 道彦 ・中世扇面画に関する調査研究
- 長村祥知 ・前近代文献史料の調査・研究 3

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 森脇清隆 ・「撮影監督宮川一夫アーカイヴ・プロジェクト」(日本学術振興会科学研究費 基盤研究C25370193)
研究協力者

2) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・第15回福知山市佐藤太清賞公募美術展審査員
- 森脇清隆 ・文化庁メディア芸術連携促進事業企画案選定委員／・文化庁日本映画情報システムの情報収集等業務に関する企画案選定委員／・文化庁若手アニメーター等人材育成事業企画案選定委員／・京都国際現代芸術祭プロフェッショナル・アドバイザーボード／・京都国際学生映画祭企画検討委員
- 洲鎌佐智子 ・京都国立近代美術館平成27年度第1回、第4回美術作品購入等評価員・京都国立博物館買取評価員／・京都国立博物館寄贈評価員／・滋賀県立陶芸

- の森陶芸作品等収集委員／・第27回創工会審査員／・第48回青窯会作陶審査員
- 西山 剛 ・世界人権問題研究センター 嘱託研究員／・東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター共同研究員
- 橋本 章 ・京都民俗学会理事
- 長村祥知 ・東京大学史料編纂所特定共同研究「9・10世紀古文書に関する史料学情報の総合化研究」／・伊賀市文化財保護審議会委員
- 大矢敦子 ・立命館大学衣笠総合研究機構客員協力研究員

3) 業績

Ⅳ-1 学芸員の活動 ▶ 3) 業績

① 論文・著作

- 畑 智子 ・「三国幽眠の書について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第28集所収／2016年3月)
- 森脇清隆 ・「映画館の効能書き」(『京都新聞』コラム「現代のことば」／京都新聞社、2015年4月23日夕刊)
・「日本のハリウッド再び」(『京都新聞』コラム「現代のことば」／京都新聞社、2015年6月8日夕刊)
- 林 智子 ・「資料紹介 京都府コレクション中の公家の服飾資料」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第28集所収／2016年3月)
- 西山 剛 ・「中世前期における禁裏駕輿丁の存在形態

- (『藝能史研究』209号／2015年4月)
・「室町期における北野祭礼の実態と意義」(『変貌する北野天満宮』平凡社／2015年8月)
・「大雲寺力者と天皇葬送」(『京都 実相院門跡』思文閣出版／2016年2月)
・「『禁中年中行事』の紹介と翻刻」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第28集所収／2016年3月)
- 植田彩芳子・「ICOMレポート CAMOC2015モスクワ大会参加報告」(『博物館研究』第51巻第1号所収／2015年12月)

・「翻刻 小川千襲『滞欧日記(上)』(1)」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第28集所収/2016年3月)

村野正景 ・「文化遺産の継承そして創造へー参加型考古学を試みる」(『過去を伝える、今を遺す：歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか』/山川出版社/2015年11月)

・「学校所蔵資料の調査と活用についてー京都文化博物館の取り組みー」(『Link：地域・大学・文化：神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報』Vol. 7 所収/2015年12月)

・「学校所蔵資料の継承と活用への取り組み：京都における調査を題材として」(『遺跡学研究』第12号所収/2015年11月)

・「『アートと考古学』ってなに？」(『考古学研究』第62巻第2号所収/2015年9月/共著)

・「京都府立鴨沂高等学校所蔵の考古・人類学模型標本についてー人種模型標本に関する学史的考察ー」(『朱雀』第28集所収/2016年3月/共著)

橋本章 ・「戦国武将の民俗誌～豊臣秀吉の事績と伝承を題材に～」(『京都民俗』第33号/2015年11月)

森 道彦 ・『公益財団法人 渡辺美術館所蔵品調査報告書(第二回)狩野派絵画』(※奥平俊六、門脇むつみとの共編/2016年3月)

・「松永久秀と奈良図扇面」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第28集所収/2016年3月)

長村祥知 ・「聖護院門跡の古文書」(『本山修験』201/2015年10月)

・『中世公武関係と承久の乱』吉川弘文館/2015年12月

・「博物館における古文書・古記録の展示と教育」(『人間教育学研究』3/2015年12月)

・「中世の実相院と大雲寺」(京都文化博物館・京都市歴史資料館企画、宇野日出生編『京都 実相院門跡』/思文閣出版/2016年2月)

・「翻刻『宣記』」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第28集所収/2016年3月)

・「研究展望『承久記』」(『軍記と語り物』52/2016年3月)

・「書評 高橋秀樹『三浦一族の中世』」(『三浦一族研究』20/2016年3月)

② 発表・講演

畑 智子 ・「明治期における万国博覧会の美術展示について」(「中澤岩太博士の美術工芸物語」展、シンポジウム「京都の近代陶芸と万国博覧会」における講演/於：京都工芸繊維大学/2016年1月30日)

森脇清隆 ・立命館大学情報人文学の最前線「フィルムアーカイブの最前線」(講師/於：立命館大学アートリサーチセンター/2015年12月16日)

・第10回映画フィルム復元ワークショップ「京都文化博物館のアーカイブの取組み」(講師/於：京都国立博物館/2015年8月22日)

・南山アーカイブズ講演会「京都の映画文化をアーカイブする」(講師/於：南山大学/2016年1月14日)

・ITコンソーシアム京都 クロスメディア部会「コンテンツ・テクノロジーとクロスメディアを活用した“時代劇”イノベーション」(コーディネイター/於：MTRL KYOTO/2016年3月24日)

洲鎌佐智子 ・「琳派400年記念 創立70周年記念 京都工芸美術作家協会～KOGEI～美の創造展」(トークイベント/於：京都文化博物館/2016年3月6日)

植田彩芳子 ・「京都の画家を語る『よくわかる幸野楳嶺入門』」(「日本画開拓の時代ー明治を生きた京の画家ー」展関連講演会/於：京都市学校歴史博物館/2015年6

月7日)

・"Creating a 'local' ecomuseum in the city of Kyoto, Japan," (CAMOC/ICOM 10th Anniversary Annual Meeting/Moscow/2015年9月3日)

・「よくわかる「細川護立と日本近代絵画」入門」(ぶんぱく京都講座/於：京都文化博物館/2015年7月25日)

・「レクチャー「よくわかる小川千襲入門」」(小川千襲展関連イベント/於：京都文化博物館/2015年12月12日)

西山 剛 ・「洛中洛外図にみる職能民の躍動 箒と籠をめぐって」(2015年度部落史連続講座/於：京都部落問題研究資料センター/2015年6月12日)

・「近世天皇葬儀儀礼と大雲寺力者」(世界人権問題研究センター研究会/於：世界人権問題研究センター/2015年10月21日)

・「近世洛中洛外図屏風の都市観と受容」(第4回三都研究会/於：東京大学出版界/2016年3月19日)

村野正景 ・「Rediscovering roles of "School Museum"」(15th Annual Conference of University Museum and Collections/ 於：the University of Santo Tomas, España Boulevard, Manila/2015年5月13日/共同発

表)

- ・「An Introduction to Ancient Potteries in the New World and its interpretation in Contemporary Art」(Archaeology and Art: Tsuchigama Project A one-day symposium on the ancient art of the Japanese dirt kiln / 於: The ART GALLERIES at TCU. Fort Worth, TX, USA / 2015年8月8日)
- ・「青年海外協力隊の活動—考古遺産を教育資源、観光資源に!—」(第15回ラテンアメリカ研究所講座、国際文化史料館第2回研究講座「中米における地域開発の現状と課題」/ 於: 京都外国語大学 / 2015年10月10日)
- ・「Usos de bloqueadores y resistores para la obtención del contraste amarillo-naranja claro de la cerámica prehispanica del grupo Izalco Usulután」(VI Congreso Centroamericano de Arqueología en El Salvador / 於: Museo Nacional de Antropología Dr. David J. Guzmán / 2015年11月4日 / 共同発表)
- ・「文化遺産の継承と創造への取り組み」(尼崎市制100周年記念 歴史遺産保存活用シンポジウム / 於: 尼崎市立小田公民館 / 2016年1月24日)
- ・「博物館における外国人向けの展示・工夫について」(平成27年度 鳥取県ミュージアム・ネットワーク研修会 / 於: 米子市文化ホール / 2016年1月28日)
- ・「京都文化博物館における博学連携の取組」(平成27年度京都府立高等学校地理歴史科・公民科研究会 / 於: 京都文化博物館 / 2016年1月29日)
- ・「エルサルバドルのものづくりと考古学」(アンデス文明研究会 平成27年度冬期 定例講座 / 於: 東京外国語大学本郷サテライト / 2016年2月20日)
- ・「新大陸の土器の歴史と特徴: 過去の再発見と現代的活用のために」(Tsuchigama Project シンポジウム 備前焼 土窯プロジェクト「記憶とアート」 in アメリカ / 於: 岡山県立美術館 / 2016年3月19日)

- ・「愛のある壁づくり」(多聞会「アートと考古学」シリーズ第6回 / 於: 建仁寺両足院 / 2016年3月21日)
- 橋本章** ・「石田三成の世評と語られる関ヶ原の戦い」(徳川家康没後四百年記念大関ヶ原展 開催記念講演会 / 於: 京都文化博物館三階フィルムシアター / 2015年7月4日)
- ・「関ヶ原合戦の決着と後世への影響について」(京都アスニーゴールデンエイジアカデミー講座 / 於: 京都市生涯学習総合センター / 2015年9月18日)
- ・「関ヶ原合戦の勝者と敗者—戦国武将の経営学—」(京都銀行セミナー / 於: 京都銀行本店東館 / 2015年10月27日)
- ・「節分—春を招く行事と鬼—」(2015年度・京カレッジ講座 / 於: キャンパスプラザ京都 / 2016年1月16日)
- 長村祥知** ・「古文書にみる聖護院門跡」(龍谷大学龍谷ミュージアム特別展「聖護院門跡の名宝—修験道と華麗なる障壁画—」記念講演会 / 於: 龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール / 2015年4月18日)
- ・「木曾義仲と京都」(京都女子大学宗教・文化研究所公開講座 シリーズ・東山から発信する京都の歴史と文化⑩「王権守護と自力救済—源三位頼政と旭將軍義仲—」 / 於: 京都女子大学 / 2015年6月27日)
- ・「よみがえる都の信仰」(東山京友会 / 於: 祇園花郷 / 2015年7月22日)
- ・「京都のユネスコ記憶遺産—『御堂関白記』と東寺百合文書を中心に—」(博物館講座(京都文化博物館連携)[京都府教員研修会] / 於: 京都文化博物館 / 2015年11月12日)
- ・「洛陽三十三所観音の信仰と寺宝」(ぶんぱく京都講座 / 於: 京都文化博物館 / 2015年11月21日)

V - 1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第28集】

発行：京都文化博物館
発行日：2016年3月31日
印刷：株式会社 吉川印刷工業所
体裁：A4判、126ページ
編集担当：畑 智子、大川原絵里子
掲載記事：

〔研究ノート〕

- ・村野正景 平田 健
京都府立鴨沂高校所蔵の考古・人類学模型標本
について—人種模型標本に関する学史的考察—
- ・畑 智子 三國幽眠筆の書について

〔資料紹介〕

- ・田中真希代
京都文化博物館所蔵の華南三彩について
- ・林 智子 京都府コレクション中の公家の服飾資料
- ・植田彩芳子 増淵鏡子
翻刻 小川千襲『滞欧日記(上)』(1)
- ・橋本 章
「坑夫権利由来記」～徳川家康没後四〇〇年記念
大関ヶ原展」開催によせて～
- ・森 道彦 松永久秀と奈良図扇
- ・西山 剛 『禁中年中行事』紹介と翻刻
- ・長村祥知 翻刻『宣記』

2) 年 報

【京都文化博物館2014(平成26)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館
発行日：2015年10月31日
印刷：三星商事印刷株式会社

体裁：A4判、80ページ
編集担当：村野正景、大川原絵里子

3) 展覧会図録

【琳派400年記念 現代作家200人による日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.4cm、248ページ
編集：京都府、京都文化博物館
発行：京都文化博物館
発行日：2015年4月25日
印刷：ニューカラー写真印刷株式会社

【実相院門跡展—幽境の名刹—】

書名：『京都 実相院門跡』
体裁：タテ25.7cm×ヨコ18.2cm、144ページ
企画：京都文化博物館、京都歴史資料館
発行：株式会社 思文閣出版
発行日：2016年2月20日

【琳派400年記念 新鋭選抜展—琳派FOREVER—】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、40ページ
編集：京都府、京都文化博物館
発行：京都府、京都文化博物館
発行日：2016年1月
印刷：株式会社ライブアートブックス

V - 2 音楽会

◆いずれも、主催：京都文化博物館、会場：当館別館ホール

① 祇園祭協賛事業 祇園祭ミュージアムコンサート

【同志社女子大学音楽専攻科生による ミュージアムコンサート】

日 時：2015年7月16日 午後2時～
演奏者：同志社女子大学音楽学部生
入場者：750名

【第27回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日 時：2015年7月16日 午後6時～
演奏者：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)
入場者：450名

【祇園祭ミュージアムコンサート】

日 時：2015年7月18日、19日
演奏者：
◎7月18日 午前12時30分～午後7時30分
JEUGIA ミュージックサロン三条<ボサノバ他>
京都市立桃山中学校吹奏楽部<吹奏楽>
ラッシー<カントリーミュージック>
ピューリティーズ<アメリカンフォーク>
わらく堂<ピアノ弾き語り>
WISH<ゴスペル>

京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部<吹奏楽>
満月堂+澤田ケメコ<フォーク>
◎7月19日 午前12時30分～午後7時30分
キャッツ&ドール<ジャズ>
JEUGIA ミュージックサロン四条
プカマイカラー<ハワイアン+フラ>
The Juke Box<オールディーズ・ポップス>
Bossa nova Duo<ボサノバ>
サントロペーの仲間たち<シャンソン・カンツォーネ>
ふら〜っとオールスターズ<ジャズ>
ニューシャープハードオーケストラ
入場者：3800名

*祇園祭協賛事業として開催し、午後8時30分まで別館の開館時間を延長した。

② その他のコンサート

【COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館 (家族でお出かけ節電キャンペーン協力イベント)】

日 時：2015年8月13日～27日 うち9日間
正午～午後2時

演奏者：
13日(木) 同志社女子大学/京都市立芸術大学
14日(金) 京都市立芸術大学/京都女子大学
15日(土) 京都市立芸術大学/同志社女子大学
18日(火) 京都市立芸術大学/同志社女子大学
19日(水) 同志社女子大学/京都女子大学
20日(木) 同志社女子大学/京都市立芸術大学
25日(火) 京都市立芸術大学/同志社女子大学
26日(水) 京都市立芸術大学/京都女子大学
27日(木) 同志社女子大学/京都女子大学
入場者：3,778名

【オータムミュージアムコンサート】

日 時：2015年11月23日(月・祝)
午後1時～午後6時
演奏者：京都市立芸術大学/青木浅間(フルート)・
芦沢春奈(コントラバス)・池田堇(ピアノ)
同志社女子大学/関谷敦子(フルート)・
柿本夏奈(フルート)・木村友紀(フルート)
京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部A
京都府立向陽高等学校吹奏楽部
京都明德高等学校吹奏楽部
京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部B
入場者：3,454名

V-3 学習普及外部連携室

1) ボランティア

2016年3月31日現在(2015年度)、191名のボランティアスタッフが活動をおこなった。ボランティアは“ぶんぱくボランティア”と“アソシエイトボランティア”の2つに大きく分かれ、“ぶんぱくボランティア”は2階総合展示室の案内をおこなう“フロアスタッフ”と音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントサポート業務をおこなう“イベントサポートスタッフ”から構成されている。

フロアスタッフは日本語87名、英語33名、中・仏・西などその他の外国語10名の130名が朝10時から夜7

時30分までの間、3交代制で活動をおこなっている。イベントサポートスタッフは28名おり、イベントのサポート業務にとどまらず企画もおこなっている。アソシエイトボランティアは33名おり、博物館の広報活動への協力や臨時のサポート、館への意見等をもらうなどの活動をおこなっている。

ボランティアは、2階総合展示の開始にあわせて設定される研修会に参加し、展示内容および展示室運営を含めた総合的なレクチャーを受け研鑽に努めている。

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

学習普及連携室が軸となり、学芸員の企画による、あるいはボランティアスタッフが主体となって企画運営をおこなう「ぶんぱく子ども教室」の活動を行った。

学習普及連携室チーム(神山俊昭、海老名和孝、林智子、西山剛、村野正景、平野久美)

【第1回 祇園祭 お囃子体験教室】

日時：2015年7月11日(土) 午前10時～11時

担当者：ボランティア(イベントサポートスタッフ)

協力：公益財団法人 南観音山保存会

参加者数：17名

実施目的：

- ①京都の三大祭のひとつである祇園祭をより身近に感じてもらう。
- ②京都文化博物館総合展示中の祇園祭とも関連して興味をもってもらおう。

【第2回 館内ぐるぐる探検ツアー】

日時：2015年12月12日(土) 午後3時～4時半

担当者：ボランティア(イベントサポートスタッフ)

参加者数：7名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう。
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。

【第3回 探検ノートを作って町を歩こう！】

日時：2016年1月30日(土) 午後1時～3時40分

担当者：ボランティア(イベントサポートスタッフ)

参加者数：4名

実施目的：

- ①参加者のお気に入りの紙や布を持ってきてもらい、探検ノートを作った。
- ②洛中洛外図屏風や古い写真をみて三条通界隈を探検した。

【第4回 自分だけのヒナ人形作り】

日時：2016年2月28日(日) 午後1時30分～3時30分

担当者：ボランティア(イベントサポートスタッフ)

参加者数：12名

実施目的：

- ①京都文化博物館総合展『雛人形名品展』で雛人形について知る。
- ②参加者のお気に入りの紙や布を持ってきてもらい、紙コップで作った雛人形に着せ付け、写真を撮影した。



「ぶんぱく子ども教室」の様子

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2015年度の来館件数は113件であった。このうち解説を行ったのは、37件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われること

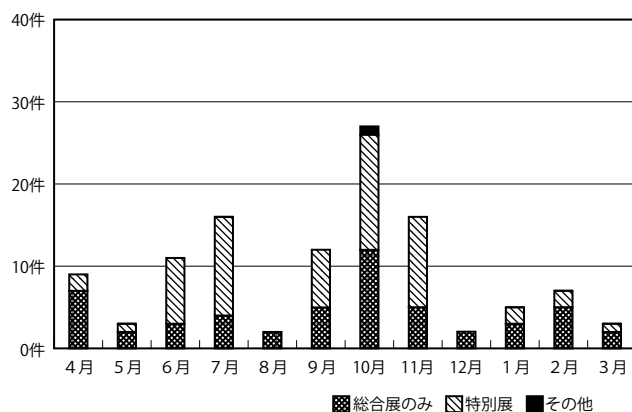
が主体で、全体の半数をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では大学が一番多く、中学校、高校がつづく。

本年度は、6～7月、9～11月の団体申し込みが多く、一方で、8、12月は総合展示目的の申し込みが全体を占めている。

【2015年度団体見学案内件数】

2015年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	216	105	360	496	45	354	1351	565	45	165	152	69	3923
来館件数	9	3	11	16	2	12	27	16	2	5	7	3	113
解説件数	3	1	5	7	0	2	6	5	0	2	5	1	37

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	6
中学校	7
高校	7
専門学校	0
大学	25
支援学校	2
一般	66
合計	113

4) 生き方探求チャレンジ体験

京都市内中学校の職業体験学習。平成27年度は以下の学校の生徒を受入れた。

- ・京都市立京都御池中学校 2015年5月18(月)～5月22日(金)5日間 3名
- ・京都市立西ノ京中学校 2015年5月18(月)～5月21日(木)4日間 1名
- ・東山泉中学校 2015年11月10日(火)～11月13日(金)4日間 1名
- ・洛風中学校 2016年1月20日(水)～1月22日(金)・26(火)4日間 2名

V - 4 博物館実習

【実施期間】

2015年8月3日(月)～8月7日(金)

【実習生】

京都府立大学……………2名
立命館大学……………3名
京都造形芸術大学……………2名
京都外国語大学……………2名
華頂短期大学……………1名
京都学園大学……………1名
京都教育大学……………1名
京都精華大学……………1名
京都大学……………1名
京都ノートルダム女子大学……1名
高知大学……………1名
実践女子大学……………1名
佛教大学……………1名 (計18名)

【実習内容／担当者】

- ・博物館の概要・館内見学／畑 智子、林 智子
- ・映像資料について／森脇清隆、大矢敦子
- ・染織資料について／林 智子
- ・美術資料について／植田彩芳子、森 道彦
- ・工芸資料について／洲鎌佐智子
- ・文献資料について／西山 剛、長村祥知
- ・考古資料について／村野正景
- ・民俗資料について／橋本 章
- ・楽器資料について／植山 茂
- ・学習普及活動について／村野正景、西山 剛、林 智子
- ・懇談、質疑応答／全担当学芸員

V - 5 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約79,630冊、逐次刊行物約3,160タイトル(76,740冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約33,910冊、展覧会図録が約13,850冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの

図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約3,020件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約680冊、展覧会図録が約380冊、年報・紀要類が約500冊であった。

2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

webサイトは、平成27年度4月にHPリニューアルし、アクセス数も増加した。広報ツールとしてwebサイトの充実を更に図り、SNSを利用し、若い層を取り込んでいけるよう、常に情報発信するホームページ運営をしていきたい。

【ホームページの利用状況】

2015年度	総 数	一日平均
アクセス数	443,263	1,214
ページビュー	607,818	1,665

※2015年よりコンピューターシステムの変更のため、WEB実績報告をグーグルアナリティクスを利用したため2014年度までの総数報告と大幅な差がでた。2015年度より新規の数字とする。

V-6 外部連携活動

1) 他館との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑におこなう目的で、京都市内4館連携協力協議会(「京都ミュージアムズ・フォー」)が2009年6月12日に発足した。2015年度は、各館で琳派400年関連展覧会を開催するとともに、「琳派400年」をテーマに4館連携フォーラムを開催した(開催日:10月17日、会場:

京都国立博物館、参加者:120名)。そのほか、4館合同で各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットの作成と、リーフレット利用したスタンプラリー(参加[応募]者:203名)、各館友の会会員の相互割引を実施した(4館合計:2,377名)。また、今年度も、2014年度に開始した4館相互割引制度(11月1日から30日まで)を実施した(4館合計:122名)。

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、2015年11月14日、15日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で1,737名の方々にお越しいただいた。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2015」への参加】

今年度は、関西の2府3県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀)と、隣接地区(岐阜、愛知、三重、福井、岡山、

徳島)の美術館・博物館で構成する合計67施設が参加した。主催は67施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2015」実行委員会である。パスを購入すると、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館は、総合展示が無料、特別展示が団体料金となる特典を設定し、2015年度の当館での利用者数は、総合展示452名、特別展示655名であった。

2) 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校「京都文化コース」、京都府立鳥羽高等学校「スーパーグローバルハイスクール「イノベーション探求I」～地域再発見プログラム～」と連携授業を実施した。

3) 地域との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 3) 地域との連携

① 京都文化博物館地域共働事業 京都文化博物館を核とした地域活性化事業

博物館、学校、地域社会の連携を向上するための事業を実施した。地域との定例会を月一度、フォーラムを6回、ワークショップを1回、シンポジウムを1回開催し、記録集を刊行した。本事業は、平成27年度文

化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業の支援をうけた。

【博学社連携フォーラム】

「博学社連携フォーラム」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館別館2階講義室にて、以下のように開催した。いずれも発表約1時間で、意見交換は1時間を越える充実した会となった。

◆ 第1回

題目：「地域の文化資源の把握」

講師：村上佳代氏(北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 特任助教)

日時：2015年6月25日(木) 午後6時から

参加者数：11名

◆ 第2回

題目：「『博物館デビュー支援事業』の挑戦 ―学校・地域を支える仕組みづくり―」

講師：羽毛田智幸氏(横浜市歴史博物館 学芸員)

日時：2015年7月28日(火) 午後6時から

参加者数：14名

◆ 第3回

題目：「『地域歴史遺産』の保全と活用を図る『地域連携活動』―成果と課題―」

講師：市沢 哲氏(神戸大学大学院 地域連携センター 教授)

日時：2015年9月13日(日) 午後2時から

参加者数：13名

◆ 第4回

題目：「地域の文化資源の把握 ―大津市歴史博物館の事例―」

講師：高橋大樹氏(大津市歴史博物館 学芸員)

日時：2016年3月15日(火) 午後6時から

参加者数：11名

◆ 番外編1

題目：「地域文化と祇園祭・お囃子体験」

講師：石原謙太郎氏(南観音山保存会)

日時：2015年7月11日(土) 午前10時から

参加者数：40名

◆ 番外編2 題目：「現代思想からみるアートとアーケオロジー」

講師：佐藤啓介氏(南山大学人文学部 准教授)

日時：2016年2月23日(火) 午後6時から

参加者数：30名

【博学社連携シンポジウム～“まち”と“ミュージアム”の文化が結ぶ幸せな私たち2】

「博学社連携シンポジウム」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館

別館ホールにて開催した。

日時：2016年1月11日(月・祝)

午前10時から午後4時30分

プログラム：

10:30 開会挨拶 井山吉良氏(姉小路界限を
考える会副会長)

10:35 趣旨説明 村野正景(当館学芸員)

10:45 活動報告「地域が活かす文化遺産」
報告1 京の三条まちづくり協議会
報告2 姉小路界限を考える会
報告3 京都文化博物館

11:45 質疑応答

12:00 休憩

13:00 基調講演

「地域資源と博物館との関係～モデルカルチャー
という概念」麻生美希氏(九州大学)

「萩まちじゅう博物館～協働で進めるまちづくり」

山本明日美氏(NPO萩まちじゅう博物館)

「地域まちづくりにおける博物館に対する期待」

杉崎和久氏(法政大学)

14:30 質疑応答

14:45 休憩

14:55 パネル・ディスカッション

パネリスト：麻生氏、山本氏、杉崎氏、植田

司会：村野

16:25 閉会挨拶 神山俊昭(当館副館長)

参加者数：104名

【ワークショップ】

「サイネンショーの食器と不要陶器の交換会」

日時：2015年10月24日(土) 午前10時～午後5時

講師・作業員：松井利夫氏、安芸早穂子氏、中村大氏、
西村雄一氏、西山、村野

内容：サイネンショーとは、陶磁器の回収と再焼成を
通して、古い陶磁器の再生と展示を継続的に行い、日
本の食文化と密接に関係する陶磁器の多彩な姿や、流
行、趣味の変遷を「再燃焼」させた器によって鑑賞しよ
うという活動である。このアート活動を、地域文化資
源調査と接続させた取り組みをおこなった。

【記録集の刊行】

京都文化博物館地域共働事業実行委員会 編

『“まち”と“ミュージアム”の文化が結ぶ幸せな私たち2
博学社連携フォーラム・博学社連携シンポジウム 報
告書』 2016年3月19日発行

② 「きものの似合うまち・京都」づくり 推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月25日まで、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特別展示入場料を団体料金に割引している。期間中の利用者は総合展示84名、特別展示69名であった。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地間屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

③ 姉小路行灯会への協力

日時：2015年8月22日(土) 午後6時頃～9時

会場：姉小路(富小路～柳馬場間)

内容：姉小路を考える会が例年開催している行事で、烏丸～富小路間の姉小路通りの両側に400基以上の行灯を並べ御池中学校の生徒によるプラスバンド行進などの各種イベントがおこなわれる。当館ではこの行灯20基を製作・設置し、同行事への協力を行っている。

V-7 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名まで)
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引

【会費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費5,000円/1名
- ・B会員 年会費4,000円

【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

会員は、昨年よりA会員15名、グループ会員19名、B会員1名、計35名の減少となっている。

また、B会員は比較的廉価なため、20～30代の新規加入を期待している。今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろん今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえるよう、友の会事業の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

●会員数の推移

(単位：名)

	2015年度	2014年度	2013年度
A会員	419	434	424
グループ会員	203	222	212
B会員	280	281	259
計	902	937	895

●新規加入者数

(単位：名)

A会員	81
グループ会員	48
B会員	150
計	279

●職業

(単位：名)

会社員	142
公務員	31
教員	25
自営業	68
自由業	16
学生	4
その他	72
無職	544

●男女構成

(単位：名)

	男性	女性
A会員	68.7%	31.3%
グループ会員	45.3%	54.7%
B会員	66.1%	33.9%
計	62.6%	37.4%

●年齢分布

(単位：名)

10代	0
20代	9
30代	33
40代	62
50代	128
60代	286
70代	262
80代	110
90代以上	11
不明	0
最高齢	93
平均	65.78歳

●住所分布

(単位：名)

京都市内	643
京都府内	71
近畿圏内	173
その他の府県	15
(近畿圏内の内訳)	
大阪府	105
兵庫県	35
滋賀県	23
奈良県	9
和歌山県	1
計	173

2) 事業概要

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

① 協力企画

【文化財研修講座「野村碧雲荘」見学会】

日時：2016年3月9日(水)～10日(木) 2日間
 各日とも、A：午前10時30分～、B：午後1時30分～、
 C：午後3時～ 各回1時間
 場所：京都市左京区南禅寺「野村碧雲荘」
 解説：野村殖産株式会社 鎌田 明氏、梅津雄司氏、
 奥野平八郎氏
 参加者数：13名



『野村碧雲荘』見学会の様子

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

② その他

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・漢字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希

望する美術・工芸作家などの作品について審議している。2015年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2015年 7月 1日	2015年12月～2016年 3月	12
10月28日	2016年 4月～2016年 7月	16
2016年 2月23日	2016年 8月～2016年11月	15

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月1週間以内と定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・

工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2015年度の利用件数は、44件であった。

【作家利用一覧】

会 期	展 覧 会 名	分 野	会 期	展 覧 会 名	分 野
2015 4. 1～ 4. 5	徳田嘉孝作品展	洋画	9. 8～ 9.13	遊々展	洋画
4. 1～ 4. 5	第28回 面風會展 能面・狂言面	諸工芸	9. 9～ 9.13	第7回 日本画 洛展	日本画
4. 8～ 4.12	第23回 光敷能面會展	諸工芸	9. 9～ 9.13	第20回 京都ファインド・アイ現代文人光画展	写真
4. 9～ 4.12	第39回 日本画春季光玄展	日本画	9.16～ 9.20	第26回 光風工芸 「明日へのかたち展」	工芸総合
4. 9～ 4.12	京都創造藝術協會展	美術総合	9.16～ 9.20	第16回dpi展	写真
4.17～ 4.19	第24回 面匡会主催京都都能面展	諸工芸	9.16～ 9.22	藤波晃作品展	洋画
4.29～ 5. 6	吉川蕉仙の書	書	9.25～ 9.27	絵更紗美術協会会員作品展	染織
5. 8～ 5.10	辛酉会書展	書	10.14～ 10.18	第35回 聚英会	書
5.12～ 5.17	「幻想の宇宙」ミル・ヨウコ展	洋画	10.16～ 10.18	第19回小椋会織物展 志村ふくみ門下生による	染織
5.13～ 5.17	蠟染の世界展とクンストレス編み二人展	染織	10.28～ 11. 1	平成27年度 京の名工展	工芸総合
5.20～ 5.24	第27回 京都書作家協会会員展	書	11.25～ 11.29	第27回 工芸美術創工会展	工芸総合
5.26～ 5.31	明日をひらく絵画 第33回 上野の森美術館大賞展 関西展	美術総合	12. 9～ 12.13	琳派400年記念 第15回京都現代写真作家展京都写真ビエンナーレ2015	写真
6.24～ 6.28	第70回 京都丹平写真展	写真	12.16～ 12.20	第24回 帆の会展	洋画
6.24～ 6.28	第19回 種々展	日本画	12.16～ 12.20	書 十二月の会	書
7. 1～ 7. 5	2015京都日本画家協会第III期展	日本画	12.16～ 12.20	包容現代水墨画作品展	日本画(墨彩画)
7.15～ 7.20	第7回 The NIHONGA—伝統と創造—	日本画	2016 1.26～ 2. 3	画集刊行記念 マシラ(日本猿)藤井勘坊展	日本画
7.15～ 7.20	紙・墨・コンテ 湯浅三郎展	諸工芸	1.28～ 1.31	第36回 京都現代書芸展	書
7.22～ 7.26	赤木睦代 mutsuyo akagi exhibition	洋画	2. 5～ 2. 7	2015年度 京都橘大学卒業制作展	書
7.22～ 7.26	芽生展	日本画	2.11～ 2.14	第10回記念 墨聚展	書
7.28～ 8. 2	四国八十八ヵ所牛子華の山水画世界in 京都2015&在日華人著名書画家招待展	日本画	3.16～ 3.20	第23回新日美 京都支部展	美術総合
8.26～ 8.30	第34回 六善会篆刻作品展	書(篆刻)	3.23～ 3.27	第59回あまがつ会人形展	諸工芸
9. 1～ 9. 6	三谷祐幸 米寿記念展 Beginning 併催 関西美術院の画家達展	洋画	3.25～ 3.27	面匡会 京都都能面展(第25回)	諸工芸
			計 44件(219日間) 51,414人		

【作家利用分野別件数・入場者数一覧】

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	9	7	9	4	0	3	3	0	6	3	0	44
割合(%)	20%	16%	20%	9%	0%	7%	7%	0%	14%	7%	0%	100%
入場者数	8,809	5,211	12,912	8,389	0	2,487	2,171	0	4,048	7,114	0	51,141
1件平均入場者数	979	744	1,435	2,097	0	829	724	0	675	2,371	0	1,162

*諸工芸には、能面・ちぎり絵を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数			
5階	2015	4.16～ 4.19	萌葱会染色作品展	染織/染色	829		
		4.16～ 4.19	第24回素敵なクラフト展、第12回素敵なニット展	諸工芸	1,843		
		5.14～ 5.17	百面創展-大塚亮治 面打教室作品展	諸工芸	701		
		5.20～ 5.24	第31回 “竹の会”木版画展	諸工芸	1,098		
		6. 4～ 6. 7	第21回 森小夜子人形教室展“物語によせて”	諸工芸	1,114		
		6.11 6.14	十人十色 百慧百煌 栄美子 戸田 ロープとニューゼファーズキルト展	諸工芸	956		
		6.16～ 6.21	Mitsuヨーロッパ刺しゅう 太田光子 刺しゅう作品展	諸工芸	1,823		
		6.18～ 6.21	第11回 佳趣会書展	書	697		
		7. 9～ 7.12	第7回京都・全日本水墨画・俳画・文人画秀作展	日本画	1,446		
		7.22～ 7.26	京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科日本画分野 3・4回生展「shu・ha・ri」	日本画	521		
		8.26～ 8.30	第3回ハクビ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	648		
		9. 9～ 9.13	上田ミチヨ ソーイング教室発表会	諸工芸	676		
		9.22～ 9.27	中藤益子 パリ帰国展(24日、休館日のため休室)	日本画	1,183		
		10. 8～ 10.11	QUILT HOUSE あんだんて 第13回パッチワーク・キルト展	諸工芸	2,714		
		10. 9～ 10.12	第32回龍雲会書展	書	889		
		10.14～ 10.18	'15 写人展	写真	714		
		10.14～ 10.18	選抜 京都墨彩画壇秋季展 「神無月の墨の彩」	日本画	1,148		
		10.15～ 10.18	2015 京都大学写真部OB会 京都展	写真	844		
		10.22～ 10.25	第52回仏教美術展	(美術)総合	4,810		
		11. 3～ 11. 8	石井麻子のニットアート展	諸工芸	1,569		
		11.12～ 11.15	第49回心象書展	書	2,253		
		11.17～ 11.23	第17回 雪染舎 フィレンツェ賞展	(美術)総合	1,366		
		11.20～ 11.23	第2回京都精華女子中学高等学校主催 精華美術展	(美術)総合	945		
		12.15～ 12.20	京都嵯峨芸術大学短期大学部 美術学科 デザイン分野 イラストレーションOGOB作品展	(美術)総合	677		
		2016	1. 8～ 1.11	1. 8～ 1.11	沙羅書芸教室 新春書藝展	書	1,510
				1.15～ 1.24	第28回京都美術文化賞 受賞記念展 <18日、休館日のため休室>	(美工)総合	2,268
2. 2～ 2. 7	秋風庵泥舟作陶展			陶芸	350		
2.18～ 2.21	京都工芸繊維大学造形工学課程 卒業制作展2016			(美術)総合	1,694		
2.26～ 2.28	第29回全国シルバー書道展(京都展)			書	1,318		
3. 1～ 3. 6	一日本の民家・祭一 内山正一のジオラマ作品展			その他	1,325		
3. 9～ 3.13	第15回福知山市佐藤太清賞公募美術展			(美術)総合	380		
3.15～ 3.21	染色45周年記念 玉村咏展			染織/染色	814		
計32件 使用日数：156日				41,123			

	会 期		展 覧 会 名		分 野	入 場 者 数	
6階	2015	4. 4	風楽和<華>Vol.4(邦楽コンサート)	地歌から現代邦楽	その他	49	
		4.11～	4.12	平良敏子と喜如嘉の芭蕉布展		染織/染色	200
			4.26	染織光悦會展		染織/染色	240
			5.20	体験学習(京舞鑑賞)		その他	67
			5.20	体験学習(京舞鑑賞)		その他	40
			5.30	体験学習(扇子絵付)		その他	80
			6. 2～	6. 3	うるわしの三都友禪	染織/染色	382
			6.14	特別展「大関ヶ原展」関連イベント	甲冑体験	その他	60
			6.19	体験学習(扇子絵付)		その他	106
			6.28	特別展「大関ヶ原展」関連イベント	甲冑体験	その他	60
			7.12	特別展「大関ヶ原展」関連イベント	甲冑体験	その他	60
			7.14～	7.18	樋口富喜子きものコレクションギネス認定記念展	染織/染色	420
			7.31～	8. 2	(公財)片山家能楽・京舞保存財団 第19回能装束・能面展	(工芸)総合	1,021
				8.22	中京マチビトCafé 学びと共鳴編	その他	110
				9.13	第三回 京都文博寄席	その他	80
			9.26～	9.27	第18回 竹心展	書	425
			10.22～	10.25	第52回仏教美術展	(美術)総合	4,810
			10.28～	10.29	第43回京都シニア大学 学園文化祭 作品展	(美術)総合	396
			10.31～	11. 1	第48回 女流京華会 いけ花展	(美術)総合	1,495
		11. 8～	11.15	絵師 井堂雅夫 琳派を画く(9日、休館日のため休室)	(美術)総合	3,390	
		11.20～	11.22	龍門社 第53回選抜書道展	書	1,101	
		11.27～	11.29	吉田手織工房京都教室 第4回絲織会作品展	染織/染色	492	
		12. 5～	12. 6	第13回いづみ会書展	書	733	
		12.14～	12.16	京都府(京都美術工芸作家協会展 作品搬入・撮影のため、展示資料一時保管)	その他	0	
		2016	1.10	知ふみ書道 新春書初展	書	449	
			1.19～	1.20	第12回 匠・双美会 「新たな美を求めて 風姿花伝ー加賀友禪ルネッサンスー」	染織/染色	200
	1.23～		1.24	平成27年度京都教育大学書道研究室作品展	書	270	
	2.18～		2.21	京都工芸繊維大学デザイン学専攻 修了制作展2016	(美術)総合	1,372	
	2.27		第16回 五色百人一首京都府大会	その他	384		
	2.28		京都文博 嘶の会vol.1 桃月庵白酒 独演会	その他	200		
	3.29～		3.31	京都府(京都美術工芸作家協会展 作品返却のため、展示資料一時保管)	その他	0	
計31件 使用日数：64日						18,692	

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 具服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総 計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金竹・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	-	4	-	5	2	1	6	18	2	1	10	-	13	1	32
	日数	-	19	-	19	9	6	30	83	11	6	47	-	64	9	156
	人数	-	4,298	-	6,667	1,558	1,325	9,872	23,720	1,643	350	13,142	-	15,135	2,268	41,123
6階	件数	-	-	-	5	-	14	5	24	6	-	-	1	7	-	31
	日数	-	-	-	10	-	17	19	46	15	-	-	3	18	-	64
	人数	-	-	-	2,978	-	1,296	11,463	15,737	1,934	-	-	1,021	2,955	-	18,692

※ 6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会、華展等。 ※「(美術)総合」に絵画、華道含む。

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

場所		和装呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	-	2	1	-	5	8
	日数	-	4	1	-	13	18
	人数	-	1,096	43	-	7,580	8,719
6階	件数	6	1	-	1	1	9
	日数	10	5	-	3	3	21
	人数	800	120	-	741	350	2,011

*美術：日本画、洋画、書、写真など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築として内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、また展示即売会等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

近年では、三条通りウッドデッキを活用したアートマルシェなどの新たな活用も増えている。

尚、2015年10月より京都府、文化庁により耐震対策工事が実施された。別館を休館とせず、貸ホール事業も行いながらの工事の実施は、来館者、別館ホール利用者に概ね好評である。

【別館利用状況一覧】

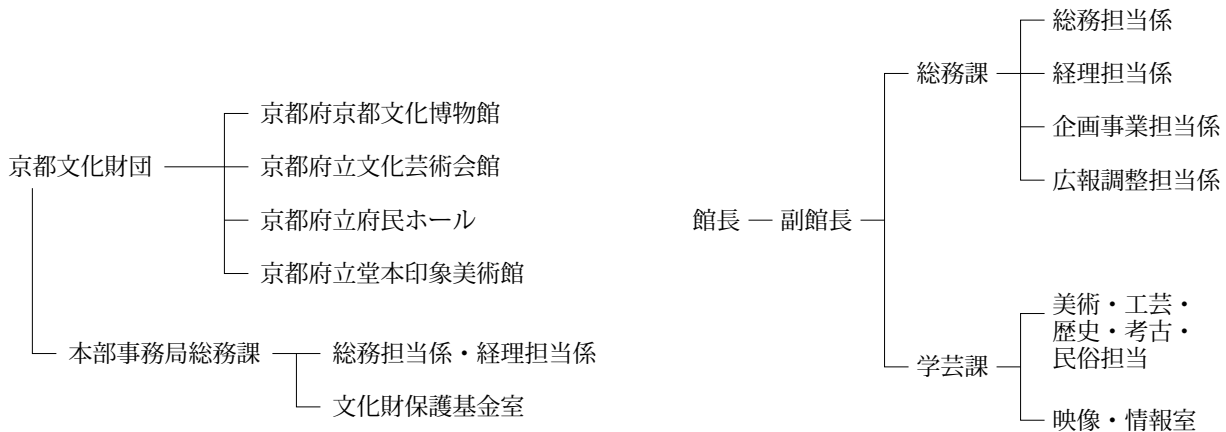
会期	展覧会・音楽会名	会期	展覧会・音楽会名
2015.		6.27	博学社連携
4. 1～ 4.30	PARASHOPHIA：京都国際現代芸術祭2015(3/7～5/10)	6.27	SACHI(花結師TAKAYA)パフォーマンス)
	4.19 丹後のええもんうまいもん展	6.28	ボヴェ太郎舞踊公演 寂寥の薫-能《楊貴妃》
4.25～ 4.26	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ	6.28	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
	4.29 〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ	7. 2	Amo Italia! イタリアの風をあなたに2015
5. 1～ 5.10	PARASHOPHIA：京都国際現代芸術祭2015(3/7～5/10)	7. 4	詩人と歌曲 その3 ルコント・ド・リール〜消え去らぬ香り〜
	5.16 京の三条 第27回まちづくりカフェ	7. 5	Freude(フロイデ)結成記念コンサート
	5.17 第66回 京都新能プレビュー講演 (1階エントランス)能楽協会	7. 9	京都フィルハーモニー室内楽コンサートシリーズvol.52「古典→現代」
	5.20 〈講義室〉日本工芸会	7.11	あんさんぶるやしよめ〜箏のしらべによせて〜
5.19～ 5.27	学生フェスティバル(リハーサル会場)	7.12	大久保香・千藤里子フルートデュオリサイタル
	5.28 通崎睦美コンサート「今、甦る!木琴デイズ」vol.3	7.16	祇園祭宵山ミュージアムコンサート
	5.30 ミュージカル「美女と野獣」	7.16～ 7.19	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
5.30～ 5.31	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ		ボヘミアン浪漫紀行 一河合珠江ピアノリサイタルース
	5.31 Kusuyo コンサート in京都〜5月の風に吹かれて〜	7.17	メタナ、ドヴォルジャーク、スーク作品による
6. 5	関西歴史博物館協議会	7.18～ 7.19	祇園祭ミュージアムコンサート
6. 5～ 6. 7	JIA京都地域会 建築展2015 京都、つくろう!	7.22～ 7.24	立命館大学 祇園祭デジタル・ミュージアム展 2015 in ARCWeek2015
	6. 6 〈講義室〉まちづくり協議会、まちづくりカフェと総会	7.23～ 7.24	〈三条ウッドデッキ〉ぶんぱくアートマルシェ
	6.11 熊谷和徳×高木正勝 Kazunori Kumagai × Masakatsu takagi	7.24	町カフェ
	6.12 小谷麻理子 バロックから近代の響き ~オーボエ、イングリッシュホルンにのせて~	7.25	京都クラウディオ・モンテヴェルディ合唱団第54回定期演奏会
	6.14 カフェ・プレタポルテ コラボラボ	7.26	WISHゴスペルコンサート“The WAY”
6.17～ 6.19	マルニ・ジャパン	7.28	博学社フォーラム
	6.19 丹後ええもんうまいもん展in京都文博	7.30～ 7.31	立命館大学映像学部 「20HIVE Film Fes'15」《映画上映とトークショー》
	6.21 京都バツハ合唱団 アカペラコンサートバツハの系譜	8. 1～ 8. 2	第21回京都国際子ども映画祭 「映画とアニメーションを学んでみよう!!」
		8. 2	文博こども夏祭り

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
8. 3～ 8. 7	〈講義室〉博物館実習	11.14～11.15	10th カランコロソ京都
8. 7	ローム ミュージックファンデーションスカラシップ vol.6 ～RMF奨学生によるコンサート～	11.16	サプライズ・プロポーズ
8. 8	ローム ミュージックファンデーションスカラシップ vol.7 ～RMF奨学生によるコンサート～	11.19～11.22	第17回佐々木真弓・アトリエエンジェルズステンドグラスランブ展
8. 9	第16回 夏のひととき～声楽、ピアノを中心としたコンサート～	11.21～11.23	<中庭>ぶんぱくアートマルシェ
8.12	伊藤ライム 希望の風 コンサート	11.23	オータムミュージアムコンサート
8.13～ 8.15	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館	11.26～11.28	第87回詠友禅染競技会作品展示会
8.16	Felix室内合奏団 第27回演奏会	11.29	Music of Heart vol.5
8.18～ 8.20	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館	11.29	〈講義室〉クリエイター海外展開支援セミナー
8.22	特別展開連イベント 音楽会【ルネッサンスの音楽】	12. 2	予防医学講演と琵琶と歌うたコンサート
8.22	アートフリーマーケット説明会	12. 4	古都に響く箏の調べ～平安の音色に誘う笛を迎えて～
8.22～ 8.23	<三条ウッドデッキ>アートマルシェ	12. 5	(中庭)日本のふるさと大丹後展～オープニングイベント丹後大物産展～
8.25	日本工芸会	12. 5	第3回朗読だいきこコンクールin京都
8.25～ 8.27	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館	12. 6	クリスマスの饗宴
8.28	ローム ミュージックファンデーションスカラシップ vol.8 ～RMF奨学生によるコンサート～	12. 8～ 12. 9	羊をめぐる音楽会～京都藝大卒ひつじ年生まれによるマリソココンサート
8.29	ローム ミュージックファンデーションスカラシップ vol.9 ～RMF奨学生によるコンサート～	12.10	Joyful Bells ハンドベルコンサート
8.29～ 8.30	<三条ウッドデッキ>アートマルシェ	12.11	Christmas Disco Night～Let's joyful tonight～
8.30	フィレンツェを夢見て ～フィレンツェのカンツォーネ～	12.12	立命館大学映画部 後期外部上映会
9. 3	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズVol.53 「秋の夜長にセレナーデ」	12.13	アンサンブル・カノ 5th
9. 6	京都オアシスゴスペルクワイア ワンマンライブ ～Why We Sing～	12.16	平沼有梨feat.古澤巖～風神雷神～
9.9～ 9.11	2015.9.musubi collection「よろこ美むす美」	12.17	プレス Christmas night 2015
9.12	Jazz at Sanjo BUNPAKU and 新風館 and more. vol.14	12.18	"Mundos Novus"「16.17世紀スペイン・南米の音楽」
9.13	光と風が出逢うとき～フルートアンサンブル"パステル"結成20周年記念～	12.19	京都アートフリーマーケット2016春抽選会
9.16	第1回 フェスタメヒカーナ京都2015 ライブ演奏/マリアッチアガバ、エルマノス ミシナ & ステラ/メルカード(市場)/メキシコ物産、食品の販売	12.19	西垣正信クリスマスコンサート2015
9.19～ 9.21	京都アートフリーマーケット2015秋	12.19	<講義室>WAC-8関連企画特別講演会
9.22～ 9.23	<三条ウッドデッキ>アートマルシェ	12.19～12.20	<中庭>ぶんぱくアートマルシェ
9.25	京美山ライヴ	12.20	2015 CHRISTMAS CONCERT
9.26	第10回 健康塾	12.22	<講義室>日本伝統工芸展近畿支部陶芸部会研究会
9.26～ 9.27	<三条ウッドデッキ>アートマルシェ	12.23	<中庭>ぶんぱくアートマルシェ
10. 2～10. 4	KPA「メイキングワークショップ2016」	12.23～12.24	THE GIFT BOX 2015 アーティストが提案する特別なギフト
10. 3～10. 4	便利堂 WORKSHOP	12.25	Haruka nakamura PIANO ENSAMBLE TOUR 2015「音楽のある風景」京都公演
10. 6	「フェルナンダ・コスタ オペラコンサート」Fernanda Costa Special Museum Opera Concert	12.26	アグネス倶楽部「真冬にお花見コンサート」
10. 8～10.12	『石川暢子の世界』帰国凱旋展 京都国際映画祭関連イベント 中島貞夫監督作品 『時代劇は死なず！～チャンバラ美学考～』展～あの名作時代劇の刀剣が今ここに～	2016.	
10.15～10.18	市役所まちづくり	1.16	JMコンサート
10.17～10.18	<三条ウッドデッキ>アートマルシェ	1.16～ 1.17	<中庭>ぶんぱくアートマルシェ
10.22	特展共催 京都芸大コンサート	1.17	「歌う会」松下悦子門下生声楽発表会
10.24	谷山浩子ソロライブツアー2015	1.23	京都府災害ボランティアセンター10周年記念事業「私と災害ボランティア」
10.25	立命館大学メンネルコールOB会チャリティーコンサート	1.24	Jewel Box vol.2
10.27	デラフォンテーヌ&シャモレル ジャパンツアー2015in京都	1.29	<講義室>研究会「京都文化博物館における博学連携の取り組み」
10.28	京都映画企画市	1.30～ 2.14	琳派400年記念 新鋭選抜展－琳派FOREVER－
10.28	展示室運営委員会	2. 1	〈講義室〉日本工芸会
10.30	JICA研修	2.14	〈講義室〉第30回京の三条まちカフェ
10.31	〈講義室〉実験ワークショップ「木を知る木を学ぶ」	2.18～ 2.21	京都工芸繊維大学大学院建築設計学専攻第11回修了制作展
10.31	<三条ウッドデッキ>ぶんぱくアートマルシェ	2.20	京都アートフリーマーケット2016春出展者説明会
10.30～ 11. 5	貴久樹 天竺展2015	2.20～ 2.21	<中庭>ぶんぱくアートマルシェ
11. 7	京都ヒストリカ国際映画祭立命館大学映像学部企業連携企画「歴史×かわいい」	2.24～ 2.25	成安造形大ファッションショー-SEIAN collection2016「Empathy」
11.11	通崎睦美コンサート「今、甦る！木琴デイズ」vol.4	2.26～ 2.27	2月23日「ふろしき つつみの日」イベント『京都を包む』
11.13	〈講義室〉日本工芸会	3. 2～ 3. 5	むす美展(2016.3 musubi collection)
		3. 3	堂本印象美術館企画・運営に係る意見聴取会議
		3. 6	第5回RADOSTIコンサート
		3.12	アンサンブル・アワーズコンサート
		3.18～ 3.21	京都アートフリーマーケット2016春
		3.25	美しき日本の歌曲・時を越えて今「枕草子」
		3.26	松尾優 ホールリサイタル「PIANO SONGS」
		3.26～ 3.27	<中庭>ぶんぱくアートマルシェ
		3.27	チターの愉しみ トミーテマーソンとともに
			入場者数 計 193,885人

VII 管理・運営

VII-1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二	京都府知事	理事	並木 誠士	京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授、 美術工芸資料館館長
	千 玄室	前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元		平林 幸子	京都中央信用金庫副理事長
理事長	荒巻 禎一	京都文化博物館館長、前京都府知事		深尾 憲一	弁護士
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長	吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長	
理事	金田 章裕	京都府特別参与、京都大学名誉教授	監事	光田 周史	公認会計士
	小林 正幸	京都銀行専務取締役		藤井 龍美	一般社団法人京都銀行協会専務理事
	高階絵里加	京都大学人文科学研究所准教授			

【京都文化財団評議員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	村井 康彦	前公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	評議員	金剛 永謹	金剛流宗家
評議員	有馬 頼底	臨済宗相国寺派管長		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	池坊 専好	華道家元池坊次期家元		鶴田 憲次	洋画家
	今井 政之	陶芸家		名和 修	公益財団法人陽明文庫理事、文庫長
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授(～2015.6.23)		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
	上村 淳之	日本画家		畑 正高	京都府教育委員会教育長職務代理者(2015.6.23～)
	梅原ひまり	ヴァイオリニスト(2015.6.23～)		日比野光鳳	書家(～2015.6.23)
	大橋 通夫	前京都府教育委員会委員長(～2015.6.23)		増田 正蔵	京都新聞ホールディングス顧問
	奥原 恒興	京都商工会議所専務理事		山内 修一	京都府副知事
	神林 恒道	大阪大学名誉教授		山本 壯太	「古典の日」推進委員会ゼネラルプロデューサー
	杭迫 柏樹	書家(2015.6.23～)		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2016年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長 2003.6～
	副館長 学習普及・連携室長	神山 俊昭	館業務総括	事務局長 2011.4～ 財団常務理事 2011.6～
総務課	課長	下河邊英寿	課総括	財団本部事務局兼務 2012.4～
	参事	奥野 清人	課総括補助	2014.5～
	課長補佐兼総務担当係長	佐藤 幸央	総務担当業務	財団本部事務局兼務 1991.10～
	經理担当係長	宮本 幸樹	經理担当業務	財団本部事務局兼務 2012.3～
	課長補佐兼企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	1992.9～
	広報調整担当係長	磯野真知子	広報調整担当業務	2011.4～
	担当係長	海老名和孝	企画事業担当業務	2015.4～
	主任	杉浦美香代	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2010.5～
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	2007.4～
	主事	新谷婦美子	經理担当業務	財団本部事務局兼務 2014.4～
	主事	竹内 文香	広報調整担当業務	2014.4～
	囑託	田中真希代	企画事業担当業務	2014.8～
保護基金室	文化財保護基金室長事務取扱	奥野 清人	基金事業担当業務	2014.5～
学芸課	課長	畑 智子	課総括	2006.6～
	課長補佐 主任学芸員	洲鎌佐智子	工芸	1988.5～
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	1990.7～
	学芸員	林 智子	染織	2008.10～
	学芸員	植田彩芳子	絵画	2010.8～
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	2010.8～
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	2011.4～
	学芸員	橋本 章	民俗	2011.10～
	学芸員	森 道彦	絵画	2012.4～
	学芸員	長村 祥知	歴史・文献	2012.6～
	囑託	大矢 敦子	映像・情報	2011.10～

VII-2 施設

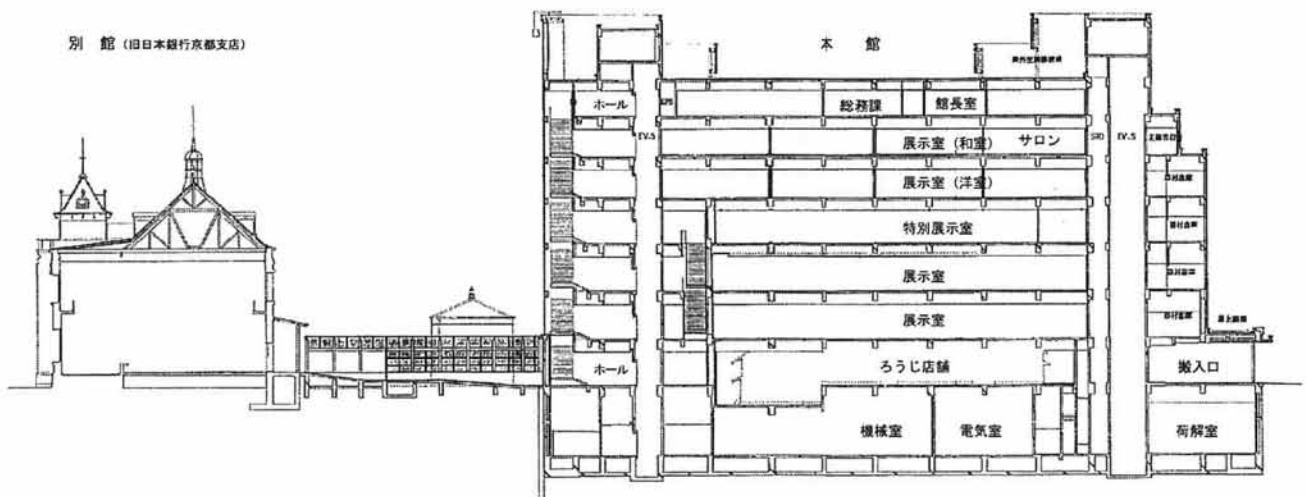
1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所
 施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月(リニューアル工事実施)
 敷地面積：4,830.0㎡(別館を含む)
 建築面積：3,646.5㎡(別館を含む)
 延床面積：15,854.1㎡(別館を含む)
 本館床面積内訳：
 地階……2,242.4㎡／1階……2,251.7㎡
 2階……1,892.8㎡／3階……1,908.7㎡
 4階……1,442.1㎡／5階……1,442.1㎡
 6階……1,218.2㎡／7階……1,010.4㎡
 塔屋……182.8㎡
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地
 設計：辰野金吾・長野宇平治
 施工期間：1903(明治36)年9月
 ～1906(明治39)年6月
 延床面積：2,249.3㎡
 別館構造：建築面積……819.7㎡
 煉瓦造、2階建一部地下1階
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付
 旧金庫構造：建築面積……237.1㎡
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺
 指定：重要文化財
 指定名称 旧日本銀行京都支店
 指定年月日 1969年3月12日
 指定書番号 建第1,708号

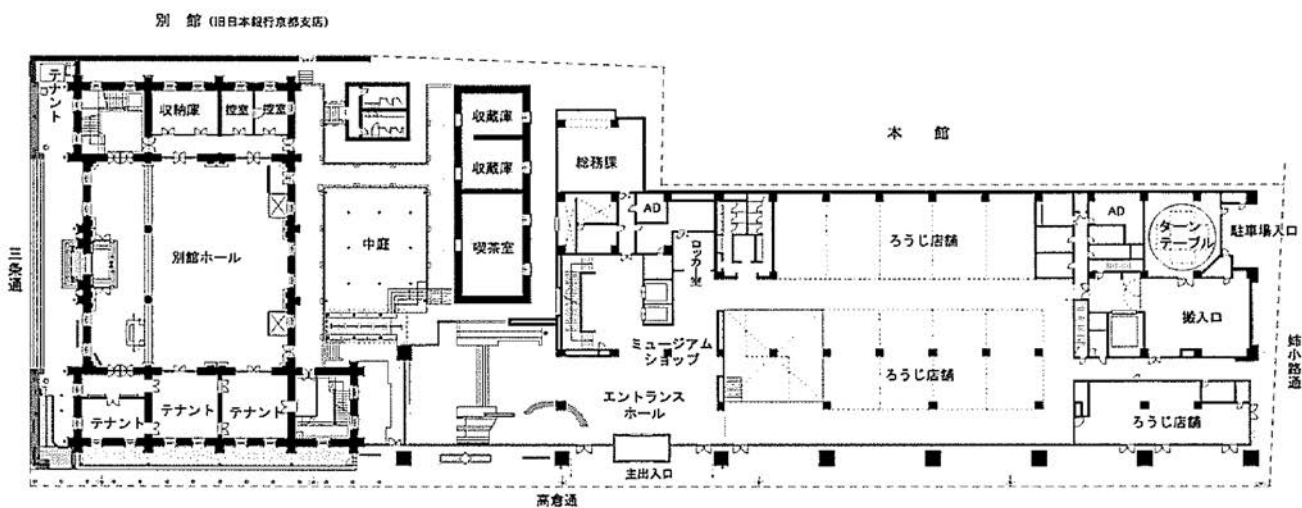
【京都文化博物館断面図】



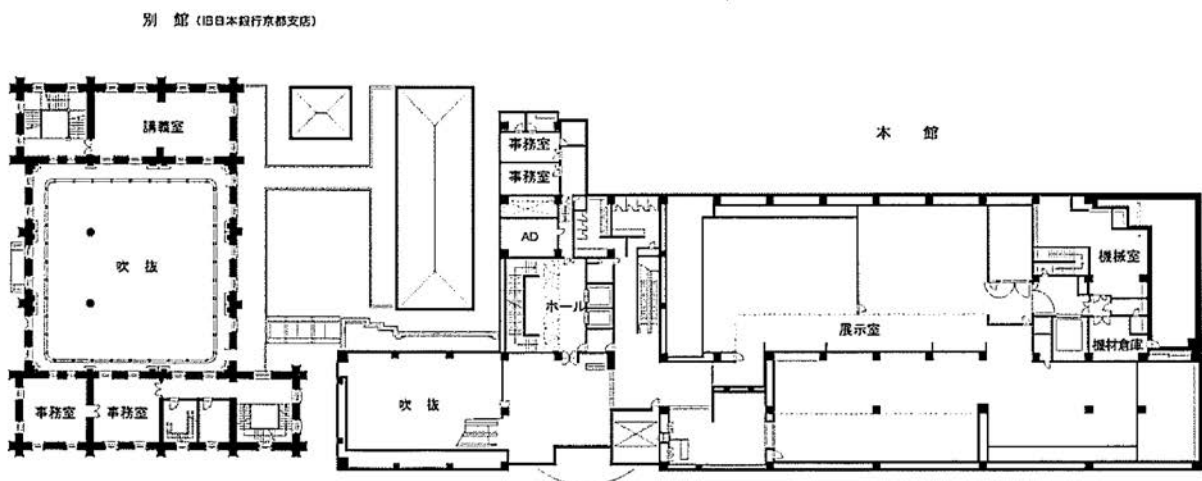
【京都文化博物館 地下1階平面図】



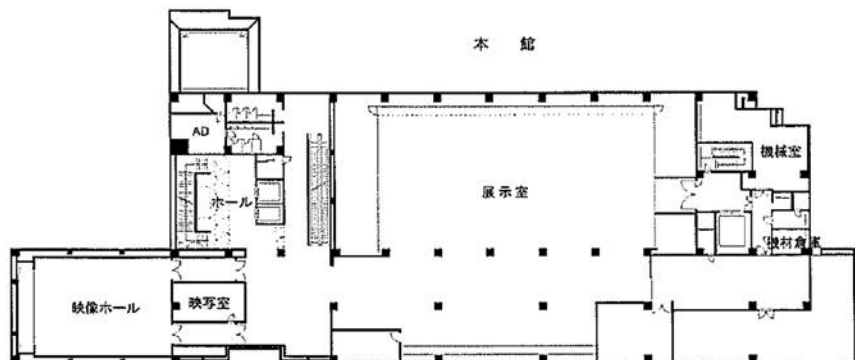
【京都文化博物館 1階平面図】



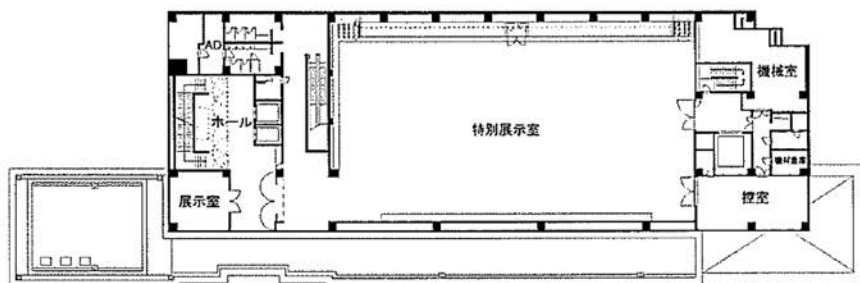
【京都文化博物館 2階平面図】



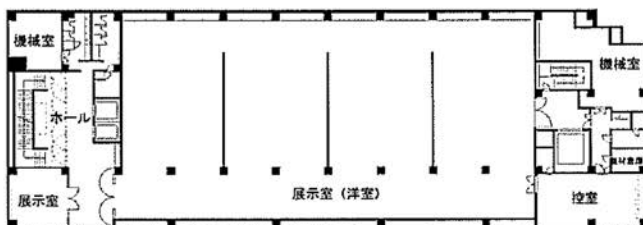
【京都文化博物館 3階平面図】



【京都文化博物館 4階平面図】



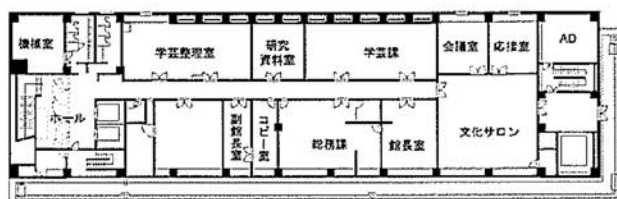
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII-3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は181,139名であった。

【ろうじ店舗一覧】

- ◇和紙と和紙小物の店—楽紙館
- ◇京都和雑貨—菰軒
- ◇京のエッセンス16舗名店会
名店会一覧(順不同)
- 老舗—松榮堂
- 京念珠—福永念珠舗
- 京佃煮—野村
- 京扇子—とくの
- 八ッ橋—井筒八ッ橋

- 京風雅便箋—表現社
- ちりめん小物—くろちく
- 竹の匠—高野竹工
- 町屋手拭—永楽屋細辻伊兵衛商店
- ◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇和カフェ 京美山(2015年12月27日閉店)
- ◇東京料理—京都 なた万寶館
- ◇京・嵐山上流の蔵—京丹山
- ◇ミュージアムショップ—京都 便利堂

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

- ◇前田珈琲文博店
- ◇Contemporary Art-JARFO京・文博
- ◇アートギャラリー arton art gallery
- ◇和小物—くろちく文博店

3) 博和会・ろうじ行事

【博和会行事】

区 分	名 称	月 日
会員店舗職員向きレクチャー と懇親会(別館2階講義室)	特別展『大関ヶ原展』レクチャー 担当 橋本 章(当館学芸員)	2015年 6月 2日 15:00~16:00
	特別展『小川千鶴展』レクチャー 担当 植田彩芳子(当館学芸員)	2015年11月27日 15:00~16:00
会員店舗職員向懇親会 (7階サロン)	大忘年会(店舗職員と館職員の交流会)	2015年12月27日 18:30~21:00
会員店舗職員向きギャラリー トークと懇親会(前田珈琲)	特別展『実相院門跡展』ギャラリートーク参加と懇親会 担当 長村祥知(当館学芸員)	2016年 2月26日 18:00~20:30
来館者歓迎イベント	文博子ども夏まつり	2015年 8月 2日 11:00~17:00

VIII 2015(平成27)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2015年		
3月21日	総合展示「増誉大僧正900年遠忌記念展 聖護院門跡の名宝―門跡と山伏の歴史―」	(～5月10日/2階)
4月 1日	常設上映「働くことと生きること」	(～4月30日/FT)
4月 5日	パラソフィアシネマプログラム アジアを照らさないミラーボール、日本映画のアジア	(～4月19日/FT)
4月11日	総合展示「祇園祭―鶏鉾の名宝―」	(～6月21日/2階)
4月24日	総合展示「紅板締―庶民の生活を彩った染織―」	(～7月12日/2階)
4月25日	「琳派400年記念 現代作家200人による日本画・工芸展 京に生きる 琳派の美」開催	(～5月17日/4・3階)
4月25日	第9回ショートショートムービーフェスティバル	(25日/FT)
5月 1日	常設上映「生誕100年記念 映画監督市川崑の世界」	(～5月31日/FT)
5月 7日	パラソフィア 京都国際現代芸術祭シネマプログラム	(7日・9日/FT)
6月 2日	「徳川家康没後400年記念 大関ヶ原展」開催	(～7月26日/4・3階)
6月 2日	常設上映「大関ヶ原展記念 映画にみる戦国時代 戦国の世を生き抜く」	(～6月30日/FT)
6月13日	ぶんぱく京都講座「紅板締にみる女性のおしゃれ意識」	(13日/FT)
6月27日	総合展示「祇園祭―山鉾巡行の歴史と文化―」	(～8月23日/2階)
7月 1日	EUフィルムデーズ2015in京都	(～7月12日/FT)
7月 8日	〈クールスポット〉の実施(2階総合展示・3階フィルムシアター無料公開)	(～8月30日)
7月11日	ぶんぱく子ども教室 第1回 祇園祭 お囃子体験教室	(11日/6階)
7月14日	時代劇専門チャンネルが描く京都映画の歴史『天才脚本家 梶原金八』と『チャンバラが消えた日』	(～8月2日/FT)
7月16日	祇園祭記念特別上映「祇園祭」	(16日、17日、23日、24日/FT)
7月16日	同志社女子大学音楽専攻科生によるミュージアムコンサート	(16日/AH)
7月16日	第27回宵山に箏曲を聴く夕べ	(16日/AH)
7月17日	総合展示「細川家 永青文庫コレクション8 ―近代絵画―」	(～9月13日/2階)
7月17日	総合展示「ユネスコ記憶遺産登録候補 東寺百合文書展」	(～9月13日/2階)
7月18日	祇園祭ミュージアムコンサート	(～19日/AH)
7月25日	ぶんぱく京都講座「よくわかる「細川護立と日本近代絵画」入門」	(25日/FT)
8月 3日	博物館実習	(～8月7日)
8月 4日	常設上映「戦後70年記念企画戦争と映画―戦意高揚映画から反戦映画まで」	(～9月3日/FT)
8月 6日	第21回京都国際子ども映画祭	(～8月9日/FT)
8月13日	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館(家族でお出かけ節電キャンペーン協力イベント)	(～27日 うち10日間/AH)
8月22日	「レオナルド・ダ・ヴィンチと『アンギアーリの戦い』展 ～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～」開催	(～11月23日/4・3階)
8月29日	総合展示「祇園祭―鯉山の名宝―」	(～11月8日/2階)
9月 4日	日本映像学会関西支部 夏期ゼミナール 依田義賢 人とシナリオ	(～9月6日/FT)
9月 8日	常設上映「脚本家・依田義賢の世界」	(～10月18日/FT)
9月18日	総合展示「再興十周年記念 洛陽三十三所―観音霊場の再興―」	(～11月23日/2階)
9月19日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝5」	(～11月15日/2階)
9月19日	京都アートフリーマーケット2015秋	(～21日/AH他)
10月18日	京都ヒストリカ国際映画祭関連企画	(18日/FT)
10月20日	常設上映「時代劇映画とテレビ時代劇の良い関係」	(～10月30日/FT)
10月28日	京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション	(～10月30日/FT他)
10月29日	京まちなか映画祭協賛企画 歌えば楽しい時代劇 鴛鴦歌合戦	(29日/FT)
10月30日	別館耐震対策工事近隣説明会	(30日/AL)
10月31日	第7回京都ヒストリカ国際映画祭	(～11月8日/FT)

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
11月10日	常設上映「食べる映画 映画での食の役割」	(～11月29日/FT)
11月14日	総合展示「祇園祭—木賊山の名宝—」	(～1月24日/2階)
11月15日	第5回日本学生映画祭 in 京都	(15日/FT)
11月21日	ぶんぱく京都講座「洛陽三十三所観音の信仰と寺宝」	(21日/FT)
11月23日	オータムミュージアムコンサート	(23日/AH)
11月28日	総合展示「公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター設立35周年記念展覧会 和魂漢才—京都・東アジア「交流」の考古学—」	(～1月11日/2階)
12月 1日	総合展示「生誕900年記念 歌聖 藤原俊成 冷泉家の至宝から」	(～12月13日/2階)
12月 1日	鷹峯フォーラム共催 京のわざ、日本のわざ フィルムで見る京の伝統工芸	(～12月6日/FT)
12月 5日	「日本のふるさと 大丹後展」開催	(～1月17日/3階)
12月 8日	「小川千養展—縦横無尽に生きる」開催	(～1月3日/4階)
12月 8日	常設上映「映画日本百景 北海道～青森篇」	(～12月27日/FT)
12月12日	ぶんぱく子ども教室 第2回 館内ぐるぐる探検ツアー	(12日/館内)
2016年		
1月 5日	常設上映「追悼 映画女優 原節子」	(～1月31日/FT)
1月16日	総合展示「博学社連携のとりくみ 文博界隈の歴史と文化」	(～2月21日/2階)
1月30日	総合展示「祇園祭—山伏山の名宝—」	(～4月10日/2階)
1月30日	「琳派400年記念 新鋭選抜展—琳派FOREVER—」開催	(～2月14日/3階・別館)
1月30日	ぶんぱく子ども教室 第3回 探検ノートを作って町を歩こう！	(30日/2階・三条通)
1月31日	ぶんぱく京都講座「考古・歴史資料からみた文博界隈の歴史」	(31日/AL)
2月 2日	常設上映「映画のまち太秦90年—その青春期の映画たち」	(～2月28日/FT)
2月20日	「実相院門跡展—幽境の名刹—」開催	(～4月17日/4階)
2月26日	総合展示「京都府コレクション 雛人形名品展」	(～4月3日/2階)
2月26日	総合展示「京都府蔵池大雅美術館コレクション 池大雅」	(～4月3日/2階)
2月28日	ぶんぱく子ども教室 第4回 自分だけのヒナ人形作り	(28日/2階)
3月 1日	「琳派400年記念 創立70周年記念 京都工芸美術作家協会～KOGEI～美の創造展」開催	(～3月27日/3階)
3月 1日	常設上映「胸像建立50周年記念特別上映 目玉の松ちゃん 尾上松之助の功績」	(～3月6日/FT)
3月 8日	ぶんぱく青春映画祭ヨリ道ノススメ5 無頼漢でいこう！昭和泰平の影 ハードボイルドな青春	(～3月31日/FT)
3月 9日	文化財研修講座「野村碧雲荘」見学会	(～10日/館外)
3月19日	京都アートフリーマーケット2016春	(～21日/AH他)
3月27日	手作りアニメ製作ワークショップ	(～28日/AL)

京都文化博物館2015(平成27)年度年報

発行日 2016年9月30日

編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL：075-222-0888

FAX：075-222-0889

印刷 三星商事印刷株式会社
〒604-0093 京都市中京区新町通
竹屋町下ル弁財天町300
TEL：075-256-0961(代)